

令和七年度使用中学校教科用図書選定会議

専門調査研究会(国語)

# 議事録

【5月29日(水) 教育センター 304室】

- 14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 14:50～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【7月4日(木) 小倉北区役所 812室】

- 13:00～ 全体会(部長あいさつ、時程確認等)
- 13:10～ 選定基準の読み合わせ
- 13:15～ 協議

- ・まずは観点ごとに見ていきます。事前にみなさんが記入してくださった内容をもとに、討議を進めていきたいと思います。そのような形でよろしいでしょうか。
- ・一同合意
- ・内容の範囲について、発行者ごとにご意見をお願いします。
- ・東京書籍の折り込み資料について、「未来への扉」が掲載されているのはいいですね。
- ・9つのキーワードのところですか？
- ・そうです。ただ、取り上げている項目が少ない気がします。
- ・大きく取り上げていないまでも、関連するページはほかにもあるので、はっきりと示したほうがわかりやすいですね。
- ・触れられていないわけではないけれど、もっとわかりやすいようにするとよいですね。
- ・三省堂についてはいかがでしょうか。
- ・適当だと思いますがいかがでしょうか。
- ・一同合意
- ・教育出版についてはいかがでしょうか。
- ・適当だと思いますがいかがでしょうか。
- ・一同合意
- ・光村についてはいかがでしょうか。
- ・幅広い題材をとりあげられていると感じました。
- ・なるほど。他の発行者についてはいかがでしょうか。
- ・その点では他の発行者も同様だと思いますが、いかがですか。
- ・一同合意
- ・続いて、内容に関する配慮事項です。東京書籍からお願いします。
- ・要約の仕方について取り上げられているところがいいと思いました。
- ・とても参考になりますね。
- ・でも、分量としては多い気がしますね。
- ・ただ、資料としては使い勝手がよいです。
- ・他の教科書会社にはない特徴ですね。
- ・そうですね。
- ・「思考のヒント」についてはいかがでしょうか。
- ・「思考ツール」はどの発行者にも掲載されていますね。

- ・三省堂と光村は「思考ツール」が巻頭にあって使いやすいと感じました。
- ・使い方によって、どこにあるのかがいいかは変わると思います。
- ・そうですね。内容としてはいかがですか。
- ・教育出版が一番詳しいですね。
- ・サイズについては「見にくい」等の課題があるので、使用上の便宜でとりあげてはいかがでしょうか。
- ・一同合意
- ・三省堂についてはいかがでしょうか。
- ・「読み方を学ぼう」は使いやすいですね。
- ・一同合意
- ・教育出版はいかがでしょう。
- ・「学びナビ」は個人的に、圧迫感を感じる気がします。
- ・内容もやや難解ですね。
- ・興味関心につながらないのではないのでしょうか。
- ・他の発行者にもありますよね。
- ・教材のあとにおいてある発行者もありますね。
- ・三省堂は「基本構造」などが示されていますが、「学びナビ」とは性質が違いますね。
- ・生徒目線で考えると、苦手な生徒にとっては圧迫感を感じるかもしれませんね。
- ・一同合意
- ・「言葉の自習室」では、「原稿用紙の使い方と推敲」が1、3年にはあるけど、2年生にはありませんね。
- ・代わりに何が載っていますか。
- ・レポートについての記載がありますね。
- ・脈絡なく、レポートについての記載がある気がします。
- ・一同合意
- ・次に、光村図書はいかがでしょう。
- ・巻末の「資料」については実用的ですね。インターネットの活用に関するページもあります。
- ・他の発行者についてはどうでしょうか。
- ・他の発行者にも載っていますが、光村はより詳しい内容が載っています。
- ・一同合意
- ・分量について、東京書籍からお願いします。
- ・適切だと思います。
- ・古典の教材が他の発行者より多いですね。
- ・一同合意
- ・三省堂はいかがでしょう。
- ・やや多く感じます。
- ・詩が少ない気がします。一遍しか載っていません。
- ・他の教科書は詩の単元で複数の教材を取り上げています。
- ・詩については教科ごとの観点に記載しましょう。
- ・一同合意
- ・教育出版についてはいかがでしょう。
- ・やや多いと思います。
- ・ページ数を数えましたが、他の発行者に比べて多いようです。

- ・では、「やや多い」としてよろしいですか。
- ・一同合意
- ・光村図書についてはいかがでしょうか。
- ・一つの単元でとりあげている教材が多いと感じました。
- ・複数の教材で一つの単元を構成していますね。
- ・その点については、他の発行者についても言えることだと思います。
- ・一同合意
- ・使用上の便宜について、東京書籍からお願いします。
- ・デジタルコンテンツが充実しています。ゲームや動画など、授業で使えるものが多くみられました。
- ・生徒が興味をもちそうですね。
- ・良い点として取り上げていいと思います。
- ・一同合意
- ・古文の現代語訳が赤字である点が気になります。
- ・やや見づらい印象ですね。
- ・また、文字が小さいと感じました。
- ・その点についても報告書に記載しておきましょう。
- ・一同合意
- ・三省堂について、ご意見ありますでしょうか。
- ・「領域別教材一覧」については、学習指導要領との関連が分かりやすいと感じました。
- ・一覧で見られるとなお良いですね。
- ・一同合意
- ・教育出版についてはいかがでしょうか。
- ・二次元コードが充実しています。
- ・一同合意
- ・古文の横に現代語訳があるのは、使いにくいですね。
- ・ただ、音読をしながら、現代語訳が自然と目に入るのは、よい点でもありますね。
- ・一同合意
- ・「学びナビ」は一覧が載っていて便利だと感じたのですが、字が小さいため、生徒は見づらいのでは、と感じました。
- ・一同合意
- ・光村図書について、いかがでしょうか。
- ・適当だと思います。
- ・一同合意
- ・では次に、印刷・製本等についてご意見をお願いします。東京書籍はいかがですか。
- ・「各学年の発達の段階に応じた配慮がある」とご記入いただいておりますが、いかがでしょうか。
- ・一同合意
- ・三省堂についてはいかがですか。
- ・写真が鮮明だと思いました。
- ・図やイラストも豊富で見やすいですね。
- ・ただ、その分、量が多くなっているように感じました。
- ・では、その点を「配慮が必要」という形で記入しましょう。
- ・一同合意

- ・教育出版についてはいかがでしょうか。
- ・ページによって、文字の大きさの差が顕著に感じられますね。
- ・たしかにそうですね。ただ、その点はどの発行者にも見られる特徴かと思います。
- ・そうですね。私を感じたのは、1年生の論説文の文字が小さいということです。
- ・たしかに、他の発行者のものと比べると小さく感じますね。
- ・その点は記載してよろしいですか。
- ・一同合意
- ・光村図書についてはいかがですか。
- ・「適切である」ということでよろしいでしょうか。
- ・一同合意
- ・最後に、教科ごとの選定の観点について、東京書籍から順にご意見をお願いします。
- ・1年生の最初の詩についてですが、文語体で書かれていて、生徒には少し難しいのではないのでしょうか。
- ・私もそのように感じました。ただ、このことは「内容に関する配慮事項」に書くことではないでしょうか。
- ・一同合意
- ・3年生についてですが、随筆から始まり、すぐに俳句が載っています。他の発行者のように、物語が入っていたほうが、生徒は興味をもつと感じました。
- ・一同合意
- ・「古典」の入り口で、「浦島太郎の物語」を取り上げています。古典に対する「難しい」というイメージを払拭することができるのではないのでしょうか。
- ・一同合意
- ・「話すこと・聞くこと」について、思考ツールなどを交えてわかりやすく示されていますね。
- ・より具体的な場面をとりあげているので、実生活に役立ちそうですね。
- ・でも、「話すこと・聞くこと」の単元が少ない気がします。
- ・それは「分量」についての話ではないのでしょうか。
- ・では、分量の欄に書いてよろしいですか。
- ・一同合意
- ・三省堂について、ご意見をお願いします。
- ・「目標」が具体的で明確だと感じました。複数の目標をあげている単元でも、主たる目標をはっきりと示しているのがよいと思います。
- ・この単元、この時間で何を学ぶのかがはっきりわかっていいですね。
- ・一同合意
- ・では、教育出版について、ご意見をお願いします。
- ・「3年間の文法のまとめについて、」2年には1年生で学ぶ文法の記載がありません。系統性を意識するなら、1年時の学習についても触れておいたほうがわかりやすいと思います。
- ・そうですね。3年生の教科書についてはどうですか。
- ・3年生の教科書には、1、2年生の内容が載っていて、わかりやすいですね。
- ・一同合意
- ・読み物について、教材と育みたい力がつながっていないところがあります。
- ・そうですね。また、内容としても難解だと思います。
- ・一同合意
- ・最後に、光村についてお願いします。

- ・「国語の力試し」が巻末にあって、「どんな力を身に付けるのか」がよくわかりますね。
- ・単元が終わるごとに、また、定期考査などの折に取り組ませることによって、生徒の主体的な学びにつなげることができると思います。
- ・発展的な問題が準備されている点もいいですね。個に応じた学びにつながると思います。
- ・一同合意

16:00～ 休憩

16:10～ 印刷・確認

16:45～ 鑑文に押印・片付け

17:00 終了

令和七年度使用中学校教科用図書選定会議

専門調査研究会(書写)

# 議 事 録

## 専門調査研究部会(中学校 書写)議事録

記録者(新開)

【令和6年5月29日(水) 教育センター304室】

- 14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 14:50～ 見本本閲覧・各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【令和6年7月1日(月) 教育センター202室】

- 13:00～ 全体会(部長あいさつ、時程確認等)
- 13:10～ 選定基準の読み合わせ
- 13:15～ 協議(観点別)、調査報告案作成
- 16:00～ 発行者ごとの内容確認

### ○観点別協議

・観点別に協議を行います。選定の観点に沿って、各者見ていきます。4者ありますので、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書出版の順番で、それぞれご意見をいただきます。

#### 1 各教科共通の選定の観点

##### (1)内容の範囲及び程度

- ・はじめに、内容の範囲及び程度について、ご意見をいただきたいと思います。まずは、東京書籍からお願いします。
- ・目標と振り返りが設定されているので、主体的に学ぶことができるようになってきていると思います。
- ・「基本の点画の書き方」で右上払いがないのが気になります。楷書の学習内容が不十分になると思います。
- ・楷書と行書の違いが分かりにくいというのは、「教科ごとの選定の観点」に入れた方がいいのではないのでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・その他、東京書籍についてはよろしいのでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・三省堂はいかがでしょう。
- ・各教材、見開きで構成されていて、学習の振り返りが書かれてあるので、見通しをもつことができるようになっていきます。
- ・第3学年の学習内容に関して、量が少ないというご意見がありますがいかがでしょう。
- ・時数に対して、少し少なく感じます。もう少し量があってもいい気がします。
- ・全員(合意)
- ・その他、三省堂についてはよろしいのでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・教育出版はいかがでしょう。
- ・内容の程度は、各学年の発達段階が考慮されていると思います。



- ・読み仮名や筆順が示されているのがよいと思います。全ての生徒にとって分かりやすいです。
- ・手本と違う文を行書で書くのは難しいというのは、いかがでしょうか。
- ・確かに、例文だけを見て、行書で書くのはかなり難易度が高いと思います。
- ・困難さを感じる生徒が見られると思います。
- ・全員(合意)
- ・これは、「教科ごとの選定の観点」の方に入れた方がいいのではないのでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・その他、教育出版についてはよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・光村図書出版はいかがでしょう。
- ・ポイントを押さえた「行書スイッチ」は分かりやすいですね。
- ・二次元コードで読み取ると解説もあります。
- ・内容が絞られていて、段階的に配列されているのもいいですね。
- ・楷書から行書など、きちんと流れができていますので、生徒にとっては学びやすく、教師にとっては、教えやすくなっています。
- ・その他、光村図書出版についてはよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)

## (2)内容に関する配慮事項

- ・次に内容に関する配慮事項について、各者見ていきます。
- ・東京書籍からご意見をお願いします。
- ・「書写のかぎ」があって、ポイントがおさえやすくなっています。
- ・行書と楷書の違いについて、5つのポイントがそのページにはまとめられていないので、分かりにくく感じます。ポイントの言葉も出てきていません。入試問題にも出てくるので、教える側としては、指導しにくく感じます。
- ・示されていないわけではないけれど、最初に出てこないで、確かにわかりにくく感じます。
- ・これも「教科ごとの選定の観点」で、まとめてはどうでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・「生活に広げよう」や「書写活用ブック」、「行書の動きパターン」、「自分のノートを見直す」についても、「教科ごとの選定の観点」に同じような意見があるので、そちらでまとめてもいいのではないのでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・ワークシートがPDFになっていることについてのご意見はいかがでしょう。
- ・これは、使いやすい先生と使いにくい先生がいると思います。
- ・教科書を集めるのがいいか、ワークシートを使うのいいかにもよりますよね。
- ・別になっていた方が集めやすいから、ワークシートがあった方がよいという意見もありますね。
- ・これは意見が分かれるところなので、取り上げなくてもよいのではないのでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・その他、東京書籍についてはよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)

- ・三省堂はいかがでしょう。
- ・「学力テスト問題」の解説が詳しいのはいいですね。
- ・毛筆での名前の書き方や位置などの説明も詳しくて分かりやすいです。
- ・名前を書く時、楷書・行書一覧表に常用漢字しかないので、書きにくいですね。
- ・二次元コードについては、使用上の便宜の方にまとめていいのではないのでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・毛筆教材の書き方のポイントが教科書に記載されていないので、分かりにくいです。
- ・二次元コードの解説動画には示されていますが、教科書にもあった方が指導しやすいと思います。
- ・巻頭の「学んだことを生活の中で生かせるように」という文言があるのはよいのですが、生活に活かすところまでは、印象が薄いように感じます。
- ・生徒に説明する形になっていないので、伝えるのが難しいです。
- ・学習の流れはわかりやすいけれど、協働的な学習の場面が明示されていないことが気になります。
- ・こちらも「教科ごとの選定の観点」に入るのではないのでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・その他、三省堂についてはよろしいのでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・教育出版はいかがでしょう。
- ・巻頭の「目的に合わせて書こう」では、文字の役割や相手意識、目的意識をもって書くことの大切さがわかりやすく示されていていいと思います。
- ・「行書学習のはじめに」があることで、なぜ行書を学ぶのか分かりやすくなっています。
- ・硬筆の練習ページで、なぞり書きをするページが設けられているのはよいと思います。ただ、なぞったものを清書する欄があった方がいいと思います。
- ・「いかそう」では、例文を行書で書くようになっていますが、かなり難しいです。
- ・お手本を見ながらならできますが、一つ一つ行書の表を確認しながら書かなければできないので、苦手意識をもっている生徒は、かなり困難さを感じると思います。
- ・全員(合意)
- ・先ほども同じようなご意見が挙がっていたので、これも「教科ごとの選定の観点」の方にまとめる形でよろしいのでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・他教科や生活に生かすことができるという内容のものについては、「教科ごとの選定の観点」の方にもご意見が挙がっているので、そちらでまとめてもよろしいのでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・振り返りについては、各者取り上げられているので特筆する必要はないと思いますがいかがでしょう。
- ・全員(合意)
- ・その他、教育出版についてはよろしいのでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・光村図書出版はいかがでしょう。

- ・お手本が見開きで示されていて、学年、氏名まで書かれているので、文字の配置や大きさがわかりやすく、書きやすいと思います。
- ・「手書き」のよさや特徴について考えることができる教材があるのもよいです。
- ・学習の進め方にタブレットの活用法があり、生徒の動きが載っているので分かりやすいと思います。
- ・左手で書く人用の動画について挙げられていますが、どの者も配慮されているので、特筆する必要はないと思いますがいかがでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・「学習の進め方」の3つのステップについては、「教科ごとの選定の観点」に入れた方がよいと思うのですが、いかがですか。
- ・全員(合意)
- ・SDGs や防災教育、ユニバーサルデザインについても、「教科ごとの選定の観点」に入れた方がよいと思うのですが、いかがですか。
- ・全員(合意)
- ・その他、光村図書出版についてはよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)

### (3)分量

- ・次に分量について、各者見ていきます。
- ・東京書籍からご意見をお願いします。
- ・各学年、適切に配分されていると思います。
- ・情報量が多く、小さい文字も多いです。そのため、何が大事なのか分かりにくくなっているように感じます。
- ・確かにそう感じます。
- ・その他、東京書籍についてはよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・三省堂はいかがでしょう。
- ・授業時数に対して分量が少ない感じがしたのですが、いかがですか。
- ・私もそう感じました。説明も少なく、大切なことが分かりにくい印象を受けました。
- ・全体的にページ数も少ないですね。
- ・特に3年生の分量は少ないと感じました。
- ・3年生の内容については、「内容の範囲及び程度」で、全体については、「分量」で挙げるということではよろしいですか。
- ・全員(合意)
- ・その他、三省堂についてはよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・教育出版はいかがでしょう。
- ・1年生段階で楷書・行書がしっかりと学べるような分量になっていると思います。
- ・バランスもとれています。
- ・毛筆も程よい量があり、硬筆もしっかり取り上げられています。

- ・その他、教育出版についてはよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・光村図書出版はいかがでしょうか。
- ・硬筆と毛筆の分量は、適切だと思います。
- ・各ページの内容が精選されていて、すっきりとしたレイアウトになっていてよいです。
- ・「書写ブック」が充実していると思います。書き込む分量については、みなさんはどう感じられますか。
- ・私は、ちょうどよいと思います。
- ・練習量を確保するという観点からもよいと思います。
- ・別冊なので使いやすいです。
- ・副教材としての役割を果たしていて、別のものを購入する必要もないので助かります。
- ・「書写ブック」については、「使用上の便宜」と「教科ごとの選定の観点」の両方に挙げたらよいと思うのですが、いかがでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・その他、光村図書出版についてはよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)

#### (4)使用上の便宜

- ・続いて、使用上の便宜について、各者見ていきます。
- ・東京書籍からご意見をお願いします。
- ・資料は写真が豊富でよいですね。しかし、込み入っている気もするのですがいかがでしょうか。
- ・確かに写真は豊富ですね。
- ・いろいろな特性を持つ子がいるので、雑然とした感じがしてどうかなとも思います。
- ・特に、3年生の「使いこなす」は、写真が込み入っていて、雑然とした印象を受けます。
- ・生徒にとって、いろいろな情報が目に入りすぎてやや使いにくい感じがします。
- ・書写テストについてご意見が挙がっていますが、いかがでしょうか。
- ・「書写テスト」をタブレットからすることができ、解答できるのは非常によいと思います。
- ・学年ごとに分けられているのも使いやすいです。
- ・「書写活用ブック」も特徴や書き方が解説されているので、日常生活に活用しやすいと思います。
- ・その他、東京書籍についてはよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・三省堂はいかがでしょうか。
- ・解説動画が丁寧でわかりやすいです。
- ・二次元コードの上に「解説動画」などと示されているのも分かりやすいです。
- ・参考資料の動画の「文字の変遷」などは、内容がわかりやすくよいです。
- ・学力問題については、どこも取り上げられているので特筆する必要はないと思います。
- ・全員(合意)
- ・書写と実生活を結び付けて考えさせたいという意図が、分量が少ない分、薄いと感じるのですがいかがでしょうか。
- ・結び付けている内容はあるけれど、確かに少ない感じがします。

- ・他教科との関連も少ない感じがしますね。
- ・「教科ごとの選定の観点」に同じような意見があるので、そちらでまとめてはどうでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・その他、三省堂についてはよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・教育出版はいかがでしょうか。
- ・行書には、いくつかの書き方がることが示されているのはよいと思います。
- ・毛筆だけでなく、硬筆で書いた場合の動画があるのも、毛筆が硬筆にどのように生かされるのか確認できてよいと思います。
- ・筆順については、「内容の範囲及び程度」でまとめた方がよいと思います。
- ・全員(合意)
- ・左利きの生徒への配慮については、どの者も取り上げているので、特筆しなくてもよいと思います。
- ・全員(合意)
- ・学校生活で活用している場面を写真で提示しているのはよいと思います。
- ・他教科や日常生活で生かすことができる内容については、「教科ごとの選定の観点」でまとめてはどうですか。
- ・全員(合意)
- ・その他、教育出版についてはよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・光村図書出版はいかがでしょうか。
- ・動画が充実しています。用具の準備や片付けまで丁寧に解説されているのがよいです。
- ・毛筆の動画についてですが、斜めからの動画は見にくい気がするのですがいかがでしょうか。
- ・斜めからの動画は、生徒の視点からなのでよいのではないのでしょうか。
- ・真上からでは穂先の動きは見えませんが、斜めからなら穂先の動きを確認しやすいのでよいと思います。
- ・真上からと斜めからの動画があり、2つの視点から確認できるので指導もしやすいと思います。
- ・全国文字マップや文字の使い分けの資料なども生徒の文字文化への興味を高めるためのよいと思います。
- ・「日常に役立つ書式例」については、「教科ごとの選定の観点」にまとめたらよいと思いますがどうでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・その他、光村図書出版についてはよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)

#### (5)印刷、製本等

- ・続いて、印刷、製本について、各者見ていきます。
- ・東京書籍からご意見をお願いします。
- ・適切であると思います。
- ・128%で拡大すれば半紙サイズになるのが、工夫されていてよいと思います。

- ・その他、東京書籍についてはよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・三省堂はいかがでしょうか。
- ・なぞり書きの文字が濃い気がするのですが、いかがでしょうか。
- ・確かにそう感じます。
- ・もう少し文字が薄い方が、なぞり書きしやすいですね。
- ・筆圧が弱い子は、添削しにくいですね。
- ・その他、三省堂についてはよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・教育出版はいかがでしょうか。
- ・表紙が「平家物語」の絵本の一部が使われていて美しいですね。
- ・書写の教科書として、ふさわしい気がします。
- ・サイズが大きいですね。
- ・確かに、書く時にも直す時にも場所をとりますね。
- ・折り込みページが真ん中にあるのは、使いにくい気がします。
- ・一番後ろにまとめられていると気にならないのですが、真ん中だとぐちゃぐちゃになってしまう生徒もいます。
- ・文字が際立つ紙面とは、どういうことでしょうか。
- ・地の色が白く見やすいと感じました。
- ・紙面についてはどこも工夫されていますし、大きくは変わらないので、特筆しなくてもよいのではないのでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・その他、教育出版についてはよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・光村図書出版はいかがでしょうか。
- ・半紙とほぼ同じ大きさの手本があるのは、使いやすいですね。
- ・余白があり、すっきりしていて見やすいです。
- ・「書写ブック」は、鉛筆で書きやすい紙質になっています。
- ・つるつるしてなくて、書きやすいですね。
- ・小筆でなぞるところは少しにじんだりして、使いにくいかもしれないですね。
- ・鉛筆では書きやすいのでよいのではないのでしょうか。
- ・大切どころが赤になっていて、生徒が意識して取り組めるのでいいと思います。
- ・その他、光村図書出版についてはよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)

## 2 「教科ごとの選定の観点」

- ・最後に、教科ごとの選定の観点について、各者見ていきます。
- ・東京書籍からご意見をお願いします。
- ・「生活に広げよう」で、防災訓練の内容が入っているのはいいと思いますが、実際に防災訓練に参加している生徒は少なく、自分事として捉えることが難しい内容になっているので、実際には

使いにくいと思います。

- ・実際に活動に取り組むことは、難しいですね。
- ・書写と結び付けるのも難しいので、指導しにくいと思います。
- ・「見つけよう」で、楷書と行書を比べるようになっているけれど、実際に毛筆で書く文字とは違うので、取り扱いにくい気がしますがいかがでしょうか。
- ・確かに「見つけよう」で示された文字と「確かめよう」で示されて文字が同じだと指導しやすいですね。
- ・先ほど、「内容に関する配慮事項」で話し合った際に、具体が挙がっているものはこちらに入れてはどうでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・その他、東京書籍についてはよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・三省堂はいかがでしょう。
- ・楷書と行書を目的に応じて選択でき、自分で考えて書くことができるところがあるのはよいと思います。
- ・個別最適な学びにつながるのいいですね。
- ・資料編が充実しているのがいいですね。書写に親しむ態度を育てることができると思います。
- ・「書いて身につけよう」で、硬筆の練習が設定されているので、硬筆の書写の能力の基礎を養うことができると思います。
- ・練習欄に線があるものから線がないものまで、段階的に練習できるようになっているところがよいですね。
- ・個に応じた配慮がなされているところがよいと思います。
- ・その他、三省堂についてはよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・教育出版はいかがでしょう。
- ・「学習の進め方」が分かりやすいと思います。
- ・協働的な場面で使う用語まで掲載されているのがよいですね。
- ・学習で指導しやすいです。
- ・日常生活への応用も示されているのもよいと思います。
- ・社会科のノートや理科のレポートの書き方が示されているのもよいですね。
- ・国語だけではなく、他教科へも生かしていくという意図が感じられます。
- ・「書式の教室」でも生徒に身近な例が取り上げられているのがいいですね。
- ・日常生活へのつながりが見えてよいと思います。
- ・その他、教育出版についてはよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・光村図書出版はいかがでしょう。
- ・「考えよう」で、楷書と行書が並べられているのがいいですね。生徒が比較して考えやすいと思います。
- ・解説動画があるのもいいですね。身に付けたい力が特化されていて、学びやすく、指導しやすくなっています。

- ・アニメーション動画もあってわかりやすいです。視覚的に解説されているので、特徴が捉えやすいです。
- ・生徒が比較して考えた後に、動画を見て学ぶことができるという自然な流れもいいと思います。
- ・3つのステップのどの段階にも同じ文字が使われているところも、自然な流れで学習できるようになっていていいと思います。
- ・「季節のしおり」だけが、教科書の中にあるのはなぜですかね。書写ブックにあった方が活用しやすい気がします。
- ・そうですね。「書写ブック」に挿入すると使いやすいという文言にしてはいかがでしょうか。また、それを「使用上の便宜」に入れた方がよいと思いますがどうでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・「書写ブック」の内容に関しては、先ほどのご意見とこちらの意見をまとめる形でよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・その他、光村図書出版についてはよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)

#### ○発行者ごとの内容確認

- ・それでは、協議内容を発行者ごとに確認していきたいと思います。訂正があれば発言してください。
- ・東京書籍について確認します。
- ・それぞれの観点についていかがでしょうか。
- ・こちらでよろしいですか。
- ・全員(合意)
- ・では、東京書籍についてこれで確定します。
- ・全員(合意)
- ・続いて、三省堂について確認します。
- ・それぞれの観点についていかがでしょうか。
- ・こちらでよろしいですか。
- ・全員(合意)
- ・では、三省堂についてこれで確定します。
- ・全員(合意)
- ・続いて、教育出版について確認します。
- ・それぞれの観点についていかがでしょうか。
- ・こちらでよろしいですか。
- ・全員(合意)
- ・では、教育出版についてこれで確定します。
- ・全員(合意)
- ・最後に、光村図書出版について確認します。
- ・それぞれの観点についていかがでしょうか。
- ・こちらでよろしいですか。



- ・全員(合意)
- ・では、光村図書出版についてこれで確定します。
- ・全員(合意)
- ・以上で発行者ごとの記載内容の確認を終わります。

16:30～ 印刷・最終確認

16:45～ 鑑文に押印

17:00 終了

令和七年度使用中学校教科用図書選定会議

専門調査研究会(地理)

# 議事録

## 専門調査研究部会(中学校 地理)議事録

記録者(伊藤)

【5月29日(水) 教育センター 207室】

- 14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 14:50～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【7月2日(火) 教育センター 307室】

- 13:00～ 各自調査結果整理(入力)
- 13:34～ 討議

・では、最初に(5)の印刷と製本から見る。

### (5)印刷と製本

(東京書籍)

- ・一番上と二番目は残した方がよい。
- ・軽量の紙についてはどうか。
- ・あまり変わらなかった。
- ・消してよいか。
- ・全員合意。
- ・色合いについてはどうか。
- ・似た文言があるので消しては。
- ・全員合意。
- ・(加筆・修正後の内容を読む)これでよいか。
- ・全員合意。

(教育出版)

- ・UD フォントのよさについてはどうか。
- ・全員合意。
- ・地勢図の色が見にくい。
- ・何ページか。
- ・例えば189ページ。瀬戸内海は文字の表記が見づらい。
- ・(加筆・修正後の内容を読む)これでよいか。
- ・全員合意

(帝国書院)

- ・(調査内容を読む)この内容でよいか。
- ・全員合意

(日本文教出版)

- ・雨温図についてはどうか。
- ・折れ線グラフの色合いが見づらい。
- ・全員合意
- ・(調査内容を読む)これでよいか。
- ・全員合意
- ・では(1)から見ていく。そのとき、地理的視点のものは下の「2 教科ごとの選定の観点」へ移動していったほうがよい。
- ・全員合意

### (1)内容の範囲及び程度

(東京書籍)

- ・SDGsについて、もう少し説明を。
- ・他者はSDGsについての表記が、ぱっと見て分かりやすい。
- ・SDGsの内容であることが分かりにくいということか。
- ・そうである。
- ・たしかに、17の目標が分かりづらい。
- ・SDGsの内容は下(2 教科ごとの選定の観点)へ。
- ・全員合意
- ・「東北地方」についてはどうか。
- ・「冷害」の説明がやや不足している。
- ・(加筆・修正後の内容を読む)これでよいか。
- ・全員合意

(教育出版)

- ・(インバウンドに関する記述について)たしかに、これは分かる。
- ・不足していることが気になった。
- ・ここに入れるか。
- ・入れなくてもよいかも知れない。
- ・インバウンドという文言は指導内容として記載しなくてもよい。
- ・若狭湾についてはどうか。
- ・記載されていない部分が気になる。
- ・では、この内容のままで。
- ・(加筆・修正後の内容を読む)これでよいか。
- ・全員合意

(帝国書院)

- ・「ポイントが適切である」ことについてもっと具体的に。
- ・p24で描き方について細かく指示がある。
- ・そうであれば、その点を加筆してはどうか。
- ・全員合意

- ・林業と漁業のページが薄く広いイメージ。
- ・林業と漁業について、テーマが絞りづらいことについてはどうか。
- ・これでよい。
- ・(加筆・修正後の内容を読む)これでよいか。
- ・全員合意

(日本文教)

- ・p12についての記述はどうか。
- ・これでよい。
- ・「泥炭地」についての記述はどうか。
- ・取り上げているので削除してよいのでは。
- ・「利雪」についてはどこにあるか。
- ・273ページにある。他者もある。
- ・「泥炭地」が太字でない。他の3者は太字である。
- ・「利雪」について説明が分かりづらい。
- ・帝国書院の方が本文中の説明が分かりやすい。
- ・(加筆・修正後の内容を読む)これでよいか。
- ・全員合意

## (2)内容に関する配慮事項

(東書)

- ・自然環境の探究がしづらいとは。
- ・最初のページの一部にしか取り上げられていない。
- ・気候についての内容はどうか。
- ・他者は気候を先に取り上げている。気候を先にした方が分かりやすい。
- ・他はどうか。
- ・これでよい。
- ・(加筆・修正後の内容を読む)これでよいか。
- ・全員合意

(教育出版)

- ・歴史的分野との関連についてはどうか。
- ・他者と違い、関連付けて学習することが設定されている。
- ・p28以外で資料が乏しいところは。
- ・p30など気候のところである。
- ・防災・減災についてこの内容は他者にはないのでよい。
- ・見開きについての意見はどうか。
- ・他者も同じなので明記しなくてもよい。
- ・気になるのは、低学力の子どもにとって、QRコードの活用などの配慮が不十分。
- ・他者のQRコードはどうか。
- ・たくさんある。

- ・帝国は家庭学習にも役立つ。
- ・(加筆・修正後の内容を読む)これでよいか。
- ・QRコードの内容は下(2 教科ごとの選定の観点)に移動する。
- ・全員合意

(帝国書院)

- ・一番最初の文は、地理としての記述のため「教科ごとの選定の視点」へ。
- ・全員合意
- ・特設ページが少ないことについてはどうか。
- ・世界の諸地域の特設ページが若干不足しているように感じる。
- ・個に応じた配慮はQRコードのことか。
- ・そうである。これは、特色がある。
- ・(加筆・修正後の内容を読む)これでよいか。
- ・全員合意

(日本文教)

- ・GIS は他者はどうか。
- ・他者はなかった。
- ・ピラミッドチャートについてはどうか。
- ・(文を読んで)前半の文言が不要では。
- ・全員合意
- ・(加筆・修正後の内容を読む)これでよいか。
- ・全員合意

### (3)分量

(東京書籍)

- ・(調査内容を読む)これでよいか。
- ・全員合意

(教育出版)

- ・(調査内容を読む)これでよいか。
- ・全員合意

(帝国書院)

- ・(調査内容を読む)これでよいか。
- ・全員合意

(日本文教)

- ・(調査内容を読む)これでよいか。
- ・全員合意

#### (4) 使用上の便宜

##### (東京書籍)

- ・(調査内容を読む)これでよいか。
- ・3つ目の内容だが、やはりレイアウト的にみづらい。
- ・今の点についてどうか。
- ・確かに、レイアウトが見開きであればよいが。
- ・では、この内容はそのまま残してよいか。
- ・全員合意
- ・(再度、調査内容を読む)これでよいか。
- ・全員合意

##### (教育出版)

- ・(調査内容を読む)こちら3つ目が気になるがどうか。
- ・色合いが分かりにくいということか。
- ・そうである。
- ・では、その点もつけ加えてはどうか。
- ・「通常の色合いと比較ができないため、分かりづらい」にしてはどうか。
- ・全員合意
- ・(加筆・修正後の内容を読む)これでよいか。
- ・全員合意

##### (帝国書院)

- ・3つ目のことはどのページのことか。
- ・236ページである。
- ・たしかに、地層の写真がない。
- ・それでは、内容はこれでよいか(加筆・修正後の内容を読む)。
- ・全員合意

##### (日本文教)

- ・3つ目の内容は下の教科ごとの選定の観点に入れてよいか。
- ・全員合意
- ・4つ目の内容はこれでよいか。
- ・全員合意
- ・(加筆・修正後の内容を読む)これでよいか。
- ・全員合意

#### 2 教科ごとの選定の観点

- ・全体的に確認である。QRコードとSDGsの内容、単元全体を通した探究課題の設定については、どの者もここに入っているか確認を。
- ・帝国書院のQRコードの内容が上に入ったままである。
- ・では、下(2 教科ごとの選定の観点)に移動する。

- ・他はよいか。
- ・よい。
- ・では、東京書籍から見ていく。

#### (東京書籍)

- ・1単位時間に1つのQRコードがあるとは。
- ・これは、分かりやすかった。ワークや動画などもある。
- ・そのことも付け加えてはどうか。
- ・(加筆・修正後の内容を読む)これでよいか
- ・全員合意

#### (教育出版)

- ・(内容を読む)これでよいか。
- ・瀬戸内海の表記がわかりづらいとは。
- ・地勢図の色も文字も薄く、細い字が読みにくい。
- ・その点を加筆しては。
- ・(加筆・修正後の内容を読む)これでよいか。
- ・全員合意

#### (帝国書院)

- ・SDGs内容の詳細はどうか。
- ・他者も北九州市を取り上げているが、SDGsの目標と関連付けて考えられる工夫がよい。
- ・その点も加筆しては。
- ・よいと思う。
- ・各学年相互の関連とは。
- ・小学校の学習との関連も示されて。いる。
- ・例えば何ページか。
- ・多くのページの下にある。例えば8ページ。
- ・小学校の学習との関連のことも加筆しては。
- ・(加筆・修正後の内容を読む)これでよいか。
- ・全員合意

#### (日本文教)

- ・(内容を読む)これでよいか。
- ・ピラミッドチャートとは。
- ・285ページにある思考ツールである。この内容だと視点の整理がしにくく、本市の生徒には分かりにくいのでは。
- ・(加筆・修正後の内容を読む)これでよいか。
- ・全員合意
- ・これで全て終了である。最後に誤字、脱字などを確認する。

(全員で確認し印刷)



16:10～ 印刷・確認

16:45～ 鑑文に押印・片付け

17:00 終了

令和七年度使用中学校教科用図書選定会議

専門調査研究会（歴史）

# 議事録

【5月29日(水) 教育センター 301室】

14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)

教育センター 301室

14:40～ 選定基準の読み合わせ

14:50～ 各自調査研究

16:45～ 諸連絡、片付け

【7月1日(月) 教育センター 205室】

13:00～ 副部長あいさつ、選定基準の確認、時程確認

13:20～ 各自の専門調査研究書読み合わせ

司会 副部長 記録 指導主事

- ・本日の進め方は、各項目ごとに出版社順に確認していきます。
- ・それぞれ皆さんが調査されたことをもとにご発言ください。

・まずは、1 各教科共通の選定の観点 (1) 内容の範囲及び程度についてです。

【1 各教科共通の選定の観点 (1) 内容の範囲及び程度】

(①東京書籍)

- ・皆さん概ね内容が適切であるということですがほかに意見はございますか。
- ・西洋の歴史と日本の歴史の結びつきが充実しているように感じられます。
- ・西洋との結びつきの記載は東京書籍だけに言えることではなく、他の出版社でもいえるのではないのでしょうか。
- ・他者でも言えることなので、西洋のつながりも含め、ほかの方も指摘している、資料の内容の充実を含めていいのでしょうか。
- ・一同合意
- ・東京書籍のページ数について記載している方もいますが、これは分量に反映させたいと思いますがどうでしょうか。

・一同合意

(②教育出版)

- ・内容は平易で分かりやすいという意見が多いですが、ページ数が多いとの意見もあります。皆さんどうでしょうか。
- ・グラフも分かりやすいし、資料の大きさも適切ですね。
- ・内容の範囲・程度は適切であり、本文の記述は平易にまとめられているでいいですか。

・一同合意

(③帝国書院)

- ・帝国書院は文章も、資料もうちょうどバランスがよいという感じでした。
- ・領土問題についての記述は、あたっては、学習指導要領の内容に適した内容になっていました。
- ・SDGs の記述は、2教科の視点の選定の視点に入れましょう。
- ・内容の範囲は適切であり、資料内容、文章の難易度も本市の生徒の実態に応じた適切なものとなっているでいいですか。

・一同合意

(④山川出版)

・山川は歴史的事象が詳細に示されています。細かい歴史的事象の理解は深まりますが、内容の程度はやや高度な印象を受けます。皆さんどうでしょうか。

・一同合意

(⑤日本文教出版)

・皆さんほぼ同じ内容が書かれていますね。

・発展的な内容を行うには少し物足りなさもありますね。しかし、北九州市の生徒や教師が扱いやすいものとなっていますね。

・内容の範囲は適切であり、資料内容、文章の難易度も適切であるということでもいいでしょうか。

・SDGs の記述は、2教科の視点の選定の視点に入れましょう。

・一同合意

(⑥自由社)

・きちんと構成されているのかなと思う箇所がありました。章の冒頭で、予告編の「編」の字が章によって違っていたり、97 頁の小見出しの文章の始まりがどこかわからないことがあったりしました。

・今の意見は印刷製本の中に入れましょう。

・学習指導要領に示す内容が過不足なく、取り上げられていますね。

・他者には取り上げられていない歴史的事象が取り上げられており、生徒の理解を図ることが難しい面も見られますね。

・めあてやまとめ、振り返りの記述は、使用上の便宜でいいでしょうか。

・一同合意

・他者ではコラムとして、あるいは文化史として取り上げられている日本国建国の神話が通史のページで取り扱われており、事実と伝説が混在した状態になっていると思います。

・今の意見は教科等ごとの使用上の観点に入れましょう。

・コラムとして「苗字の由来」について取り上げているが、人権の観点から慎重に取り扱うべき内容であり、学習指導上特に配慮を要する内容であると思います。

・こちらの意見は「内容に関する配慮事項」に入れましょう。

・一同合意

(⑦育鵬社)

・学習指導要領に準拠しており、内容の範囲、資料、文章の難易度も適切であると思いますが、どうでしょうか。

・内容としては、高校日本史レベルの用語が記載されている箇所もあり、生徒の理解を図りにくい箇所も見られますね。どうでしょうか。

・一同合意

・安倍元首相の殺害事件についての記載があり、歴史的な意味を生徒にとらえさせるには難しい箇所がありますね。

・これは、教科ごとの観点に入れてもいいでしょうか。

・一同合意

(⑧学び舎)

・全体的な内容の範囲が適切ではありますが、近現代の内容が豊富であり、2・3年生で学習する内容が多いですね。

・趣向を凝らした見出しやタイトルがあるので、生徒に興味や関心を抱かせるが、本時に何について

学習を行うのかが分かりにくいと思いますがどうでしょうか。

・これは、内容に対する配慮事項に入れましょう。

・一同合意

(⑨令和書籍)

・皇国史的内容が充実していて、高校日本史との接続が可能な内容ですね。読み物として読むと興味深いと思います。

・記載されている歴史的な事象の内容が難しいですね。

・歴史的な事象の解説が多く、記述内容が細かいですね。しかし、生徒が歴史の流れを大観することが難しいと思います。

・一同合意

・次に、1 各教科共通の選定の観点 (2) 内容に関する配慮事項についてです。

【1 各教科共通の選定の観点 (2) 内容に関する配慮事項】

(①東京書籍)

・各単元末のまとめのページでは、課題解決に応じた「思考ツール」が用意されており、多面的・多角的に考察し、伝え合うといった言語活動の充実を図ることができますね。

・同じような構成(入れ箱式)になっている出版社もあるのでそれぞれに反映させましょう。

・「もっと知りたい」というトピックスでは、発展的な内容を分かりやすく解説しているが、学習課題(「調べてみよう」)が設定されているので、生徒の負担が多いですね。

・一同合意

(②教育出版)

・本文が、わかりやすい言葉でまとめられていますね。

・学習内容を確実に身に付けやすいものとなっていると思います。

・章の導入では、当時の様子がわかる資料が大きくひとつ掲載されています。それを基にした生徒の気付きから学習課題を設定できるようになっており、どの生徒でも課題を設定しやすいですね。

・「不戦の誓い」「欲しがりません。勝つまでは」などのタイトルが歴史的な事象のイメージを持たせるため、わかりやすい反面、一面的に事象をとらえる恐れがあると思います

・教育出版は章の導入がとても分かりやすいし、資料も見やすく、資料活用の手順なども示されていて良いですね。

・今の意見は、使用上の便宜に入れましょう。

・一同合意

(③帝国書院)

・タイムトラベルは前の時代との比較がしやすい。イラストを比較するので、生徒の興味・関心を引きつけやすく、言語活動が設定しやすいですね。

・二次元コードから、多分野の教科書やNHK for School や用語解説等にリンクできるようになっており、生徒が自分で学習を進めることができますね。

・発展的・系統的な指導ができる資料などの適切に配置され、言語活動ができる課題解決的な指導も行いやすいですね。

・今の意見は使用上の便宜や、教科ごとの観点に入れましょう。

・一同合意

(④山川出版)

・中学校での学習から高校への学習への接続に配慮されていますね。

- ・高校段階での学習内容を深化させるための基礎的・基本的な内容を学ぶことができますね。
- ・高校日本史の内容も含んだ構成であるため、情報量が多く、生徒の実態によっては理解を図りにくい面もあります。
- ・歴史の見方・考え方に関する記述がないため、中学校社会科の学習指導では使いにくいと思います。
- ・単位時間あたりに取り上げる内容が多いと思います。
- ・今の意見は分量に入れましょう。

・一同合意

#### (⑤日本文教出版)

- ・章のまとめは節ごとに3段階用意され、丁寧に学習をまとめることができるようになっていますね。
- ・課題を設定し、見通しをもって学習することができるようになっていところがいいですね。
- ・章の冒頭で学習の見通しをもたせ、探究的な学習、課題解決的な学習につなぐことができる構成にもなっています。
- ・二次元コードがどのページにも用意されていて、動画やポートフォリオ等につながっていますね。
- ・動画や資料、小テストにつながることで、発展的な学習や個別の補充学習にも活用できるようになっています。

・一同合意

#### (⑥自由社)

- ・「人物クローズアップ」は小学校で学習した人物を活用して、効果的に歴史学習に興味をもてるよう配慮されていますね。
- ・本文で使われる語句に難しいものが散見され、生徒の理解を図りにくい部分もあります。
- ・内容の範囲及び程度で話をした、「苗字の由来」についてはここで入れましょう。

・一同合意

#### (⑦育鵬社)

- ・単元を通しての学習課題の視点が例示されていることで、見通しをもって学習することができるようになっています。
- ・歴史を動かした人物を紹介した「人物クローズアップ」、歴史的事象に焦点を絞って取り上げる「歴史ズームイン」や「このころ世界は」など、豊富なコラムで、生徒の興味関心を引き付け、自主的・自発的な学習を促すことにつながっています。
- ・章の冒頭は「鳥の目」「虫の目」の両方が用意され、歴史の捉え方のポイントを分かりやすく示されており、授業でも活用しやすいですね。
- ・章のはじめに時代の特色をすでに定義してしまっている記述があるため、生徒の思考が深まりにくい箇所もあります。

・一同合意

#### (⑧学び舎)

- ・内容の範囲及び程度で協議をした、「趣向を凝らした見出しやタイトルが生徒に興味や関心を抱かせるが、本時に何について学習を行うのかが分かりにくい」ことについては、ここで入れましょう。
- ・学習課題の設定や課題意識の醸成や内容の定着の工夫を図るために、「章の扉」、「章をふりかえる」、「学習のまとめ」などが設けられていますね。
- ・一部の記載に表現としての配慮が必要な部分も見られます。
- ・時代の特徴づける重要語句が分かりにくいことと、語句解説も少ないため、内容理解がやや難しいと思います。

・一同合意

(⑨令和書籍)

- ・たくさんの文献資料が豊富であるため、発展的な学習にのぞむ生徒にとって、知識を深めることができる内容となっていますね。
- ・各章のはじめに「政治」・「文化」・「外交」・「産業」ごとに問いが設定されており、生徒が「どこに視点をおいて学習していくのか」を理解しやすくなっています。
- ・しかし、各時代の特色ある事象と、発展的な学習内容に関する事象が混在しており、ポイントを絞った授業を実施しづらいと思います。
- ・歴史的な見方・考え方に気づかせる支援や、キーワードがなく、また難解な用語も多いですね。
- ・記述の苦手な生徒が考えをまとめることが難しいかもしれません。

・一同合意

・次に、1 各教科共通の選定の観点 (3) 分量についてです。

【1 各教科共通の選定の観点 (3) 分量】

(①東京書籍)

- ・全体の分量について、適切な内容で収まっており、バランスもいいですね。
- ・見開き1ページで1時間の学習としたとき、適切な分量であると思います。

・一同合意

(②教育出版)

- ・適切な分量で内容が適切な時間内に収まっており、適切であると思います。

・一同合意

(③帝国書院)

- ・1 単位時間で学習する本文の文章量や行間が適切で見やすいですね。
- ・年間を通して学習する内容量ともに生徒の実態と照らし合わせてもよいと思います。

・一同合意

(④山川出版)

- ・分量は標準時数内に収まっていますね。
- ・文字での情報量が詳細で充実していますが、全体的に文章量が多く、単位時間あたりに取り上げる内容が多くなっていますね。

・一同合意

(⑤日本文教出版)

- ・全体の分量、本文の文章量、行間などは適切であると思います。
- ・見開き1ページの構成が一貫していることもよいと思います。

・一同合意

(⑥自由社)

- ・ページ数や全体の分量、本文の文字の大きさや行間などは適切であると思います。

・一同合意。

(⑦育鵬社)

- ・全体の分量や1単位時間及び1単元の内容としては適切であると思います。

・一同合意

(⑧学び舎)

- ・資料やイラストも大きく、分量は適切な内容で収まっていますね。

・ゆとりのあるものであるが、近現代の分量が多いと思います。

・一同合意

(⑨令和書籍)

・学習する内容が細かく、分量が多いですね。

・ページ数も多いと思います。

・一同合意

・次に、1 各教科共通の選定の観点 (4) 使用上の便宜についてです。

【1 各教科共通の選定の観点 (4) 使用上の便宜】

(①東京書籍)

・見開きのページに時代の物差しがついています。他者でも見られますが、どの時代を学習しているのかがわかりやすいですね。

・二次元コードから動画や資料へのリンクが豊富であると思います。ワークシートや動画、単語カード、他分野の用語解説等に進むことができるので、授業で学習を深めたり、自主学習を進めたりする上で活用できそうです。

・巻末の年表で事象ごとに関係性を示しているが、少し文字が見にくいですね。

・他者では索引は太字で示されているものもありますが、東京書籍はそうでないですね。

・一同合意

(②教育出版)

・資料の凡例が色だけでなく斜線などでも示されているため、生徒もより取りやすい配慮が見られます。

・時代スケールが必ず各ページのタイトル上にあり、特に世界史の際は日本のどの時代を学習しているか把握がしやすいですね。

・「学習課題」、「確認」、「表現」といった項目も、子ども達になじみやすいと思います。

・小学校との関連や重要文化財、国宝等のアイコンが見やすく、ユニバーサルデザインに配慮されていますね。

・他者と比べてリンクやワークシート機能などが少ないように感じました。

・一同合意

(③帝国書院)

・二次元コードから出版社独自の学習参考ページに移動し、教科書の学習を振り返ることができます。

・NHK for School のページに移動して動画で詳しい情報を得たりすることができるので、生徒の自主的な学習を促すことも可能であると思います。

・節の初めに二次元コードが用意され、タイムトラベルのイラストをタブレットでも表示することもできますね。

・導入の資料、思考を深める資料、本文の根拠となる資料等が充実しています。また、教科書の資料だけで十分に多面的・多角的に課題を追究することができる内容であると思います。

・一同合意

(④山川出版)

・中学校での学習から高校への学習への接続に配慮が見られます。

・高校段階での学習内容を深化させるための、基礎的・基本的な内容を学ぶことができるようになっていますね。



- ・高校日本史の内容も含んだ構成であるため、情報量が多く、生徒の実態によっては理解を図りにくい面があるのではないのでしょうか。
- ・歴史の見方・考え方に関する記述がないため、中学校社会科の学習指導では使いにくいと思います。

・一同合意

#### (⑤日本文教出版)

- ・テーマ別索引が用意されているため、学習を深めるために効果的であると思います。
- ・所々に生徒役のコメントが吹き出しで用意されていますが、生徒に考えさせたい内容や着意点を記載しているため、課題設定の際には配慮が必要であるように感じます。

#### (⑥自由社)

- ・グラフや資料が大きく記載されていてとても、見やすいですね。
- ・資料を活用した学習を展開することで、生徒の思考を深めることができる内容であると思います。
- ・他社にもみられることですが、生徒役のイラストで示されるコメントが用意されています。生徒に考えさせたい内容や着意点、さらには結論も記載しているため、学習が特定の方向に誘導されたり、思考が一定の方向に誘導されたりしてしまうと思います。

・一同合意

#### (⑦育鵬社)

- ・章のはじめに大きく資料を提示してインパクトをもたせているので、生徒の興味関心を引きやすいと思います。
- ・また、各ページにめあてとなる「課題」、まとめ・振り返りとなる「確認」、「探求」が提示されており、使いやすい工夫がされています。
- ・他社同様、生徒役のイラストで示されるコメントは、生徒に考えさせたいことや気づかせたいことが書かれており、生徒に考えさせる場面を設定しにくいように思います。
- ・節や1時間単位の「学習課題」と「学習のまとめ」で示されている問いに関連性があまり見られません。課題解決が図られないまま終わってしまうように思います。

・一同合意

#### (⑧学び舎)

- ・各ページの資料が大きく見やすいです。授業でも提示しやすいように思います。
- ・重要語句を表す太字表記がないため、生徒が重要な歴史的事象を把握することができないと思います。
- ・教科書のサイズが大きいですね。保管、持ち運び等には不便であると思います。
- ・見開き1ページに、時代のスケールが示されていないため、本時がどの時代の学習であるのか、また今後どのように推移していくのかが分かりにくいように思います。

・一同合意

#### (⑨令和書籍)

- ・注釈や資料の内容がとても詳しいです。詳しい歴史を学ぶことができますね。
- ・資料が巻末にあるため、授業中に参考にする際に扱いづらい面もあります。
- ・生徒が資料をもとに考えざる際に、本文の内容と関連する資料が別のページにあるため、活用しづらいです。
- ・単位時間や1時間の授業で、どの程度の範囲を取り扱うかが分かりにくいですね

・本日最後は、1 各教科共通の選定の観点 (5) 印刷・製本等についてです。

## 【1 各教科共通の選定の観点 (5) 印刷・製本等】

### (①東京書籍)

- ・グラフの背景の色が淡く目に優しく感じます。
- ・教科書全体に使用されている配色のバランスが良く見やすいですね。
- ・一同合意

### (②教育出版)

- ・シンプルな構成で、配色のバランスにも配慮されていますね。
- ・各ページの時代のスケールは、小さいです。また、同系色を使用しているため、生徒が見にくいように思います。
- ・一同合意

### (③帝国書院)

- ・行間、文字の大きさ、文字数などはちょうどよく、見やすいです。
- ・教科書全体に使用されている配色のバランスが良く、見やすい。
- ・地図や資料が大きくなっているため資料は見やすい反面、見開き1ページの構成ではないところは前後の資料や文章が活用しやすいように思います。
- ・一同合意

### (④山川出版)

- ・資料と本文は統一されたレイアウトで、配色も見やすいものであると思います。
- ・本文の量が多いため、行間が狭く、文字も小さく感じます。
- ・本文のルビは書体が細く、読みにくいですね。
- ・一同合意

### (⑤日本文教出版)

- ・資料や図は明瞭に感じます。
- ・配色も見やすく配慮されていますね、また、本文も読みやすいです。
- ・一同合意

### (⑥自由社)

- ・文字の大きさ、行間、書体などは見やすく、適切であると思います。
- ・資料が全体的に暗く、特に人物画は捉えにくい箇所もありますね。
- ・初めにも話しましたが、ページによって漢字の使い方や段落の構成など、校正が行き届いていない部分も見られます。
- ・一同合意

### (⑦育鵬社)

- ・資料が鮮明でわかりやすいが、行間がやや狭く読みづらい印象です。
- ・校正が行き届いていない部分が見られますね。例えば、239 頁「9日2日」などです。
- ・一同合意

### (⑧学び舎)

- ・フォントが大きく、カラーユニバーサルデザインに配慮されています。
- ・コントラストがはっきりしていて文字が見やすいです。
- ・しかし、サイズが大きいため、生徒の机上のスペースが狭くなりそうです。

### (⑨令和書籍)

- ・本文は縦書きで2段構成であることと、文章が次のページにまたぐこともあり、生徒は読みづらいと思います。

- ・また、資料は横書きなので、本文が縦書きであるため、把握しづらいですね。
- ・一同合意
- ・本日はこれまでにしたいと思います。
- ・次回は7月3日の15:00からです。よろしくお願いします。

17:00 終了

【7月3日(水) 教育センター 304室】

15:00～ 部長あいさつ、選定基準の確認、時程確認

15:20～ 各自の専門調査研究書(2 教科ごとの選定の観点から)読み合わせ  
司会 副部長 記録 指導主事

- ・本日は、前回の続きである、2 教科ごとの選定の観点から 確認を行っていきます。
- ・それぞれ皆さんが調査されたことをもとにご発言ください。
- ・最後にもう一度全体を確認して終わりとなります。よろしくお願いします。

【2 教科ごとの選定の観点】

(①東京書籍)

- ・「みんなでチャレンジ」では、個人活動や話し合い活動をする上での活動例が挙げられていますね。また、思考の視点が明記してあり、対話的に学びを深めることもできます。
- ・章のまとめでは、節の課題ごとに、用語の意味や資料を基に調べ考察できる構成となっていますね。
- ・そうですね、また章末では、探究課題をまとめるといった探究の三段階のステップが用意されており、丁寧に学習したことをまとめることができるようになっています。
- ・歴史の見方・考え方を示す「比較」「推移」などのアイコンがあり、それを基に、資料を読み取り、まとめ・ふりかえりができます。生徒の見方・考え方を働かせ考えを深めることができるものであると言えます。
- ・「もっと知りたい！」では、本篇の文化に関する内容の後にその文化を考察するトピックスが用意されています。
- ・単なる知識学習にとどまらず、文化の面白さや奥深さを考えることができ、我が国の伝統・文化を多面的にとらえることができる内容となっていますね。
- ・さらに人権や平和に関するトピックスが用意されていて、深く掘り下げて考察し、その背景を学ぶことができるよう工夫もなされています。
- ・SDGs のことについては、マークの表記や説明等がさらに詳しくあると、公民への学習につながりやすいと思いました。

・一同合意

(②教育出版)

- ・第一章「歴史のとらえ方・調べ方」では、思考を整理する手法(年表、思考ツール)について触れられています。生徒が自ら調べ学習をする際にまとめ方の参考になりますね。
- ・「歴史の技」、「THINK」の思考を深める問い等のコラムは、資料活用能力を高める手立てとして有効であると思います。

- ・また、資料も大きく掲載され、見やすいですね。
- ・「歴史を探ろう」では、一般市民の生活や女性や子どもに焦点を当てたものや、文化財から考察するものなど、さまざまな視点で時代の特色に迫ることができる内容となっています。
- ・単元末のまとめでは、基本的な知識の確認はしやすいと思います。しかし、生徒の思考を促す思考ツールや思考を深めるための設問、視点等の手立てが少ないため、物足りなさを感じました。

・一同合意

#### (③帝国書院)

- ・章末のまとめで「これからの社会を構想しよう」という学習課題がありますね。過去の事例と現在の関連性を考えたり、SDGsの視点から過去の事象を検討したりすることができるようになっています。
- ・そうですね、生徒に多面的・多角的な考察を促し、言語活動を充実させることができるものですね。
- ・また、知識習得を確認後、「タイムトラベル」を活用した振り返りや、問いの考察、時代の考察、「これからの時代を考察しよう」など活動が多いのも特徴であるといえます。
- ・コラムに「技能をみがく」がところどころ設定しており、資料活用能力を育むこともできます。
- ・単元の導入はどうでしょうか。
- ・単元の導入段階では、「タイムトラベル」のイラストの気付きから、時代の特徴を捉えることができるようになっています。
- ・さらに、「地域史」や「歴史を探ろう」では身近な地域の歴史や一般の人々の生活などが紹介されていて、生徒の興味関心を引きやすいものとなっていますね。
- ・「世界とのつながりを考えよう」や、巻末の「歴史の舞台を訪ねよう」では、地図帳との関連も図りやすく、歴史の授業だけでなく地理の授業でも関連付け考察することができる工夫も見られます。

#### (④山川出版)

- ・文化史、地域史等バランスよく掲載されており、様々な視点から歴史学習に取り組むことができる内容になっていますね。
- ・「地域からのアプローチ」や「歴史へのアプローチ」は、歴史的な事象が豊富な資料とともに紹介されていて、現代まで受け継がれる歴史や文化の意義を考えさせることができるもので、授業でも活用できそうです。
- ・「人物」では各時代に活躍した女性にも焦点を当てています。しかし、中学校の段階では取り扱いにくい人物も取り上げられています。
- ・歴史的な見方・考え方を働かせるための視点などは他者に比べて少なく、見方・考え方を働かせることが難しいと思います。
- ・章末のまとめは、違いを比較しやすいように発問が工夫されているのが分かります。
- ・しかし、「学習内容の整理」に留まっており、各時代の特色を自分の言葉で表現する問いは設定されていないことが気になります。

・一同合意

#### (⑤日本文教出版)

- ・女性史、SDGsの視点、防災、地域史等コラムが充実していますね。
- ・これらのコラムが発展的な学習のテーマとしてバランスよく配置しており、生徒が人権や防災、環境、地域学習など広い視点を持ち歴史学習に取り組むことができる内容となっています。
- ・「チャレンジ歴史」では、時代の転換期を捉えることができますね。ステップが設けられており、生徒が段階的に思考力を深めることができる点もよいと思います。
- ・学習の見通しを持たせることができるように、予想や疑問を二次元コードのポートフォリオに入力

できるようになっていました。

- ・主体的に課題を解決できるよう工夫ですね。
- ・各編のまとめはどうか。
- ・各編のまとめでは、①既習事項の確認「知識」、②時代の特色をつかむ「思考・判断・表現」、③学習後の気づき「主体的に学習に取り組む態度」と、段階を追って学習を整理することができる内容となっています。
- ・また、公害克服の歴史においては、北九州市の歴史を掲載しており、本市のシビックプライドの醸成にも役立つものであるといえます。

#### (⑥自由社)

- ・「もっと知りたい」のコラムは、歴史に対する関心意欲が高い生徒が人物や歴史的事象について深く学ぶことができないと思います。
- ・他者ではコラムや文化史として取り上げられている日本国建国の神話が通史のページで取り扱われており、事実と伝説が混在した状態になっていると思います。
- ・歴史的見方・考え方を働かせるための視点の記述あまり、ありません。生徒がこれらの視点を意識して思考しにくいように思いました。

#### (⑦育鵬社)

- ・単元末や発展のページに記載されている「トライ」では、主体的・対話的で深い学びを実現できる内容になっていると思います。
- ・「歴史ズームイン」では我が国の文化や外国人から見た日本、日露戦争の舞台裏など、さまざまな視点から歴史的事象を切り取って紹介しています。
- ・歴史に興味がある生徒の発展的な学習に役立ちそうですね。
- ・各章末の問いに対して歴史の見方・考え方をどのように働かせて学習課題に迫るとよいかのかわかりにくいように思います。
- ・各時間において、生徒の思考を促すものや、話し合い活動等の資料があまりないように思います。
- ・また、身近な地域の歴史から、歴史的な事象を捉えさせる地域史の取扱いが少ないように思います。
- ・先日話をした、安倍元首相の殺害事件についての記載は、歴史的な意味を生徒にとらえさせるには難しいのではないのでしょうか。

・一同合意

#### (⑧学び舎)

- ・提示されている資料が大きく見やすいですね。
- ・興味・関心を引く資料も多く使用されており、学習を進めていく上で思考を深めることができるものも多くありますね。
- ・「歴史を体験する」というコラムでは、実際の実験や1つの資料を深く読み取る活動が紹介されており、生徒の興味を引きやすいと思います。
- ・歴史的な見方・考え方に関する記述はありますが、「年表に書き込んでみよう」、「調べてみよう」といった作業のみで、具体的な活用場面が分かりにくいように思いました。
- ・章末の学習のまとめでは、グループ活動が設定されていますね。
- ・しかし、学習内容のまとめに留まるような問いが多く、多面的・多角的に思考させる課題にはなっていないように感じます。

・一同合意

#### (⑨令和書籍)

- ・歴史の詳細が記載されているので、歴史に興味がある生徒にとっては大変興味深い教科書であるように感じます。
- ・「政権担当者・出来事対照表」では、人物とその人物に関連する歴史的事象がまとめられているので、生徒が既習事項を整理しやすいと思います。
- ・しかし、全体的に歴史的事象に関する記述のみで、生徒の思考等を促す発問や資料があまり見られないですね。
- ・単元を通して歴史の大きな流れを捉えたり、各時代の特色を捉えたりすることが難しいように思います。
- ・「考えよう」や「ディベートをしてみよう」などでは、生徒に歴史的な認識を深めさせる手立ても見られますがどうでしょうか。
- ・統計資料など客観的なデータが少なく、価値判断がしにくいと思います。
- ・原始から現代までをひとまとめにした年表がないため、大枠で歴史の流れを捉えることも難しいですね。
- ・一同合意
  
- ・これですべての内容についての協議が終了しました。
- ・最後に、皆さんの意見をまとめたものを一度確認したいと思います。

16:30～ 印刷・確認 の後 修正

16:40～ 鑑文に押印・片付け

17:00 終了

令和七年度使用中学校教科用図書選定会議

専門調査研究会(公民)

# 議事録

## 専門調査研究部会(中学校 公民)議事録

記録者(村上)

5月29日(水) 教育センター 301室

14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)

14:40～ 選定基準の読み合わせ

14:50～ 各自調査研究

16:45～ 諸連絡、片付け

7月3日(水) 教育センター 202室

9:00～ 部長あいさつ、選定基準の確認、時程確認

9:10～ 各自の専門調査研究書読み合わせ

司会 副部長 記録 指導主事

・進め方は、出版社ごとに確認していったほうがいいですか。

・一同合意

・すでに教科書を見てもらって出してもらった意見を、指導主事にまとめてもらっているのですが、それを見ていきながら、適切と思うとか、一つにまとまらないとか、あとはちょっと意見が少ないなど感じることもあるので、必要に応じて意見があれば出していただきたいと思います。

### 【東京書籍】

1 各教科共通の選定の観点

(1)(内容の範囲および程度)

・皆さん概ね内容が適切であるということですが、ほかに意見はありますか。

・発展的内容が単元の間で設けられていて、使いやすいなどと思います。

(2)(内容に関する配慮事項)

・「18歳へのステップ」のページに主権者教育などに最近の事象が入っているなど感じます。

・身近に感じられて、生徒が興味・関心を高めやすい内容と思う。

・新聞記事の資料が多いから、教師が様々な見方を提示することができると思う。

・「スキル・アップ」の裁判所の傍聴の仕方とか、株式市場の読み取り方とか、ちょっと難しすぎるなど感じる。

・ステップアップのページに、最近の事象が多く入っているように感じます。

・新しく教える内容と、小学校での習った内容との関連が分かりにくく感じます。

・学習指導要領的にも小学校との関連で書いてあるのに、そういうのがないから、授業する時にこれ習っただろみたいなのがわからないって思いました。

(3)(分量)

・分量について、皆さん概ね内容が適切であるということでよいか。

・一同合意

・「もっと解説」とか探究課題が多く、基礎の内容と発展の内容との差が分かりづらい。

・文字が多すぎる

(4)(使用上の便宜)

・思考ツールとか、記入用紙とか、QRコードからデジタルコンテンツにアクセスできます

・それを使えば学習の深まりを期待できますね。



- ・画像や動画、クイズもありますね。
- ・表現として、QR コードから豊富なコンテンツを活用して主体的な学習を深める配慮がされている、でどうでしょう。
- ・一同合意
- ・デジタルコンテンツは充実しているけど、コンテンツは使いにくいと感じる。
- ・教科書にすでに提示されているものになっていてデジタルコンテンツである必要がない。
- ・スキルアップが色々なページにあります。
- ・具体的な裁判所の傍聴の仕方が説明されているけど、必要かなと感じます。
- ・詳しい説明の部分など、授業での取り扱いが困難だと感じるところがある。
- ・見開きの本分量に対して、コラムが多い。
- ・デジタルコンテンツで、自分が考えた内容をデジタル画像として保存することができますね。
- ・参考法令集がすべてデジタルコンテンツなので、ちょっと使いづらい。

#### (5)印刷・製本等

- ・多くの色が使われてて、ちょっと気が散ると感じる。

### 2 教科ごとの選定の観点

- ・LGBTQについてははっきり説明なされていて、いいなと感じます。
- ・いろいろなところで、色々な立場の意見が書かれていて、そういう意味では、多面的・多角的にとらえられる工夫が見られる。
- ・日本国憲法の平和主義についてはどうですか？
- ・様々な立場から、言及されているなと感じます。
- ・SDGsに関連したところで、ものを交換することで生活を成り立たせるっていう話を書いてある。
- ・NISAとかずっと個人投資が、国としても推奨してきているなかで、投資の話が全く書いてない。

## 【教育出版】

### 1 各教科共通の選定の観点

#### (1) (内容の範囲および程度)

- ・おおむね適切であるということで良いですか。

#### ・一同合意

#### (2) (内容に関する配慮事項)

- ・SDGs関連のページに具体的な項目が表記されていて、授業の中で取り上げやすいと思う。
- ・基礎的な内容と、コラム等の発展的な内容がしっかり分けられていて使いやすいと感じる。
- ・性の多様性に関する内容が少ないなと思う。LGBTQのQの記述がない。
- ・各単元に学習課題が書かれているので、授業のときには便利。

#### (3) (分量)

- ・資料の解説がいっぱい書いてあって、情報量が多いなと感じる。
- ・本文の解説とか、資料なんかも文字資料が多くて、文字がとにかく 1 ページの中に詰まって、文字数が多いという印象はすごくあります。

#### (4) (使用上の便宜)

- ・全体を通して節を貫く問いが設定されていて、生徒にとっても若手の先生にとっても扱いやすく構成されていると思う。
- ・用語解説は適度に記載されていると思う。
- ・重要度の低いものは巻末書かれています。
- ・生徒たちに探究させるような、それこそその活動を促すような問いとかが少なく、硬い表現とか

じゃなくて、子供たちの関心を高めるような表現とか内容ではないと思う。

- ・探究するような資料が少ないです。
- ・ずっとしゃべり続ける授業ならいいけど、生徒たちの活動を促すっていう観点から見ると、活動がないです。
- ・子供の視点に沿った探求活動じゃないから、いつも活動を自分で用意しないといけないと感じる。
- ・デジタルコンテンツもあまり多くないです。

#### (5)印刷・製本等

- ・特に気になるところとかはないです。
- ・問題ないと思います。

### 2 教科ごとの選定の観点

- ・各国の社会保障給付と負担割合を示した資料は、セルフディベートしてみようって書いてあって、結構公民の授業では生徒がこんな興味を持ってする。
- ・自衛隊についてや、平和主義について、さまざまな立場からの意見が取り上げられていると感じる。
- ・新しいその経済の動きの話が書かれてないし、金融に関する内容の記述というか説明が少ないなど思いました。
- ・選挙についても、それに対する資料とかが少なく、内容が薄いと思う。
- ・国際協力については、結構なページを割いて説明がされていると思う。
- ・人権に関しても、いろいろな人の考えを取り入れて取り上げられている。
- ・前回教科書からの、時代の変遷に合わせた内容の変更が少ない。
- ・でも、別の言い方をすれば、前回に時代を大分先取りしてた可能性もある。
- ・SDGsについての記述は、どの出版社よりも一番多い印象です。

### 【帝国書院】

#### 1 各教科共通の選定の観点

##### (1) (内容の範囲および程度)

- ・各单元の中で、グラフや資料が適度に挿入されていてバランスがいいと感じる。
- ・各单元の内容は、難しくもなく簡単すぎるといふこともなくという印象だった。

##### (2) (内容に関する配慮事項)

- ・デジタルコンテンツがどの教科書よりも充実していると感じる。特に、統計資料やワークシートが収録されていて、授業でも活用しやすいと思う。
- ・単元の合間のところで記述されている「アクティブ公民」が、それと関連させたリンク集が充実していて、生徒の主体的な学びつながりやすいと思う。
- ・本文に関連する資料が適切に提示されている。
- ・全体的に資料なども使って基礎的な内容を習得しやすいと思うが、学びの深まりにつながりにくいと感じるところもある。
- ・各政党の代表の顔写真がついていないのは、生徒にとってはイメージしにくいとも思う。ただ、使っている間に政党の代表も変わるから、良くも悪くもとは思ふ。

##### (3) (分量)

- ・全体の分量としては、授業時数からみても適切な量だと思う。
- ・各領域とか分野とか、特にどこかに内容が偏っているということはないと思う。
- ・見開き1ページの文字が多いと感じる。苦手な生徒にとっては嫌に感じてしまうかもしれない。

##### (4) (使用上の便宜)

- ・経済の単元のところで「パン屋さんを作ろう」というコンテンツがあって、デジタルコンテンツがとても面白い。お店を作る過程を通して、経済の主体的につながる構成になっているので、生徒も楽しく学習ができるのではないかと感じる。
- ・全部の単元にQRコードが記載されていて、デジタルコンテンツにアクセスしやすい。
- ・いろんなツールとかワークシートとかが準備されていて、デジタルコンテンツの内容がとても充実しているので、授業の深まりが期待できる。
- ・デジタルコンテンツが開きやすいとか何をしたいかが全部項目分けされていて、すごく綺麗。ブラッシュアップされているなど感じる。
- ・グーグルドライブを活用してワークシートとかの学習の過程をポートフォリオとして蓄積できるようになっているが、現状では北九州市では使えないですね。
- ・本文と資料は関連をもたせるものが配置されていて、生徒の学習の深まり手助けになるものがたくさんあると感じる。

#### (5)印刷・製本等

- ・教科書を開いたときにとても見やすく、使いやすそうな印象。
- ・UD フォントも使われているし、文字間とかも見やすいなど感じる。
- ・感覚的に紙質が違くとか、紙が少し薄いかなど感じる。

#### 2 教科ごとの選定の観点

- ・「アクティブ公務員」のところを教科書だけでやるならあまり深まらないと思うけど、ワークシートも用意されているし、QR コードからデジタルコンテンツにもつながってツールが活用できるので授業でやってみたいと思うところがあった。
- ・「アクティブ公民」の中の投資についての単元のところは特に、QRコードから GIGA 端末を使って学習できるようになっていますね。
- ・性の多様性については、解説や本文にも詳しく説明があったりして、きちんと記述されている。
- ・問題提起をするっていう意味で書いているのかもしれないが、学校での虐待防止という記述は先生が例に示されているから、ちょっと使いにくいとか、配慮して取り扱わないといけないなど感じます。
- ・章のはじめのところで「学習の前に」というのがあって、単元の学習に入る前の導入で活用しやすいと思う。
- ・それぞれのページの「アクティブラーニング」の内容が、生徒も興味を持ってやってくれるのではないかと感じます。
- ・P215からの第5部の「課題探究学習」が、小学校から3年生からやってきた社会科のまとめの学習としてとてもよくできているなど思いました。

#### 【日本文教出版】

##### 1 各教科共通の選定の観点

###### (1) (内容の範囲および程度)

- ・みなさん適切であるとのことですが、それでよろしいですか。
- ・他の出版社も同じけど、内容の範囲及び程度のところも、印刷・製本のところも、検定に通っているということは、文科省が適切としているのだから、それ以上のことはなかなか出てこないと思う。最後整理するときに、共通して書けることがあれば後で追加しましょう。

###### (2) (内容に関する配慮事項)

- ・各章の最初に「学習のはじめに」が用意されていて、生徒にとって章のめあてを考えやすい構成になっていると思う。

- ・いろいろな単元で用意されている「アクティビティ」や「チャレンジ公民」は、主体的な学びという観点で見て生徒に考えさせやすい内容になっていると思う。
- ・単元の終わりのところに、「まとめとふり返り」が用意されていて、左のページと右のページで基礎的内容と発展的内容とが分けられているから復習にもなるし、学びの深まりにもつながると思う。
- ・多面的、多角的という視点で見ると、新聞記事の資料が多いなと思う。それを使って教師が様々な見方を授業の中で提示して考えさせることができる。

### (3) (分量)

- ・適切だと思います。
- ・特にどこかの単元に量が偏っているということもないと思う。

### (4) (使用上の便宜)

- ・デジタルコンテンツを使った思考の内容を、ポートフォリオとして保存できるようになっている。
- ・日本文教出版も、デジタルコンテンツが充実していて活用しやすいと思う。
- ・歴史を北九州市が使っているからそう感じるのもあるかもしれないが、イラストと写真の両方が使用されており、歴史の教科書で見たなと思う写真や資料が多く使われているので、生徒にとっても親しみやすいのではないかと思う。
- ・他の出版社では文字と資料のバランスがページによってバラバラというところもあるんですが、資料と本文の配置が変わらず、どの単元でも統一されているので見やすい。
- ・デジタルコンテンツの小テストが使えるなと思った。授業で活用すれば、毎時間の理解度確認にも使用できる。
- ・見開きページの中に、少し文字による情報量が多いと感じる。特に文字の資料が配置されているところは文字が多いなと思う。

### (5) 印刷・製本等

- ・はっきり書いているわけではないが、表紙の色合いはSDGsを意識していると思う。
- ・UDフォントが使われているし、色使いも見にくくなくちょうどよいと思う。

## 2 教科ごとの選定の観点

- ・日本の安全保障のところの記述で、多様な意見を取り入れて書いているとは言えないなと思える表現もあるので、特に若い先生にとっては授業するときには取り扱いに困るのではないかと思った。
- ・ウェビングマップの活用や考えを記述するところが用意されている。
- ・ツールを活用した学習活動で、生徒の「思考力・判断力・表現力」の育成を図ることができる構成となっている。
- ・教科書のはじめのところでSDGsが取り扱われているので、公民の学習を通じて関連性をもたせることができるようになっている。
- ・本文には具体的な関連項目が分かるようにはなっていないから、その単元でどの項目に関連するのかとかは分かりにくいし、授業で触れるのも若い先生にとっては難しいのではないか。
- ・現代的な課題として、メディアリテラシーに関わる記述が具体的に書かれているから、生徒もわかりやすいと思う。
- ・点字が掲載されている。バリアフリーの理解につながるのではないかと思う。
- ・歴史に力を入れている出版社だけあって、人権思想についての説明が、分かりやすく流れを読み取りやすいと感じる。
- ・他に比べて、金融や投資に関する説明がそんなに詳しすぎることもなく、簡潔にまとめられているなど感じる。
- ・選挙に関するところで、主権者教育の視点で選挙の重要性などが丁寧に書かれている。

## 【自由社】

### 1 各教科共通の選定の観点

#### (1) (内容の範囲および程度)

- ・全体的に、最低限の記述に留まっていて、授業の中でも深まりにくいなど感じる。
- ・安全保障関連のところの説明とか内容が詳細すぎる。取り扱いに注意しないと偏った意見になってしまうと思う。

#### (2) (内容に関する配慮事項)

- ・「アクティブに深めよう」のところは、直接記入することができるようになっている。学びを深めることができるように工夫されている。
- ・満遍なく古事記・日本書紀の内容や、天皇制に関する内容の記述が多い。
- ・P54からのところで、日本国憲法改正に関する内容の記述が多い。

#### (3) (分量)

- ・「ミニ知識」や「もっと知りたい」などの発展的内容がところどころで設定されているが、語句の解説がほとんどで、考えを深めるという方向には結び付きづらいなど感じる。
- ・日本国憲法の平和主義や国際問題についてはかなりの分量を使って説明がされているが、それに比べると基本的人権に関する記述が少ないと思う。

#### (4) (使用上の便宜)

- ・資料がそこまで多くないので、見方によっては使いやすいなどは感じる。
- ・自由社だけデジタルコンテンツが全くない。
- ・全体的に写真資料が多い。数字で客観的に分析する資料が少ないので、そこから思考に促すといった学習にはなりにくいし、授業でも活用が難しいのではないかな。
- ・資料の文字がバラバラで統一感がなく、見づらい。
- ・巻末の法令集の記述のところを見ると、他社は用語の解説とかがあるが、自由社は日本国憲法に解説がないので、中学生にとっては読み取りが難しいと思う。
- ・資料に番号が振られていない。授業で資料を示すときに番号で言えないから授業がやりづらい。

#### (5) 印刷・製本等

- ・文字が大きいので見やすいなど感じる。
- ・文字が大きく、資料も必要最小限だから、紙面構成としては見やすいということかなと思う。
- ・見開いたページの中で、色があまり使われていないからすっきりして見える。
- ・ページ数が多い。紙質も普通だと思うが、その分、分厚いなど感じる。

### 2 教科ごとの選定の観点

- ・「ここがポイント！」のところ現代の事象を考察する時に、構成が分かりやすいから生徒が考える視点持ちやすいなど感じる。
- ・いろいろな事象を考える時に、グラフなどの客観性を示す資料が少ないから、多面的・多角的な視点は広がりにくいと思う。
- ・客観的に考える学習もやりづらいです。
- ・学びを深める学習については、ほとんどが表にまとめる形式で、学習内容をまとめるだけで、深い学びにつなげるという意味では深まらないなど思う。
- ・SDGsに関する記述とか資料が少ないなど感じる。
- ・日本国憲法の成立についての記述が詳細すぎて、ここまで授業で詳しくやる必要があるのかと思ってしまう。
- ・「旧敵国」という記述が強調されていて、生徒にとっても難しいと感じてしまうのではないかな。
- ・「アクティブに深めよう」では、主に書く活動を中心に資料を使ってまとめる構成になっている。

- ・「アクティブに深めよう」では、多面的・多角的に考察する力とか、公正に判断する力とか、説明する力とか、議論する力が養われるなど感じる。
- ・「アクティブに深めよう」の表が徐々に難解になっていくので、ちょっと取り扱いが難しくなってくる。
- ・各章に設けられている「もっと知りたい」は、社会との関わりとかを考えさせられるものとなっているので、その部分は有効だと思う。

## 【育鵬社】

### 1 各教科共通の選定の観点

#### (1) (内容の範囲および程度)

- ・おおむね適切ということでよいでしょうか。
- ・第4章「私たちの生活と経済」のところは、ちょっと難しいところもあって取り扱いが難しいなど感じました。

#### (2) (内容に関する配慮事項)

- ・ところどころで体験的な学習や、知識・技能を活用した問題解決的な学習が設定されているので、生徒の興味・関心を引きやすいのではないかと。
- ・発展的な学習にも結び付きやすいのではないかと思う。
- ・補足的な内容が多く記述されていると思うが、全体を通して情報量や文字が多いなという印象。
- ・デジタルコンテンツも限られているし、言語活動や問題解決的な学習を促すツールが少ないと思う。
- ・現代の社会的事象について、少し詳しくなりすぎているところもあって、各分野との関連とか、系統的な学びに配慮されているとは感じられない。
- ・「やってみよう」のところで、学習した内容の定着が図られる。

#### (3) (分量)

- ・最後の単元のところの「社会科のまとめ」が充実していて生徒にとっても学習が深まると思う。
- ・経済分野に関する内容が多いなという印象。それに比べて、基本的人権に関する内容が薄いなど感じる。

#### (4) (使用上の便宜)

- ・デジタルコンテンツは、「NHK for school」とリンク集に限られているので、学習ツールとかはとくに用意されていない。
- ・自由社もそうだが、デジタルコンテンツが少ないと、授業する立場としては授業準備が大変になる。
- ・学習課題が各単元のところに書かれているので、見通しをもって学習できる。
- ・本文がたくさんページもあるし、資料が大きく掲載されているページもあるし、バランスがバラバラなので統一感がないなど感じる。

#### (5) 印刷・製本等

- ・資料に不鮮明なところがあるとの意見が出ているがどこのことか。
- ・P184のところの写真で、モザイクがかかっている。すべてを見つけれられていないので他にもあるかもしれない。

### 2 教科ごとの選定の観点

- ・投資のこととか、新しい金融サービスについて取り扱っているのはいいなど感じた。
- ・最近の社会問題とか、国際問題が取り扱われているので、授業でも触れやすいと思う。
- ・「旧敵国条項」という記述がある。
- ・LGBTQとか、性の多様性に関する内容がほとんどないなという印象。

- ・資料で外国との比較をした資料が多いと思う。
  - ・国際的な関わりとかについて、調べたりまとめたりする学習にはつながりやすい。
  - ・資料が豊富に掲載されているので、それらの資料を読み取って自分の意見を書く活動をしていけば、多面的・多角的に考える力を身につけることができるのではないかと思う。
- 
- ・以上で全社ひと通り意見を出してもらいました。
  - ・最後に、皆さんの意見をまとめたものを一度確認したいと思います。
  - ・誤字とか脱字があったら教えてください。

16:40～ 印刷・確認、修正して再印刷

16:55 鑑文に押印

17:00 終了

令和七年度使用中学校教科用図書選定会議

専門調査研究会(地図)

# 議事録



## 専門調査研究部会(中学校 地図)議事録

記録者(濱田)

【5月29日(水) 教育センター 209室】

- 14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 14:50～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【7月4日(木) 小倉北区役所 812室】

- 13:00～ 全体会(部長あいさつ、時程確認等)

- ・いただいた意見を集約したものを確認。
- ・地図を選定する上での観点の確認。

### 【東京書籍】

- ・1点目の内容の範囲及び程度については、いかがでしょうか。

(情報量について)

- ・情報量について2つの意見がある。適切という意見と多すぎるという意見がある。情報量が多いという点は、共通しているが。実際、どうか？
- ・情報量が多すぎるという意見である。少しごちゃごちゃしている。105ページで関東地方を広く見ている。このページであれば、全く問題ない。ただ、103ページのように縦にして見たときに、情報量が多すぎてごちゃごちゃしている。縮尺の問題もあるだろうが、見づらい。東京都内に限ってであれば、ものすごく見やすいが、全体となった時には、多い。
- ・中学1年生が見るか、と言ったらきっと見ないと思う。そもそも探すことができない。
- ・日本は非常に細かいが、世界についてはよくある地図。
- ・遠くから見ても、情報量が多いことが分かり、何となく圧のようなものを感じてしまう。
- ・3年生は良いかもしれないが、1年生では嫌気しかないのではないか。
- ・全体の話から判断すると、情報量が多すぎるということになるが、良いか。
- ・全員合意

(他の分野との連携について)

- ・歴史的分野について。前九年の役、後三年の役等載っているが、今は教えていない。今、使用している教科書には載っていない。少し年表に出てくる程度。また、青木昆陽の墓等出てくるが少しマニアックになりすぎ。
- ・公民的分野について。90ページに近畿地方の人口ピラミッド。だいたい同じつくり。比較はしやすい。奈良県御杖村の人口ピラミッドで過疎過密について使用できる。観光客、伝統文化等の話を公民的分野の最初で使用することができる。
- ・全地域共通の指標があり、地域ごとの比較が容易。また、地域ごとの指標もあり、地域的特色を捉えさせやすい。
- ・他分野でも使用することは十分可能である。
- ・全員合意
- ・1点目の「内容の範囲及び程度」については、これでよろしいでしょうか。
- ・全員合意

・内容に関する配慮事項については、いかがでしょうか。

(ビーズアイについて)

・自分の授業での仕掛けと合致すれば、見てみようということになるだろうが、すべてを見るには時間が足りない。

・教科書にあれば、使う人は多いかもしれない。

・すごく良い視点のものもあるが・・・。

・工夫はすごく感じられるけれども、使うかというとなかなか使えない？使いづらい？

・自主的な活動を促すと書いてあるから、好きな子は学習をどんどん進めることができる。

・全員合意

(ジャンプについて)

・関連するページに飛ぶことはできるが、分かりにくい。もっとアピールすればよいのに。

・関連はあるが、たくさんページに飛ばないといけない。むしろトピック(宗教や生活文化等)で見開き1ページでまとめてもらった方が使いやすい。

・ジャンプについては、長所でもあり短所でもある。

・多くのページに移動するため、生徒によっては指示が通りにくい場合も想定される。

・全員合意

・2点目の内容に関する配慮事項は、これでよろしいでしょうか。

・全員合意

・3点目の分量については、いかがでしょうか。

・適しているということよろしいでしょうか。

・全員合意

・4点目の使用上の便宜については、いかがでしょうか。

・地図が大きくなって、見やすくなっている。

・縮尺の違いはあるが、地図が大きくなったことで情報量が多くなってごちゃごちゃしている。

・東京書籍は、地図帳というより資料集としての扱いになっている。

・関東ローム層等は、色合いの影響で分かりづらい。

・トータルとして3年間使用することを意図している。

(QR コンテンツについて)

・デジタルコンテンツにはつながるが、現在は、同じような地図が出るだけ。まだ整備されていない可能性がある。

・動画等も見ることができる。立体的な地図も見ることが可能。

・体感的に捉えることはできるが、切り口が一定であるので、活用しづらい。様々な視点から考えさせたい。

・4点目の使用上の便宜は、これでよろしいでしょうか。

・全員合意

・5点目の印刷・製本等についてはいかがでしょうか。

・文字の大きさが小さすぎる等の問題はない。文字の大きさは適切である。

・5点目の印刷・製本等については、これでよろしいでしょうか。

・全員合意

・最後に教科ごとの選定の観点についてはいかがでしょうか。

・資料が豊富すぎるという点が、長所でもあり短所でもある。地理的技能は身につくが、難しい。

・SDGsが最初にまとめてあり、分かりやすい。

・資料を活用した質問について。1つずつ QR コードを読み取ることは難しい。地理が好きな子は

どんどん進むが、授業で扱うことは難しい。

- ・資料が難しく、マニアックなところがある。
- ・48ページのアフリカ資料。パーセントの表記しかなく、分かりづらい。(数字が足りない。)
- ・東京書籍については、以上でよろしいでしょうか。
- ・全員合意

#### 【帝国書院】

- ・1点目の内容の範囲及び程度については、いかがでしょうか。
- ・補助教材としてのイメージがある。使いやすい。
- ・歴史的分野、公民的分野の基本的なことがきちんと押さえられている。
- ・教科書と組み合わせて活用することに適している。
- ・オールインワンではないが、地図帳は教科書ではない。
- ・1点目の「内容の範囲及び程度」については、これでよろしいでしょうか。
- ・全員合意
- ・内容に関する配慮事項については、いかがでしょうか。
- ・地理的分野だけでなく、歴史的分野、公民的分野でも活用できる。
- ・長所でも短所でもあるが、答えまで時間がかかってしまう。
- ・デジタル教科書等を生徒に使用させれば、わざわざQRコードを読み取る必要はなく、活用しやすくなる。
- ・2点目の「内容に関する配慮事項」については、これでよろしいでしょうか。
- ・全員合意
- ・3点目の「分量」については、いかがでしょうか。
- ・多くも少なくもない。適切である、ということでよろしいでしょうか。
- ・全員合意
- ・4点目の使用上の便宜については、いかがでしょうか。
- ・自分で進んで勉強するという工夫はあるか。
- ・各ページに「地図で発見」があるので、自ら勉強していくことは可能である。
- ・データの年度が記載されていないところがある。降水量で1月、7月があるが、年度については記載がない。
- ・地図上の地形や地名の表記。見やすく問題ない。
- ・テーごとの地図の縮尺が統一されていて、比較しやすい。これは分かりやすい。
- ・QRコンテンツでアニメーションやクイズ、Webマップを見ることができる。地図クイズ等もあり、活用しやすい。
- ・記載事項が絞られており、作りこまれている感じがする。
- ・デジタルコンテンツも充実しているが、すべてのものを授業中に活用することは時間的に難しい。
- ・4点目の使用上の便宜は、これでよろしいでしょうか。
- ・全員合意
- ・5点目の印刷・製本等についてはいかがでしょうか。
- ・情報量が精選されているので、地名等が重なることもなく見やすくなっている。
- ・見比べて初めて気づくこともあるが、とても見やすくなっている。
- ・16ページ。色の下に模様が入っていて、配慮がある。
- ・海の深度等については、読み取りづらい点もある。もうちょっと分かりやすい方がよい。
- ・5点目の印刷・製本等については、これでよろしいでしょうか。

- ・全員合意
  - ・最後に教科ごとの選定の観点についてはいかがでしょうか。
- (資料について)
- ・見やすい。情報量が多いのは東京書籍であるが、資料が厳選されているのは帝国書院。
  - ・気温と降水量に関しては、どこのデータも年度が載っていない。おそらくどこかにまとめて記載はあるはずだが、分かりづらいところはある。
  - ・SDGs、災害、防災については記載がある。帝国書院は、詳しい記載がある。
  - ・教科書と関連づけて、資料が記載されている。
  - ・帝国書院については、以上でよろしいでしょうか。
  - ・全員合意

16:00 ~ 印刷・確認 の後 修正

16:20 ~ 鑑文に押印・片付け

16:45 終了

令和七年度使用中学校教科用図書選定会議

専門調査研究会(数学)

# 議事録

## 専門調査部会(中学校 数学)議事録

記録者(坪井)

【5月29日(水) 教育センター 304室】

- 14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 14:50～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【7月3日(水) 教育センター 205室】

- 9:00～ 全体会(部長挨拶、時程確認、各自資料とり 等)
- 9:10～ 選定基準の読み合わせ
- 9:20～ 個別の調査・研究
- 11:00～ 各自の調査研究を集約
- 11:10～ 協議・司会(副部長)

・調査研究を各自行っていたいただき、ありがとうございました。皆さんにいただいた意見をまとめていますが、内容が重複しているところについては、確認していただき、修正したり、統合したりすることとしてよろしいですか。

・全員合意

・学校からの意見や市民からの意見については、総括部会で検討し、挿入したいと思いますが、よろしいですか。

・全員合意

・各調査項目の視点については、県教委より示されたものを踏まえ進めることとします。

・それでは、【東京書籍】から見ていきたいと思います。

【東京書籍】

・(1)の内容について、この項目に記載されている意見以外に特記するものはありますか。

・特になし。

・全員合意

・それでは、(2)に移ります。ご意見はありますか。

・(2)の内容について、この項目に記載されている意見以外に特記するものはありますか。

・QRコンテンツでヒントや途中式を1行ごとに見ることもでき、個に応じた学習を行うことができるし、フラッシュカードでは、間違えた問題のみ再チャレンジできるようになっています。

・追加してよろしいですか。

・全員合意

・(3)～(5)は合わせて確認していきたいと思います。よろしいですか。

・全員合意

- ・(3)の分量についてですが、教科書のページ数と重さを記載するのはどうですか。
- ・1年 321 ページ、587g、2年 257 ページ、455g、3年 289 ページ、521gとなっています。
- ・(5)の印刷・製本等ですが、2年生67ページのように、吹き出しが囲まれていないので、課題と説明文の区別がつきにくいと思います。
- ・追加してよいですか。
- ・全員合意
- ・教科の選定の観点に移ります。ご意見はありますか。
- ・配当時間は削除していいのではないのでしょうか。各社そのように設定しているので。
- ・削除してよろしいですか。
- ・全員合意
- ・「学びをふり返ろう」では生徒に考えさせたいものが記載されているが、その答えまで記載されているので、生徒の思考を促すことにならないと思う。
- ・追加してよろしいですか。
- ・全員合意
- ・他にありませんか。
- ・全員合意
- ・それでは、次、大日本図書に移ります。

#### 【大日本図書】

- ・(1)の内容について、この項目に記載されている意見以外に特記するものはありますか。
- ・特になし。
- ・全員合意
- ・それでは、(2)に移ります。ご意見はありますか。
- ・「確かめよう」はどの教科書にもあるので、それに関連する記載は、削除していいのではないのでしょうか。
- ・全員合意
- ・この項目に記載されている意見以外に特記するものはありますか。
- ・めあてが学習内容ごとに書かれており、若年教員のサポートになると思います。
- ・追加してよろしいですか。
- ・全員合意
- ・(3)～(5)は合わせて確認していきたいと思います。よろしいですか。
- ・全員合意
- ・(3)の分量についてですが、教科書のページ数と重さを記載するのはどうですか。
- ・1年 311 ページ、558g、2年 241 ページ、430g、3年 293 ページ、518gとなっています。
- ・(4)使用上の便宜で、QRコンテンツが少なく、問題に対しての手立てやヒントが不十分なため、苦手な生徒が進んで学習に取り組むことができないと思います。
- ・追加してよろしいですか。
- ・全員合意

- ・教科の選定の観点に移ります。ご意見はありますか。
- ・素因数分解から学習をすることに対して、生徒にとっては難しいのではないのでしょうか。
- ・しかし、小学校5年生で習うので、小学校とのつながりを考えているのでは。系統的な学習につながると思います。
- ・では、その意見を追加してよろしいですか。
- ・全員合意
- ・「学びにプラス」は、自ら学習したこと内容を振り帰り、探求する活動に利用できるのでは、追加してはどうでしょうか。
- ・全員合意
- ・他にありませんか。
- ・全員 合意
- ・それでは、次、学校図書に移ります。

#### 【学校図書】

- ・(1)の内容について、この項目に記載されている意見以外に特記するものはありますか。
- ・特になし。
- ・全員合意
- ・それでは、(2)に移ります。ご意見はありますか。
- ・「取り組むべき問題」という表現ですが、「問題解決の見通し」に変えてはどうでしょうか。
- ・全員合意
- ・他にありませんか。
- ・特になし。
- ・全員合意
- ・(3)～(5)は合わせて確認していきたいと思います。よろしいですか。
- ・全員合意
- ・(3)の分量についてですが、教科書のページ数と重さを記載するのはどうですか。
- ・1年 309 ページ、569g、2年 255 ページ、468g、3年 311 ページ、569gとなっています。
- ・(5)印刷・製本等ですが、使用されている色が薄く、配慮をした上で单元ごとにオレンジと緑の配色を変えているが、統一感がなく指導しづらく感じます。
- ・追加してよろしいですか。
- ・全員合意
- ・教科の選定の観点に移ります。ご意見はありますか。
- ・1年生の教科書248ページにあるように、QRコンテンツがSGURAPAと連携しており、データがグラフに反映されるようになっているので、データをヒストグラム等に表して考察することができるようになっています。
- ・追加してよろしいですか。
- ・全員合意
- ・他にありませんか。



- ・全員合意
- ・それでは、次、教育出版に移ります。

#### 【教育出版】

- ・(1)の内容について、この項目に記載されている意見以外に特記するものではありませんか。
- ・特になし。
- ・全員合意
- ・それでは、(2)に移ります。ご意見はありますか。
- ・1年生の教科書288ページの「学びのマップ」では、算数の内容とその系統性をいつでも振り返ることができるように工夫されています。系統的・発展的な指導ができるように配慮されているので、追加してはどうですか。
- ・全員合意
- ・(3)～(5)は合わせて確認していきたいと思います。よろしいですか。
- ・全員合意
- ・(3)の分量についてですが、教科書のページ数と重さを記載するのはどうですか。
- ・1年 343 ページ、588g、2年 271 ページ、460g、3年 311 ページ、526gとなっています。
- ・(5)の印刷・製本等ですが、学習の補充コメントが、綴じ合わせ部分に寄っているところがあり、見えづらくなっているのが気になります。
- ・追加してよろしいですか。
- ・全員合意
- ・教科の選定の観点に移ります。ご意見はありますか。
- ・学習内容を細かく分けており、それぞれに復習問題が設定されているため、反復練習がしやすくなっていると思います。
- ・追加してよろしいですか。
- ・全員合意
- ・他にありませんか。
- ・全員合意
- ・それでは、次、新興出版社啓林館に移ります。

#### 【新興出版社啓林館】

- ・(1)の内容について、この項目に記載されている意見以外に特記するものではありませんか。
- ・特になし。
- ・全員合意
- ・それでは、(2)に移ります。ご意見はありますか。
- ・4つの領域全てで、前学年の既習事項を応用させて新しい学習を進めていく形式になっており、適宜復習を取り入れながら授業ができるよう工夫されているので、追加してはどうですか。
- ・全員 合意
- ・(3)～(5)は合わせて確認していきたいと思います。よろしいですか。

- ・全員合意
- ・(3)の分量についてですが、教科書のページ数と重さを記載するのはどうですか。
- ・1年 299 ページ、504g、2年 235 ページ、404g、3年 278 ページ、476gとなっています。
- ・各社と比較すると、ページ数が最小で、軽量化されています。また、練習問題等をQRコンテンツで補充できるようになっています。
- ・追加してよろしいですか。
- ・全員合意
- ・(4)の使用上の便宜ですが、QRコンテンツが充実しており、自分のペースや理解度に応じて、繰り返し解くことができるし、問題の解き方を解説した動画も見ることができ、家庭学習にも使用できるように工夫されています。
- ・追加してよろしいですか。
- ・全員合意
- ・教科の選定の観点に移ります。ご意見はありますか。
- ・「これまで教員が準備してきたもの」という文言が気になります。
- ・削除してはどうですか。
- ・全員合意
- ・QRコンテンツを活用することで、教材準備の時間が短くなり、業務負担の軽減にもつながると思います。
- ・追加してはどうですか。
- ・全員合意
- ・他にありませんか。
- ・全員合意
- ・それでは、次、数研出版に移ります。

#### 【数研出版】

- ・(1)の内容について、この項目に記載されている意見以外に特記するものはありますか。
- ・特になし。
- ・全員合意
- ・それでは、(2)に移ります。ご意見はありますか。
- ・教科書の内容について、解説が多いように感じます。
- ・問題解決するというより、生徒が見て確認する、もしくは教師が説明するという構成になっているように思います。
- ・その意見を追加してよろしいですか。
- ・全員合意
- ・(3)～(5)は合わせて確認していきたいと思います。よろしいですか。
- ・全員合意
- ・(3)の分量についてですが、教科書のページ数と重さを記載するのはどうですか。
- ・1年 312 ページ、535g、2年 260 ページ、451g、3年 296 ページ、544gとなっています。

- ・(4)の使用上の便宜ですが、3年生117ページのように、作図やグラフを描くスペースが十分にあり、教科書に直接描くことができるよう工夫されていますが、全体的に教科書に取り上げられている問題数が少ないように感じます。
- ・追加してよろしいですか。
- ・全員合意
- ・教科の選定の観点に移ります。ご意見はありますか。
- ・QRコンテンツを利用して公式を確認できるのは良いが、各ページの下部にあり、どの問題に対応しているのかが分かりづらいと思います。
- ・ただ、ほとんどのページにQRコンテンツがあり、内容はとても充実していると思います。
- ・また、QRコンテンツから過去5年間の全国の入試問題を解くことができるのは、他の教科書にはなく、魅力的だと思います。
- ・その意見を追加してもよいですか。
- ・全員合意
- ・他にありませんか。
- ・それでは、次、日本文教出版に移ります。

#### 【日本文教出版】

- ・(1)の内容について、この項目に記載されている意見以外に特記するものはありますか。
- ・特になし。
- ・全員合意
- ・それでは、(2)に移ります。ご意見はありますか。
- ・特になし。
- ・全員合意
- ・(3)～(5)は合わせて確認していきたいと思います。よろしいですか。
- ・全員合意
- ・(3)の分量についてですが、教科書のページ数と重さを記載するのはどうですか。
- ・1年 312 ページ、558g、2年 260 ページ、450g、3年 296 ページ、515gとなっています。
- ・(4)の使用上の便宜ですが、授業の話し合い活動で使用できる対話シートや学習した内容を確認、発展させることのできるふり返しシートが巻末についており、切り取って活用することができます。これは、他社と比較しても、魅力的ではないでしょうか。
- ・追加してよろしいですか。
- ・全員 合意
- ・教科の選定の観点に移ります。ご意見はありますか。
- ・QRコンテンツでは、合同(相似)条件とアニメーションが連動しながら図形の証明が完成していく様子を見ることができるので、生徒も視覚的にイメージをもつことができると思います。
- ・追加してよろしいですか。
- ・全員合意
- ・他にありませんか。

・全員合意

16:00～ 印刷・確認 → 修正

16:20～ 修正

16:40～ 鏡文に押印・片付け

17:00 終了

令和七年度使用中学校教科用図書選定会議

専門調査研究会(理科)

# 議 事 録

## 専門調査研究部会(中学校 理科)議事録

記録者(平山)

【5月29日(水) 教育センター 304室】

- 14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 14:50～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【7月 1日(月) 教育センター 206室】

- 14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 14:50～ 調査研究に関する討議
  - ・各委員が観点に沿って特徴を指摘
  - ・各委員の意見の共通点・相違点の明確化
  - ・相違点を協議、結論として整理
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【7月 4日(木) 教育センター 307室】

- 9:00～ 全体会(部長あいさつ、時程確認等)
- 9:10～ 個別に各社の教科書等について調査研究
- 10:00～ 休憩
- 10:15～ 調査研究に関する討議
- 12:00～ 昼食
- 13:00～ 調査研究に関する討議
  - ・各委員が観点に沿って特徴を指摘
  - ・各委員の意見の共通点・相違点の明確化
  - ・相違点を協議、結論として整理

・それでは、各者観点ごとに発言をお願いします。

・まず、【内容の範囲及び程度】について。

《東京書籍》

- ・動物の透明骨格標本が掲載されており、他者のレントゲン写真と比較して生徒に実感を伴った理解が出来るように工夫されている。(1年 P48・49)
- ・全学年、全単元末に「社会とつながる科学」というコラムを配し、生徒に生活と理科(科学)とのつながりの意識を高めたり、キャリア教育に対して配慮したりする姿勢が見られる。
- ・気体の性質の小単元に1頁を割いたような「まとめ(表)」がなく、生徒が比較して学ぶ場合の配慮が不足していると考えられる箇所がある。(1年 P96)
- ・実際の火山の写真と火山のモデル図の並びが対応して並んでいないため、生徒が理解しにくくなっている。(1年 P194・195)
- ・消化の学習で、デンプンのモデルが、同じ単元の中で色や形が変化しており、生徒の理解に混乱を来す恐れがある。(2年 P132・134)
- ・巻末の「校外施設を活用しよう」12か所(福岡県の施設は1箇所)だが適切に扱われている。

## 《大日本図書》

- ・教科書内に他教科の学習内容、小学校や高等学校での学習内容も示されており、学習の系統性を強く意識した構成となっている。(【例】3年 P226・227、2年 P158・159、1年 P10・11 など)
- ・巻末の「校外施設を活用しよう」に 26 か所もの施設が掲載されており充実している。特に、北九州市立自然史・歴史博物館「いのちのたび博物館」も掲載されており、QR コードにより「いのちのたび博物館」のホームページにも接続可能となっている。(3年 P336)
- ・植物の発生の説明では、図中に説明文がなく、生徒の理解への配慮が不足している。(3年 P100)

## 《学校図書》

- ・全国学力学習状況調査や入試の問題を意識した「計算問題」や「読解力強化問題」、「思考をさらに深める」などの特集があり、生徒が自ら学習を深めるとともに、思考力の育成を助ける構成になっている。
- ・実験への導入が生徒の詳細な会話形式になって完成されており、生徒が学習場面で思考を自ら深めることへの配慮が不足した構成になっている。ただ、教科書をひたすらに読むことで学習内容を理解していく場合には課題が明確になっているため、学習しやすい構成になっているといえないこともない。
- ・「補充資料」が後半に 52 ページあり充実しているが、教科書の最後尾にまとめてあるため、教師が単元の指導途中に意識しづらい構成になっている。また、校外施設の利用に関しては紹介が見当たらない。
- ・SDGsのマークはあるが関連付いている場所の記載がなく、適切でない。他者に記載がないか確認が必要。

## 《教育出版》

- ・動物の発生の例が、カエルの場合や、ウニの場合など並べて記載されており、比較しやすいため、生徒の理解が深まりやすい。
- ・実験への導入が生徒の詳細な会話形式になって完成されており、生徒が学習場面で思考を自ら深めることへの配慮が不足した構成になっている。ただ、教科書をひたすらに読むことで学習内容を理解していく場合には課題が明確になっているため、学習しやすい構成になっているといえないこともない。
- ・「ハローサイエンス」というコラムで科学史や日常生活との関連事項、発展的な学習内容などについて取り扱っているが、記載が小さく、生徒の科学への関心や学習の深まりに対するインパクトに欠ける傾向が見られる。

## 《啓林館》

- ・動物の透明骨格標本が実際の動物の写真と並べて掲載されており、他者のレントゲン写真と比較して生徒に実感を伴った理解が出来るように工夫されている。(1年 P48・49)
- ・動物の発生の例が複数並べてあるため比較しやすく、生徒の理解の深まりをうながせる構成になっている。
- ・「ためしてみよう」や「Action－活用してみよう」、「深めるラボ」などのコラムで、発展的な学習内容や、日常生活との関連を示す話題(2年 P 57・47・48 など)が豊富に示されており、科学への関心を高め、深めるのに役立ち、知識・技能を活用して学習の理解の促進を図ることができる。
- ・ボーリング調査の扱いはないが、地層のはぎとりが主となっている。
- ・蒸留の実験の前にエタノールの沸点を調べる実験があるが、蒸留の実験でもわかるため、行う必要がないのではないか。

- ・校外施設の利用に関してまとまって紹介するページはない。教科書内には数か所は出てくる。(2年生で3か所程度)
- ・発達段階に応じた内容であり、また、学年間のつながりも重視されているため、十分に生徒は獲得した見方・考え方を働かせることができる。
- ・通常の実験はそうっていないが、「探 Q 実験」への導入は生徒の詳細な会話形式になって完成されており、生徒が学習場面で思考を自ら深めることへの配慮が不足した構成になっている。ただ、発展的な内容のため、学習を生徒自らが進めるためには課題が明確になり、学習しやすい構成になっているともいえる。
- ・以上、でよろしいか。
- ・合意

・では、次に【内容に関する配慮事項】について。

#### 《東京書籍》

- ・各単元の「学習内容の整理」のまとめ表記が重要語句を大きく左に明記し、説明がその右に整理され、説明に必要な図がコンパクトに配置されているため、見やすく、生徒の理解がしやすい。(3年 P66、P120・121 など)
- ・色々な力の種類が見開き1ページに写真と文章が1組ずつ見やすくまとめられて、生徒の理解の充実に配慮されている。(1年 P170、171)
- ・单元ごとに「確かめ問題」や「活用問題」が設定しており、QRコードを利用してタブレット等の活用が図られ、生徒の個別の学びにつながるように構成されており、学んだ内容の定着に役立つように工夫してある。
- ・第2学年「日本の天気」では、季節ごとの雲の様子と天気図が他者よりも大きく示されており、典型的な気圧配置・雲の形状等がとらえやすくなっており、視覚的理解がしやすいつくりになっている。
- ・单元のはじめに、「この单元で学ぶこと」がシンプルに示されており、見通しをもって学習を進めるために配慮されている。
- ・問題解決的な学習が重視されており、必ず「問題発見」から内容が始まり、さらに、思考を深めるための「疑問」や実験の「構想」等、他の教科書会社と比較してもかなり細かく作りこまれている。
- ・各単元の最初などに「スタート動画」があり、QRコードを通してタブレット等でアクセスし、学習内容への興味・関心を高め、課題意識を高めるように工夫されている。
- ・「じっくり探究」が各単元にあり、生徒自らが探究的な学びを進めるような活動となっている。
- ・教科書内に他教科や小学校・高等学校で学習する内容が示されており、学習内容のつながりを意識した構成となっている。
- ・各巻末の「学びを広げよう自由研究」が生徒の発展的な学習や個別最適な学びを深化させるうえでよい。
- ・SDGs関連の記載が「私たちのSDGs」として单元中に配してあって利用しやすい。
- ・单元末の「学習内容の整理」では、すべての重要用語に振り仮名が付いている。

#### 《大日本図書》

- ・单元の始めに「これまで学習したこと」「これから学習すること」として、見開きページを使って既習事項や関連事項をまとめて掲載しており、学習内容の系統性を生徒に意識させやすい。
- ・1年生の化学分野では、実験器具の説明や、調べ方(気体の調べ方)などが、実験のページの前にあり指導しやすい。啓林館も 東京書籍と教育出版は物質の調べ方も記載がある。
- ・各小単元に「問題を見つけよう」が設定されており、生徒が探究的な学習を進めるきっかけづくり



配慮されている。

- ・各巻末の「自由研究にチャレンジしよう」や「探究活動」が生徒の発展的な学習や個別最適な学びを深化させるうえで大変よい。
- ・「行ってみよう！科学館・博物館」に「いのちのたび博物館(北九州市立自然史・歴史博物館)」が掲載され、生徒の興味・関心の高まりに配慮している。
- ・SDGs関連の記述が見られない。

#### 《学校図書》

- ・第2学年化学分野「鉄と硫黄」の実験では、使用する薬品がごく少量で設定されており、安全性に配慮されている。
- ・第2学年地学分野「日本の気象」では、気圧配置図と雲画像が並べて示されており、気圧と雲の関係を考えながら、学習を進めることができる。考えを深めることができる。
- ・「気象に関わる災害」について、一目で災害の甚大さが捉えられるような写真が用いられており、自分事として考えさせる工夫がなされている。
- ・実験器具の操作方法やグラフの書き方、気体の調べ方など、実験上必要な内容が巻末にまとめられており、指導しにくい。
- ・他の教科書会社と唯一異なるのが、(特に化学分野において)粒子をもとに説明を行わせようとしている点であり、知識を活用した問題解決的な学習が十分に行える内容である。始まりが唯一原子の構造から始まり、粒子概念をもとに思考していく方向付けを行っている。さらに、P. 119の【課題】にも原子や電子のモデルで説明する。と唯一明記されている。
- ・単元の始まりには、小学校での既習事項が記載されており、「できるようにになりたい目標」を観点別に記載されているため、ルーブリックを作成しやすいようになっている。
- ・各学年巻末の「読解力強化問題」や「思考をさらに深める」では高校入試を意識した問題が掲載されており、生徒の発展的な学習や個別最適な学びを深化させるうえで大変よい。
- ・各単元の冒頭にSDGsとの関連を掲載するなど、関連が全学年・単元を通して図られているが、具体的な内容についての記述は少なく、ESD教育にはつながりにくいと考えられる。

#### 《教育出版》

- ・カラーユニバーサルデザインに配慮し、どの色覚特性でも判別できるようにしている。しかし、赤字に対し、読み仮名を黒文字で印刷しているため、やや見にくい印象がある。(3年p60、61、110、111他)
- ・探究の進め方フローチャートが折り込まれ、どのページからも「探究の進め方」を見ることが出来るようになっている。しかし、一般的な探究の流れであるため、すべてのものに当てはまらない可能性が高い。
- ・単元末の「要点と重要用語の整理」では、すべての重要用語に振り仮名が付いている。
- ・各章の始まりにおいて、既習事項確認することができるQRコードが掲載されている。
- ・「探究してみよう」が各単元にあり、生徒自らが探究的な学びを進めるような活動となっている。
- ・基礎問題⇒活用問題⇒学年末総合問題と練習問題は充実されているため、生徒の知識の定着の取り組みは行いやすい。
- ・各単元末の「広がる科学の世界」や各巻末の「自由研究」では、生徒の発展的な学習や個別最適な学びを深化させるうえでよい。
- ・各単元の冒頭にSDGsとの関連を掲載するなど、関連が全学年・単元を通して図られているが、具体的な内容についての記述は少なく、ESD教育にはつながりにくいと考えられる。

#### 《啓林館》

- ・各単元末の「学習のまとめ」に、図や該当ページが記載されているため、生徒が復習しやすく、学

習内容の定着に役立つ構成になっている。

- ・単元末の「力だめし」の問題が、会話文を含むなど応用問題や思考問題に対応している。
- ・動物の分類表の写真の例が他者よりも多くてイメージがしやすいため、生徒が視覚的に理解しやすい構成になっている。
- ・気体の性質を比較する表の中に写真が入っており、生徒が視覚的に理解しやすく、生徒の学習内容の理解に配慮されている。(1年P156・157)
- ・1年生の化学分野の学習で、粒子論(粒子概念)を学んだうえで状態変化について学習する展開となっており、状態変化を粒子でイメージできることで、微視的思考がしやすくなっている。
- ・第2学年化学分野の化学反応式では、ほぼすべての化学反応式について粒子モデルが示されており、生徒の理解が深まりやすい構成になっている。
- ・各単元に「探究実験」があり、探究の流れを示した「探Qシート」が、切取式で準備されており、各単元で最も探究的な学習に展開しやすい観察・実験等を生徒が探究しやすいように工夫・配慮されている。重点的に探究活動ができる構成となっているため、探究学習を実現でき、生徒の問題解決能力を高めることができる。
- ・イラスト等で多様な人種の生徒がいることに配慮されており、共同的な学びや国際理解を推進する工夫が見られる。(3年P65、66)
- ・「みんなで探Qクラブ」という実験を主体とした発展的学習が各単元の最後にあり、身近な題材や出来事から科学的なテーマを選んだ探究学習が可能になっており、学習の充実について配慮されている。
- ・学習したことを踏まえて、「探Qのたね(身の回りの疑問)」を考えることで、生徒が理科の学習を身近に感じるとともに、学んだ知識を活用して思考力を深めることができるようになっている。
- ・単元の始まりには、「学ぶ前にトライ」と振り返りシート(QRコード)があり、その単元を学ぶ前と後での自分の考えを記入できるようになっており、単元を貫く本質的な問いによって見通しをもった学習ができるように配慮されている。
- ・各単元末の「学習のまとめ」でQRコードを利用して、練習問題で重要語句を四択で選択するなどして、単元の学習内容が復習できる構成になっている。
- ・各単元末の練習問題が、上記の「QRコード問題」から「力だめし問題」「動画でチャレンジ問題」「学年末総合問題」など練習問題が充実しており、生徒の個別最適な学びに活用できると考えられる。また、動画で出題される問題があり、今後、生徒が試験のCBT化へ対応していくためにも有効であると考えられる。ワークがいらぬのではないか。
- ・各巻末に、日本各地のSDGsの目標達成の取組を掲載するなど、SDGs教育(ESD)との関連が全学年を通して図られているため、生徒が理科とSDGsを関連付けて考えることができるようになっている。
- ・単元の順番が全学年、生物、地学、化学、物理分野の順序なので、教科書通りに学習を計画すると(特別な教育的支援を要する生徒の中には順序にこだわる生徒もいる)理科室の使用等に支障が出るかも知れない。
- ・以上、よろしいか。
- ・合意

16:10～ 報告書の印刷(1回目)

16:30～ 誤字脱字の訂正などの校正作業

・それでは、前回に引き続き、各者観点ごとに発言をお願いします。

・では、次に【分量】について。

#### 《東京書籍》

・全体の分量として、これまでの教科用図書(大日本図書)の分量を大きく相違している点はないため、適切である。

・各分野の内容に偏りがなく、適切に内容理解に取り組むことができる。

・2年 307 ページ+3D温帯低気圧 分量としては適量。

・2年生実験の数は化学8つ、生物は5つ、地学が2つ、物理が8つで適量。

#### 《大日本図書》

・適切である。

・2年 307 ページ 分量としては適量。

・2年生実験の数は化学9つ、生物4つ、物理が9つ、地学が2つ。やってみようまで入れると他者よりやや多い。

#### 《学校図書》

・全体の分量として、これまでの教科用図書(大日本図書)の分量を大きく相違している点はないため、適切である。

・2年 296 ページ 分量としては適量。

・2年生実験(探究という名称)の数は:化学8つ、生物7つ、物理が8つ、地学が5つ。

他の教科書に比べると多い。

#### 《教育出版》

・文字が大きく、分量が多く見える。

・全体の分量として、これまでの教科用図書(大日本図書)の分量を大きく相違している点はないため、適切である。

・2年 304 ページ 分量としては適量。

・2年生実験(探究という名称)の数は:化学7つ、生物4つ、地学が2つ、物理が7つ。

他の教科書に比べると少ないが、「やってみよう」として掲載されているものが多い。

#### 《啓林館》

・2年 296 ページ+探Qシート4枚+SDGs2 ページ程度 分量としては適量

・2年生実験の数は、生物3つ、地学3つ、化学が7つ、物理が9つ。

「ためしてみよう」等もあり実験量としては適切である。

・以上、でよろしいか。

・合意

・では、次に【使用上の便宜】について。

#### 《東京書籍》

・周期表が黄色背景にオレンジ色の文字、紫の背景に紫の文字、灰色の背景に灰色の文字、などと色覚異常の子どもへの配慮が不足している。(2年)

・サイズが大きいので配慮が足りない。

・育成を目指す資質・能力がアイコンで、理科の見方・考え方が小単元のはじめなどの文章で明確に示されていてよい。資質・能力等の記載が他者にはないか確認する必要がある。

・文字が小さい部分があり、若干、読みづらく感じる。具体的な箇所がどこか。また主観的である

かは、他者との比較が必要である。

- ・実験・観察の内容が基本的に1ページにまとまっており見やすい。他者も基本的に1ページなら削除すべき。
- ・図や写真は学習を進める上で、関連を持たせて用意されている。他者も同様であれば、具体が必要である。
- ・学習の深まりに有効に働くかは疑問が残る。どうしてそうなるのか？といった疑問に対する明確に答えとして図であるか。
- ・学びのフローチャートは探究のステップがわかりやすい。他者に探究のステップがわかりやすい表記はないか確認すべき。
- ・QRコンテンツ…1年163か所[252個]2年200か所[255個]3年生198か所[243個]  
内容としても、既習事項確認、シミュレーション、基本操作、実験手順、思考ツール、他教科での学びなど充実している。また、デジタルデータ利用・GIGA端末利用。特に導入・まとめ(ふりかえり問題など)の場面等によく取り入れられており利用しやすくなっている。
- ・Before&Afterシートは使い方次第だが、ループリックがあると自己評価しやすい。
- ・本文がページの左側に配置され、その解説や追加情報がページの右両にやや小さな文字で配置されていて、情報の重要度が分かり易くかつ、徹底されていて読みやすい。
- ・実験、観察の手順と結果が同じ見開きにならないように配慮され、生徒の思考を止めないつくりになっている。他者も同様なら削除すべき。

#### 《大日本図書》

- ・周期表が見やすく、身近な例の文字入り写真があるため日常と結びつきやすい。((2年)他者の見やすさも確認)
- ・小学校で使用しているため、表現(写真など)系統性が見込まれていてよい。小学校の教科書と比較し、本当に系統性はあるのか。それを選定基準として良いのか確認。
- ・WEBコンテンツで基本的な実験器具の操作についての動画があり、生徒への説明時に活用できる。他者にもあるか確認。教科書にWEBコンテンツあるかも確認。
- ・実験・観察の内容が基本的に1ページにまとまっており見やすい。他者も同様か確認。
- ・QRコンテンツ…(教科書がブラッシュアップされないため)教科書に示されているものは、他者と比べて少ない。特に導入・まとめ場面等。個別最適な学びの実現には、情報量としては適切でなく、配慮が足りない。
- ・主体的に学習に取り組む態度に対する工夫が少ない。生徒が自己調整を行えるような、学びの振り返りの設定が明確に記載されていない。他者はあるか確認。
- ・単元末の「自由研究にチャレンジしよう」や「探究活動」が、生徒の自学の取り組みや探究心を高める上で使いやすい。
- ・本文が見開きページの中心に配置され、その解説や追加情報が見開きページの左右両端にやや小さな文字で配置されていて、情報の重要度が分かり易くかつ、徹底されていて読みやすい。

#### 《学校図書》

- ・巻末の「補充資料」は充実しているが、後ろのページにまとめられているため、指導者の見落としが起きたり、生徒がページをめくる回数が多くなったりするため、扱いづらく、適切ではない。
- ・サイズが大きく使いづらい。
- ・「この時間の課題」がそのまま「めあて」として使用することができる表記となっているため、生徒がその時間に学ぶことを意識できる。
- ・学習内容の確認問題が「ふりかえり」となっており、生徒が授業での「振り返り」と混同するおそれがあるため、生徒への配慮が足りない。

- ・写真が大きく鮮明でわかりやすい。どこの場所か、具体的に示す必要がある。
- ・挿絵や図などが学習の深まりに有効に働くように配置されているかは疑問がある。結果の説明を行う図の詳細が、他の会社と比較して明らかに見劣りする部分がある。
- ・各ページにQRコードがあり、各項目のミライ教科書にリンクしている。教科書の内容をすべてウェブページで見ることが出来き、動画や操作系教材も多数あり、最新の科学ニュースも読むことができる。また、ルビ付けや多言語への変換も可能。音声読み上げや色調反転などのUD機能も充実している。また、チャットボットによる生徒の多様な質問にも回答でき、練習問題も答えに応じて、チャットボットが自動採点・自動解説を行い、個別最適な学びの実現に必要なものとなっている。

#### 《教育出版》

- ・周期表の色合いが見やすい。物質の例の写真がある。他者との比較が必要。
- ・実験が考察まで見開きでまとまっており、結果を教科書に記入することが可能になっている。(3年p27、41他)
- ・結果は書き込めるが、考察を書く自由枠がないため、結局別プリントの準備が必要になる。(3年p27、41他)
- ・サイズが大きくて使いづらい。
- ・文字が大きく、レイアウトがすっきりしていて見やすい。他者と比較必要。
- ・1年生のみ文字のサイズが大きく、見やすい。
- ・説明の写真が小さく見にくい。
- ・デジタルコンテンツとして実験・観察ワークシート・問題演習プリントは充実しているため、生徒が個々に自ら復習することができ、知識の定着に役立つため、適している。
- ・QRコンテンツ…1年120か所 2年109か所 3年生121か所  
内容としては、既習事項確認、シミュレーション、基本操作、グラフシート、要点チェックなど充実しているが、共通している動画(例:ループの使い方など)が多く、実際のコンテンツ数としては少なくなっている。

#### 《啓林館》

- ・図や写真が多く、わかりやすい。多いの定義は難しいが、他者と比較して本当に多いかを確認。
- ・周期表がシンプルで見やすく、物質の比較がしやすい。他者との比較が必要。
- ・周期表に記載されている写真が容器に入った物質そのものであるため、元素と身近な物質の例が結びつきにくい。
- ・サイズが大きく使いづらい。
- ・第2学年生物分野「だ液のはたらき」の実験では、実験結果が示されておらず、実験を欠席した際などに教科書で結果を確認することができない。
- ・写真が大きく鮮明で見やすい。また、写真の数も多く、生物分野などは名前だけでなく写真も含めて覚えることができるので、印象に残りやすい。他者との比較必要。
- ・実験・観察の内容が基本的に1ページにまとまっており見やすい。他者も同様なら削除すべき。
- ・図や写真が学習の深まりに有効に働くように配置されており、また、思考の流れに沿っても配置されているため、生徒は理解の深まりに配慮されている。どのように有用に働くのかを具体例が必要。
- ・理科を身近に感じることができるコラムが充実しているため、生徒が学習内容を身近なものとして考えることが出来るように工夫されている。他者との比較も必要。
- ・QRコンテンツ…1年197個 2年187個 3年生203個  
内容としては、実験・観察ワークシート、問題(用語確認、基礎、問題解説、動画問題)、動画(基本

操作、実験動画)、データ配布、シミュレーションなど充実している。探Qシートもデジタル版がある。

- ・単元の始まりには、「学ぶ前にトライ」と振り返りシート(QRコード)があり、その単元を学ぶ前と後での自分の考えを記入できるようになっており、単元を貫く本質的な問いによって見通しをもった学習ができるように配慮されている。(あと1社ぐらい振り返りはあった気がします。)
- ・以上、でよろしいか。
- ・合意

では、最後に【印刷・製本等】について。

#### 《東京書籍》

- ・表紙が特定の人物写真であるため、自然や事物事象への関心を高められない。
- ・紙がやや薄く、丈夫さにおいてやや危惧される。裏写りに関して他者と比べる必要がある。
- ・写真が大きく鮮明でわかりやすい。
- ・印刷が鮮明である。文字の大きさや行間は他の教科書会社と比較してもかなり大きく設定されている。
- ・AB判…横に大きいため幅をとり、実験中は安全確保の面ではよくないが、写真や図などを大きく表記でき、見やすい。
- ・紙の表面がツルツルしておらず、めくりやすい(再生紙)。植物性インキ使用
- ・学習中盤の温帯低気圧3Dペーパークラフトの必要性(他者にはないが、デジタル教材で3Dイメージは可能では?)
- ・5社の各学年の教科書重量の平均値より軽く、生徒が持参するのに負担が少ない。(573g/650g)

#### 《大日本図書》

- ・実験の目的や着眼点の文字が小さく、実験手順が明確に表記されているため手順や注意事項がわかりやすい。
- ・全体的に文字が小さく、説明文と補足が明確に分かれていて、読みやすい。
- ・B5判…軽く、実験などで邪魔になりにくい。
- ・紙の白が強く見やすい。環境保護に配慮した用紙の使用。植物性インキ使用。
- ・5社の各学年の教科書重量の平均値より軽く、生徒が持参するのに負担が少ない。(600g/650g)
- ・5社の中で1番軽い。(2年573g)

#### 《学校図書》

- ・内容に関連した説得力のある写真が選択されており、視覚的に生徒に興味を持たせることが出来るものになっている。
- ・実験の導入部分の会話の流れ・表記の順番や文字のサイズが小さいためか見えづらいため、読み取りにくいいため、生徒への配慮が不足している。
- ・脊椎動物の特徴については、写真の中に説明文があるため、白く縁取りがされ、文字も小さくなっており、重要な説明の部分が読みにくいいため、視覚的に見にくく、重要事項を押さえることが出来にくくなっているため、適切ではない。
- ・図と文、写真、補足が1ページの中に混在しており、読み取りにくいいため、生徒への配慮が不足している。本文がページ上部に位置し、その解説や追加情報(写真や図表等)が下部に配置されているページもあれば、本文が左側に位置し、右半分や右3分の1、あるいは、右半分がその解説や追加情報(写真や図表等)となっているページが混在しており、一貫性がなく読みづらい。

- ・印刷は鮮明である。文字の大きさ、行間も大きく設定されている。  
AB判…横に大きいため幅をとり、実験中は安全確保の面ではよくないが、写真や図などを大きく表記でき、見やすい。
- ・再生紙や植物性インキ使用。発色性に優れた用紙を使用している。
- ・5社の中で1番重い。(2年:700g)
- ・5社の各学年の教科書重量の平均値より重く、生徒が持参するのに負担が多い。  
(663g/650g)

#### 《教育出版》

- ・1ページの中で、文と図、補足等の配置や配色が明確であり、読む流れがわかりやすいため、適切である。
  - ・1ページあたりの文字、文章量が多く見にくい。実験の説明などが文章量、ページ数が多く見にくい。文字数が少ないため、情報が他の教科書会社と比較して少ない。
  - ・印刷は鮮明である。文字の大きさ、行間も大きく設定されている。
  - ・特に化学分野において、実験目的～考察までが、見開き1ページになるように組み込まれているページが多く、教科書だけでも十分にレポートとして活用できるため、生徒の学びの深まりには適切である。他者確認をすべき。
  - ・AB判…横に大きいため幅をとり、実験中は安全確保の面ではよくないが、写真や図などを大きく表記でき、見やすい。
  - ・中学校1年生だけ文字の大きさが1ポイント大きくなっている。他者も確認すべき。
  - ・再生紙及び植物性をインキ使用している。
  - ・5社の中で2番目に重い。(2年:667g)
  - ・5社の各学年の教科書重量の平均値より重く、生徒が持参するのに負担が大きい。(677g/650g)
- (・重要語句が目立つように赤系の色で印字されているのはよいが、色を認識しづらい生徒に対して配慮が足りない。)

#### 《啓林館》

- ・説明文が内側、写真が外側で統一されているので、見やすく、生徒が視覚的に認識、理解しやすい。他者も確認すべき。
- ・紙が光沢紙ではないので、読みやすい。他者も光沢紙でなければ削除すべき。
- ・探究活動についてまとめるためのレポートが、巻末に切り取り可能な形でついており、指導しやすい。
- ・印刷は鮮明である。文字の大きさ、行間も大きく設定されている。
- ・図や写真等、他の教科書会社と比較しても明らかに分量が多く、十分な情報量である。
- ・1年生はフォントが大きく、見やすい。2,3年生はフォントが小さくなり、やや多い。
- ・AB判…横に大きいため幅をとり、実験中は安全確保の面ではよくないが、写真や図などを大きく表記でき、見やすい。
- ・再生紙、植物性インキを使用。探Qシートも剥いて綴じやすくなっている。
- ・本文が見開きページの中心に配置され、その解説や追加情報が見開きページの左右両端にやや小さな文字で配置されていて、情報の重要度が分かり易かつ、徹底されていて読みやすい。
- ・5社の各学年の教科書重量の平均値よりやや重い、生徒が持参する負担は平均的である。(648g/650g)
- ・5社の中で3番目に重い。(636g)

16:20～ 全員での最終読み合わせ

16:40～ 報告書の印刷(2回目)  
全員による最終確認

(東京書籍について)

・これでよいか。

・合意

(大日本図書について)

・これでよいか。

・合意

(学校図書について)

・これでよいか。

・合意

(教育出版について)

・これでよいか。

・合意

(啓林館について)

・これでよいか。

・合意

押印

17:00 解散



令和七年度使用中学校教科用図書選定会議

専門調査研究会(音楽)

# 議 事 録

【5月29日(水) 教育センター 208室】

- 14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 14:50～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【7月3日(水) 青山市民センター 小会議室】

- 13:00～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 13:10～ 選定基準の読み合わせ
- 13:20～ 調査研究に関する討議
  - ・各委員が観点に沿って特徴を指摘
  - ・各委員の意見の共通点・相違点を明確化
  - ・相違点を協議、結論として整理
- 16:45～ 諸連絡、片付け

・それでは、教育出版 音楽・器楽から始める。

【内容の範囲及び程度】について

- ・適当である。
- ・各楽器の特徴や奏法をわかりやすく理解できるようにしている。
- ・演奏の姿勢や構え方などは、様々な角度からの写真を掲示しており理解しやすい。
- ・一同合意

【内容に関する配慮事項】について

- ・適当である。
- ・各楽器の題材では、初歩から発展へと示されており、段階に合わせて選曲することができる。
- ・デジタルコンテンツが充実しており、教師の技量にとらわれることなく、動画を参考にして生徒自身で演奏技術を高める努力をすることが出来る。
- ・QRコードは模範演奏が流れるだけで、ワンポイントアドバイスや解説がないため、生徒が自主的に取り組むことが困難である。
- ・リコーダーの各ページで、ソプラノとアルトが同時に掲載されている。ソプラノリコーダーを使用する学校にとってわかりやすく掲載されている。
- ・ソプラノリコーダーとアルトリコーダーの運指が、「共通の音の押さえ方」として掲載している。楽譜に抵抗感のある生徒や音感が育っていない生徒は混乱する。
- ・リコーダーの中で篠笛のさし指の奏法(P18 さくらさくら)を用いてみるのは面白い。
- ・リコーダーのアルトとソプラノの運指が混在しているため一貫性がない。
- ・サザエさんやホールニューワールドなど、生徒が聞いたことがある曲ならば自分の演奏が正しいか判断でき練習もできるが、オリジナルの曲や昔の曲(ライディーン)などは今の生徒にとってなじみがないため、取り組みにくい。アンサンブルの部分にこそ QR コードがほしい。
- ・ギターのコード(P36)の写真は、自分が楽器を構えた時と逆になっているため、分かりづらい。写真ではどの弦を押さえているかが分かりにくい。

- ・ギターのアポヤンド奏法(P34)について、指の名称と実際に演奏するページが分かれているため、生徒が自主的に練習しづらい。
  - ・管楽器や弦楽器等の聞き比べがあるのは、導入の場面で使いやすい。
  - ・各楽器の種類(吹奏楽器、弦楽器、打楽器)に分かれているため、学習しやすい。
  - ・各楽器の情報量が多いものと少ないものの差が大きい。
  - ・写真のQRコードはあるが、実際の演奏風景が欲しい。
  - ・Let's Play! や Let's Try!(P64~)はQRコード等がないので、メロディーを知らない生徒にとっては取り掛かりにくい。
  - ・箏の創作が荒城の月の前奏となっているが、教科書の2・3下に掲載されているので、学習の進度によっては扱いにくい。
- 一同合意

#### 【分量】について

- ・全体の内容・分量は授業時数から見て、適当である。
- ・アンサンブル曲の提示も多数あり、発達段階と学校の実情に合わせて選曲することが可能である。

一同合意

#### 【使用上の便宜】について

- ・楽器の演奏には、活躍中の演奏家が採用されており、興味を高める工夫がされている。またそれぞれの奏者からのメッセージも記されており、心情面にも迫る内容となっている。
- ・発展として「吹く楽器 P31」や「弾く楽器 P56」としてまとめてあり、世界の楽器を比較することができる。
- ・弾く楽器は地図上に楽器が配置されているが、吹く楽器は楽器の紹介のみになっているためレイアウトに違いがある。両楽器とも地図上にて比較があるほうが良い。加えて、「打楽器」の表記があるとさらに参考になる。
- ・巻末のギターコード表は写真付きで非常に活用しやすいと感じる。
- ・巻末のギターコードが袋とじになっていることが、破れるので維持が難しい。
- ・巻末の箏の楽譜では、縦譜と五線譜があり、比較や選択をすることが出来る。
- ・リコーダーのイラストだが、少し縦幅が縮小されていて違和感がある。

一同合意

#### 【印刷・製本等】について

- ・表紙のイラストのレトロ調で生徒にとっては地味に感じられる。
- ・印刷が鮮明でとても見やすい。
- ・巻末のリコーダー運指表とその裏にあるギター&キーボードコード表は折り込みページなので、3年間使用するのに耐えられるのか心配。
- ・リコーダーの運指、ギターのコードの表は折り込みではなく、見開きが良い。机上のスペース的に器楽はコンパクトな方が使い勝手が良い。

一同合意

#### 【音楽科の選定の観点】について

- ・新学習指導要領に即して、和楽器の記述も充実している。

- ・技能の習得においては、段階的に、図や解説で丁寧に示されている。
- ・生徒が生涯にわたって音楽を愛好する資料として、一番身近であると思われるバンドに必要な打楽器の奏法と練習がない。
- ・弾く楽器の仲間たちの見開き資料は大変興味をそそられる。
- ・リコーダーのページで、2・3下で学習するアイダから凱進行進曲が取り扱われているのは良い。(箏の荒城の月・六段の調等も)
- ・一同合意

・続いて教育芸術社 音楽・器楽を始める。

#### 【内容の範囲及び程度】について

- ・適当である。
- ・各楽器の特徴や奏法をわかりやすく理解できるようにしている。
- ・演奏の姿勢や構え方などは、様々な角度からの写真を掲示しており理解しやすいと感じる。
- ・楽曲が豊富で、生徒の趣向にあるものも掲載されている。
- ・各楽器の学習では、初歩的なものから段階を追って練習できる配列になっている。
- ・一同合意

#### 【内容に関する配慮事項】について

- ・適当である。
- ・ギターのコードの押さえ方が手の絵で表示されており、わかりやすい。
- ・ギターの指の名称と実際に演奏するページが見開きになっている。
- ・学習内容を整理した部分(P8 から9)では、内容を系統だてて整理している。またそれぞれの内容に、音楽を形づくっている要素を重点ポイントとして挙げていることから、系統的な指導ができる。
- ・デジタルコンテンツが充実しており、教師の技量にとらわれることなく、動画を参考にして生徒自身で演奏技術を高める努力をすることが出来る。
- ・QRコードの資料では、模範演奏の他、解説やアドバイスもあるため、自主的に取り組める。
- ・箏ではいろいろな奏法が写真付きで解説されているだけでなく、動画コンテンツでも各演奏法が紹介されており理解しやすい。
- ・箏の内容には発展要素として創作の内容も取り入れられているが、難易度としては易しいので1年生からでも取り組むことができる。
- ・各楽器の項目では、実際に演奏されている写真とともに掲載されており、それぞれの楽器の演奏と生活や社会の関連を想起できるようになっている。
- ・ソプラノリコーダーに関する記載が少ない。
- ・アンサンブルや楽器で Melody のコーナーでは、Jポップやアニメ曲など、生徒の親しみやすい曲が掲載されている。また、和楽器でもそのような曲を取り入れているため、楽しく学習できる。
- ・一同合意

#### 【分量】について

- ・全体の内容・分量は授業時数から見て、適当である。
- ・アンサンブル曲の提示も多数あり、発達段階と学校の実情に合わせて選曲することが可能である。
- ・一同合意

#### 【使用上の便宜】について

- ・ページの配置が、リコーダー、ギター(洋楽器)、箏、三味線、太鼓、篠笛等(和楽器)、その他打楽器(民族楽器を含む)になっているため、扱いやすい。
- ・楽器の演奏には、活躍中の演奏家が採用されており、興味を高める工夫がされている。またそれぞれの奏者からのメッセージも記されており、心情面にも迫る内容となっている。
- ・各楽器の項目では、鑑賞の題材とも関連付けながら指導することができる。また、参考音源も記されており、授業の流れが作りやすいと感じる。
- ・それぞれの楽器ごとに演奏姿勢の写真があり、各楽器に付いているQRコードの音源及び演奏のポイントが自主的学習に適している。
- ・聞いたことのある曲を楽器で演奏するので、興味をもって取り組むことができる。
- ・日本の伝統音楽の楽器編成(P59)では、各芸能の楽器が表に写真で分けられていて分かりやすい。
- ・一同合意

#### 【印刷・製本等】について

- ・表紙は楽しそうな雰囲気を感じられ、今の生徒にあったイラストである。
- ・箏(P41)の説明箇所の薄いオレンジ地に白抜きゴシックは見えにくい。
- ・一同合意

#### 【音楽科の選定の観点】について

- ・新学習指導要領に即して、和楽器の記述も充実している。
- ・技能の習得においては、段階的に、図や解説で丁寧に示されている。
- ・音楽を通して、音楽文化と豊かにかかわることができるよう、幅広い内容で適切な教材が豊富である。
- ・アンサンブルの教材では、めあてとともに音楽を形づくっている要素も明記されている。また、学びのコンパス(考えたいポイント)(P80 84 などをヒントに、音楽的な見方・考え方を働かせて学習することができる。
- ・巻末のリコーダー運指表、ギターコード表、楽器の図鑑はイラストや写真等でまとめられていて分かりやすい。
- ・一同合意

- ・続いて教育出版 音楽・一般を始める。

#### 【内容の範囲及び程度】について

- ・学習指導要領に示す教科及び学年の目標並びに学年の内容に示す事項を不足なく取り上げている。
- ・我が国の郷土の伝統音楽や、諸外国の音楽など、様々な教材を取り上げている。
- ・一同合意

#### 【内容に関する配慮事項】について

- ・創作において、専門的な内容の記載が多く、創作活動が苦手な生徒にとっては内容が難しい。
- ・鑑賞教材においては作曲者が活躍した年代が、日本史の時代区分上に示してあるため、それぞれの年代の文化であるのかがわかりやすい。(例:1年 P49)

- ・鑑賞教材が組曲等の場合には、全曲の構成が示されており、鑑賞曲の全体での位置づけを把握することができる。(2・3下 P34)
- ・魔王では、訳詞も掲載されているが、日本語歌詞で十分理解できる。
- ・アジア諸地域の文化を比較する場面では、「発音の仕方」や「声」などと、一つの軸に従い教材が選択されており、比較がしやすく、深い学びにつながると思う。
- ・「赤とんぼ」の作者の写真が、作詞者は曲ができた当時の写真で、作曲者は晩年の写真になっている。統一感がない。
- ・英語の歌が1年と2・3下にあるが、2・3上にはない。教科横断的な授業を考えると、2・3上にも1曲ほしい。
- ・一つの題材のページの中に、アプローチしやすいワークシートがついているため、独自にシートを作成したり、ワークを別途購入したりせずに済む。
- ・花と荒城の月を同じ学年で掲載することで、同じ作曲家の曲想の違う曲を比較して学習することができる。
- ・一同合意

#### 【分量】について

- ・全体の分量としては適当である。
- ・鑑賞教材については、1年の6つに対し、2・3上で8つ、2・3下で6つ。1年生の年間授業時数が45時間で、2, 3年が35時間であることを考慮すると、2・3上に掲載している鑑賞を2つぐらい1年生に移行してよいと思う。
- ・一同合意

#### 【使用上の便宜】について

- ・平調子を使った創作(2・3上 P34,35)は生徒にも取り扱わせやすいと感じるが、1の教科書掲載の「六段の調」と同じ学年にしてより深い学びへとつなげた方がいいのではないか。
- ・郷土のさまざまな民謡(p36、37)仕事歌等の解説がしっかり記載されているのがよい。
- ・歌唱教材にあるQRコードは範唱のみ。そのほとんどが横書きのタイトルから始まり、曲に入ると縦書きの詩が画面の右側に入るため扱いづらい。
- ・指揮を試みようのQRコードの資料は、指揮をしている姿を正面から見た映像のみなので、レクチャーがあれば、生徒が個別で学習するヒントとなる。
- ・各教材に「音楽を形づくっている要素」がないため、焦点化しづらい。
- ・ソーラン節・郷土の民謡では、「かりぼし切り歌」の譜例が詳しく記載されている。
- ・ソーラン節と歌い比べて、拍節的・非拍節的を学ばせようという意図は感じられるが、時間に限りがあるので難しい。
- ・民謡の特徴や民謡の種類が豊富であるが、若年教諭は取捨選択に困る。
- ・「魔王」の子どもの声(音型)が、だんだん高くなっていく部分がどこなのかを色分け等で示さないと、わかりづらい。
- ・QRコードの掲載は他社に比べて少ない。また、内容も薄く、個別学習を進めるには適していない。
- ・「歌うための準備」のページでの母音の発音はマスク生活であまり口を動かさなくなった生徒たちに母音の練習をさせるのに良い。
- ・鑑賞分野の右ページの西洋音楽の歴史区分はわかりやすい。
- ・一同合意

#### 【印刷・製本等】について、

- ・発色もよく、画像も華やかで生徒の関心を高める工夫がみられる。
- ・魔王(1年 P48)では絵画の背景に白字で詞が書かれており、フォントも細く読みにくい。
- ・全体的に楽譜の歌詞のフォントが細くて見づらい。
- ・1年「夏の思い出(P19)」「赤とんぼ(P22)」について、縦書きの歌詞の中で、背景の写真やイラストの上に黒文字を白で囲んだものが見づらい。
- ・「春」(2・3下 P47)の楽器編成についての写真では、線で囲みながら楽器の解説をしているが、重なりが多く分かりづらい。
- ・表紙のイラストのレトロ調で生徒にとっては地味に感じる。
- ・印刷が鮮明でとても見やすい。
- ・2・3上 P91 オーケストラの楽器、2・3下 P91 音楽年表は折込ページで全体が見渡せるので良い。
- ・一同合意

#### 【音楽科の選定の観点】として

- ・技能の習得においては、段階的に、図や解説で丁寧に示されている。
- ・鑑賞教材では、楽曲の選択が適切で視覚的にわかりやすく示されている。
- ・鑑賞領域では、教材によって資料の情報量に差がある。専門的に詳細まで説明しているものもあれば、作曲者の紹介すらないものもある。
- ・DTMに関して記載があり、生徒も関心をもてる内容である。
- ・音の三要素のページは教科横断的な内容であり、生徒の興味関心につながる。(2・3下)
- ・一同合意

- ・最後に教育芸術社 音楽・一般を始める。

#### 【内容の範囲及び程度】について

- ・学習指導要領に示す教科及び学年の目標並びに学年の内容に示す事項を不足なく取り上げている。
- ・我が国の郷土の伝統音楽や、諸外国の音楽など、様々な教材を取り上げている。
- ・一同合意

#### 【内容に関する配慮事項】について

- ・QRコードがほとんどの教材についている。歌唱教材ではQRコードでカラピアノや旋律の音源があり、タブレットで個別に学習できる。
- ・創作ではQRコードに創作ツールとワークシートがある。自分で選んだリズムや音が自動で楽譜になり、音も流れるので自身で確認もでき、自主学習も行うことができる。
- ・「交響曲第5番ハ短調」では、現行のものに「学びのコンパス」が2ページ加わっている。ポイントを押さえた鑑賞と、他社と意見交換ができるようなワークシートが実用的である。また、発展として指揮法も動画で学べる。
- ・Let's Create!ではボディパーカッションの楽譜の創作になっているが、音楽室にある楽器が学校ごとに違う中で、楽器の有無に関わらず取り組めることは大変良い。
- ・「日本音楽入門」というページが増えたことにより、日本音楽の歴史がわかりやすく、今何のジャンルを学習しているのかわかりやすい。

- ・全体的にメロディックな歌唱教材、合唱教材の選曲になっているため生徒の興味を引き付けやすい。
- ・能、謡は教科横断的な取り組みと我が国の音楽の学習の積み上げで理解ができる分野であるので2・3下の教科書掲載は適切である。
- ・「夢の世界を」が2・3上から移動してきているが、混声三部合唱の入門として相応しい。
- ・鑑賞分野では日本の時代区分に照らした表記があり、年代をつかみやすい。半面、西洋音楽の時代区分の表記はないため、西洋音楽同士の時代の比較は難しい。〈1〉巻末のイラストを交えた「音楽を形作っている要素」により、ねらいをつかみやすい。
- ・創作では、1年でリズムと旋律からスタートし、2・3下では速度と構成を意識した創作につながるよう、系統的に学べるようになっている。
- ・1年で英語の曲がなくなっている。(現行はエーデルワイス)2・3上下に英語の曲があるので、1年でも1曲あると、系統的・教科横断的な学習ができる。
- ・ワークシートやQRコード資料の中に、話し合い・意見交換の場面設定が多くあるので協同的な学びができる。
- ・〈2・3下 P56・57〉〈2・3上 P70〉にある世界の諸民族の音楽については、打楽器、弦楽器、舞踊等、異なるジャンルが取り扱われているが、同系統の楽器を比較したほうが民族の違いやそれぞれの良さを理解することが出来る。
- ・一同合意

#### 【分量】について

- ・全体の分量としては適当である。
- ・歌唱共通教材で1年の教材は2つに対し、2・3上で2つ、2・3下で3つ。1年の年間授業時数が45時間で、2、3年が35時間であることを考慮すると、2・3下に掲載している歌唱を2つにして、1年生に1つ移行してよいと思う。
- ・一同合意

#### 【使用上の便宜】について

- ・郷土に伝わる民謡を調べよう(1年 p62)では、仕事歌等の特徴についての分類を手掛かりに調べて、特徴を自分で理解する仕組みになっているため、探求的な深い学びにつながる。
- ・指導書にデジタル教科書もセットされているので、教材研究もしやすく教えやすい。また、学習者用デジタル教科書もあるので、主体的に学習に取り組みやすい。
- ・小学5年生で「静かに眠れ」「夢の世界を」、小6で「越天楽今様」を学習しているので、9年間の系統的な学びができる内容となっている。
- ・QRコードがほとんどの教材についている。歌唱教材ではQRコードでカラピアノや旋律の音源があり、タブレットで個別に学習できる。
- ・学習者用デジタル教科書とは別に創作支援ツールがデジタルコンテンツとして用意されており、大変利便性がある。
- ・操作性に優れ、また技能や知識の不足に左右されず直感的に入力することができる。
- ・表現・鑑賞の分野において、教科書に沿って系統立てた学習を行うことが出来る。
- ・一同合意

#### 【印刷・製本等】について

- ・表紙は楽しそうな雰囲気を感じられ、今の子どもたちにあったイラストである。



- ・全体的に楽譜の歌詞や解説のフォントが細くて見えづらい。
- ・歌唱、鑑賞、創作のどの領域を取り扱っているのか、左上のイラストや色で分けられており、わかりやすい。
- ・一同合意

最後に【音楽科の選定の観点】について

- ・学習内容のページ(P8, 9)が3観点(そのうちの2観点)でどのような力がつくとよいのか分かりやすく記載され、また音楽を形作っている要素(P92)も具体性がある。
- ・鑑賞教材では、楽曲の選択が適切で視覚的にわかりやすく示されている。
- ・著作権のページが1と2・3下に掲載されているため、発達段階に応じた詳しい学習を行うことができる。
- ・一同合意

16:35～ 全員で最終読み合わせ

16:45～ 報告書の印刷  
全員による最終確認  
押印

17:00 解散

令和七年度使用中学校教科用図書選定会議

専門調査研究会（美術）

# 議 事 録

【5月29日(水) 教育センター 202室】

- 14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 14:50～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【7月 3日(水) 教育センター 210室】

- 9:00～ 全体会(部長あいさつ、時程確認等)
- 9:10～ 調査研究に関する討議①
  - ・各委員が観点に沿って特徴を指摘
  - ・各委員の意見の共通点・相違点の明確化
  - ・相違点を協議、結論として整理
- 12:00～ 昼食
- 13:00～ 調査研究に関する討議②
  - ・各委員が観点に沿って特徴を指摘
  - ・各委員の意見の共通点・相違点の明確化
  - ・相違点を協議、結論として整理

【開隆堂出版】

- ・それでは、開隆堂出版 内容の範囲及び程度について発言をお願いします。
- ・教科書の全題材及び特設のページを通して、美術や美術文化に関する知識や教養を幅広く学ぶことができるように構成されている。
- ・委員の同意見、複数あり。この文は、合意でよいか。
- ・全員合意
- ・生徒が自ら学びに向かう態度を養うことができるような題材が設定されている。
- ・現代作家の作品やアニメ、身近に感じられる漫画などがあり、生徒の興味を引く内容になっている。
- ・生徒の興味関心がありそうな作品を掲載して、作品を比較したり、関連付けたり、共通しているところを見つけたりできる構成になっている。この意見を集約してよいか。
- ・「生徒が自ら学びに向かう態度を養うことができるような題材が設定されている。」この文でよいか。
- ・全員合意
- ・作品の選び方が、生徒に寄り添った内容になっている。
- ・生徒の興味を引く内容が多い。
- ・現代のアートを掲載するだけでなく、そこに伝統的な美術文化と絡め、学びが深まるようにしているところは、素晴らしい。これらの意見を集約してよいか。
- ・「意欲的な学びに応えられるよう、さまざまな美術や美術文化に関する資料が充実している。」この文でよいか。
- ・全員合意
- ・それでは、内容に関する配慮事項について発言をお願いします。
- ・生徒の心情に語りかけるような書き方をしている。

- ・題材をイメージさせ、意欲を湧かせるような工夫がされている。
- ・言葉を知らないため制作過程や内容を言葉で表現することを苦手とする生徒は多いと感じる。言葉がたくさん掲載されている方がいい。これらの意見を集約してよいか。
- ・「提示する主文は生徒の言語感覚を大切に、生徒の心に語りかけ、題材内容をイメージさせて意欲的に課題をつかみ取れるように工夫されている。」この文でよいか。
- ・全員合意
- ・図画工作科から美術へのつながりページの記載が丁寧である。
- ・それぞれの領域を説明しているページがある。何を学ぶのかなどをわかりやすく提示している。学びを提示することで、生徒が主体的に活動できるような構成になっている。
- ・「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「鑑賞」「社会とつながる・文化を生み出す」の4つの領域に分けて、美術の学習の内容と見通しをもたせている。これらの意見を集約してよいか。
- ・「図画工作科と美術科の学習の関連に配慮したつながりのある導入ページが設けられており、4つの領域に分けて美術の内容を説明しているため、生徒の主体的な活動が展開できるような構成になっている。」この文でよいか。
- ・全員合意
- ・分量について発言をお願いします。
- ・文字の分量、提示する主文は、三文程度にまとめられている。簡潔でわかりやすい文になっている。
- ・掲載されている生徒作品の資料が少ない。これらの意見を集約してよいか。
- ・「文字の分量、提示する主文は、三文程度にまとめられている。一読してその意味が読み取れる分量になっている。」
- ・「生徒作品の資料が他社と比べ少なく感じる。」この文でよいか。
- ・全員合意
- ・使用上の便宜について発言をお願いします。
- ・トンボ、鷹の原寸大があったが、細部をしっかりと見ることができる。印象派の筆の跡を見ることができる。
- ・印象派の原寸大ページが見開きであるが、見開きは、紙面が大きくなるという利点を生かした作品掲載が望ましいのではないか。美術1の最初の見開きは、特にもったいなさを感じる。これらの意見を集約してよいか。
- ・「原寸で鑑賞できる作品掲載が多く、小さい図版では気付かないような細かい表現まで見て取ることができ、鑑賞の視点が広がる。」「折り込み型紙面の効果が不明瞭」この文でよいか。
- ・全員合意
- ・QRコードと「学びの資料」について、全委員の意見が出ているので、これらの意見を集約してよいか。
- ・「各題材にQRコードが掲載され、参考作品やワークシートの利用等、生徒が題材の内容を把握し、興味関心をもって学習活動に取り組めるようになっている。」
- ・「『学びの資料』が巻末にまとめて掲載されているため、学んだ後も生徒が自分で振り返りやすく、主体的に学ぶことができる。」この文でよいか。
- ・全員合意
- ・印刷・製本等について発言をお願いします。
- ・表紙の凸凹よい。触るだけでワクワクする。気になる点としては、表紙の色が激しい。
- ・日本の作品が、表紙になっていないのが残念。
- ・全ての紙面において光沢が抑えられており、画面反射が少ない。見やすい。蛍光灯の映り込み

が見えない方がいい。委員の同意見、複数あり。これらの意見を集約してよいか。

- ・「全ての紙面において光沢が抑えられており、画面反射がなく実物作品により近い色合いで見ることができる。」
- ・「表紙の作品が2冊とも海外の芸術家によるもので、色みが激しい。日本の作品をどちらかに設定することが望ましい。この文でよいか。
- ・全員合意
- ・教科ごとの選定の観点について発言をお願いします。
- ・荒木飛呂彦氏の「ジョジョの奇妙な冒険」を私たちに身近な美術として、掲載されているのは斬新である。また、燕子花図屏風と現代の作品を同時に鑑賞することは生徒にとっては興味深いものになる。
- ・セレクトがいい。これらの文と伝統文化の内容を踏まえて、まとめてよいか。
- ・「現代で活躍する作家や作品の掲載が多く、生徒たちに人気のある漫画家の作品と古典美術を比較する等、現代の美術と文化のつながりを感じられる工夫がなされている。」「最新の美術作品を数多く取り上げ、生徒が美術を身近に感じられる内容になっている。」この文でよいか。
- ・2番目の文は、使用上の便宜でもよいのではないか。
- ・全員合意
- ・ポスターを考える手順が矢印で示されている。
- ・手順が分かるのはよい。キャラクターが主題に導こうとしているは理解できるが、考えさせる導きがない。
- ・キャラクターの導きは、先生の視点、生徒の視点があり、思考を深めるにはいい。これらの意見を集約してよいか。
- ・「発想や構想の手順が段階的に矢印を使って示されているため、主題を生み出す手がかりにすることができ、見通しをもって学習活動に取り組むことができる。」「ポスターの制作手順を丁寧に書いているが、手順のみであり主題を考えさせる内容がない。」この文でよいか。
- ・全員合意

#### 【光村図書出版】

- ・それでは、光村図書の内容の範囲及び程度について発言をお願いします。
- ・小学校からの連続性の記載が複数あるが、「発達段階に応じて提示されている。」というところでは、言葉として一括りでもいいのではないか。
- ・基礎的、発展的な内容が網羅しているのどうか。
- ・この内容も「発達段階に応じて提示されている。」というところでは、言葉として一括りでもいいのではないか。では、ここまでの内容をこれらの意見を集約してよいか。
- ・「学習指導要領に示す目標が、発達段階に応じて明確に示されている。」この文でよいか。
- ・全員合意
- ・自然や社会に関する幅広い知識教養に触れ、様々な題材を設定している。
- ・学びの目標は、全者あるが、分かりやすい提示になっている。
- ・資質・能力の三つの柱が分かりやすい。
- ・生活の中、身近な所からの美術を数多く提示している。
- ・美術を身近に感じさせる記述や生活とリンクさせている。これらの意見を集約してよいか。
- ・「全題材において資質・能力の三つの柱に基づく目標を明示し、生きる力を支える能力を養えるように配慮されている。」この文でよいか。
- ・全員合意

- ・内容に関する配慮事項について発言をお願いします。
- ・言語活動の掲載があり、制作への思いや過程を言葉に表すのが苦手な生徒には使いやすいのでは。
- ・国語の教科書をつくる会社ならではか。
- ・「発想・構想」と「主題を見つける」ところに、苦手意識をもつ生徒には、言語に関する掲載がある方が考えやすい。
- ・言語活動が活発にできる内容が教科書に記載されている方がよい。これらの意見を集約してよいか。
- ・「鑑賞活動で使われるさまざまな語彙を示し、生徒が言語活動に取り組みやすいように配慮されている。」ではいかがか。
- ・鑑賞の図版に問いかけを設けられているので、その部分も記載した方がいいのではないか。
- ・「鑑賞の図版に問いかけを設け、鑑賞活動で使われるさまざまな語彙を示し、生徒が言語活動に取り組みやすいように配慮されている。」この文でよいか。
- ・全員合意
- ・分量について発言をお願いします。
- ・題材数、領域のバランスが工夫されている。
- ・3学期制、2学期制どちらも対応できるような分量である。
- ・美術1資料は、別冊なので3年間を通して使えるのではないか。3年間使うなら、紛失するかもしれないが。美術の教科書は、教室に置いておくので紛失は少ないのでは。
- ・資料集として十分な内容である。私は、ぜひ、活用したい。これらの意見を集約してよいか。
- ・「3学期制、2学期制どちらも対応できるよう、題材数、領域のバランスが工夫されている。」
- ・「3年間を通して必要とされる知識及び技能を支える内容は、1年別冊資料にまとめてあり、全学年で使用できるように工夫されている。」この文でよいか。
- ・全員合意
- ・使用上の便宜について発言をお願いします。
- ・QRコンテンツの生徒作品数は多い。技法動画が多く閲覧することができる。作品に書き込みできるのも楽しい。委員の同意見、複数あり。これらの意見を集約してよいか。
- ・「QRコンテンツでは、生徒作品、技法動画が多く閲覧でき、さらに端末に書き込みをしながら鑑賞ができるため、知識・技能を体感的に学び、見方や考え方を広げたり深めたりすることができる。」この文でよいか。
- ・全員合意
- ・「みんなの工夫」のページは、生徒自身の制作過程と見比べることができ個別最適な学びにつながるのではないか。
- ・制作過程が分からなくなった生徒の手立てにもなる。
- ・インタビュー動画について複数の記載がある。これらの意見を集約してよいか。
- ・「みんなの工夫」において生徒が制作に取り組む様子を段階的に学ぶことができる。また、参考作品の工夫点をまとめたインタビュー動画を視聴することにより、発想や構想、主題の生成につなげ、主体的に取り組むことができる。」この文でよいか。
- ・全員合意
- ・別冊資料の意見が多い。別冊資料へのリンク、主体性が養われる、探求的な学びにつながるなど

がある。委員の同意見、複数あり。これらの意見を集約してよいか。

- ・「別冊資料に関連するページを参照できるようにリンクを示しており、生徒が主体的に調べたり振り返ったりする等、探求的な学びにつなげることができる。」この文でいかがか。
- ・全員合意
- ・印刷・製本等について発言をお願いします。
- ・和紙のページがある。これは、珍しい。触ることで、感じることもある。とても良いことだ。
- ・図版の間に空間、罫線を引くなど、配慮が必要な生徒にも対応している。
- ・UD フォントは、文字が小さくても読みやすい字である。これらの意見を集約してよいか。
- ・「和紙の風合いの紙を使用し、触って作品の質感を想像することができる。」
- ・「図版の間を空けたり、罫線を引いたりして、境界線を明確に区別する工夫がある。文字が小さくなる場合は、UD フォントを使用している。」この文でいかがか。
- ・和紙の風合いの前に、「日本の絵画を楽しむ五つのキーワード」という言葉を入れるとわかりやすのでは。
- ・全員合意
- ・教科ごとの選定の観点について発言をお願いします。
- ・【共通事項】を意識させる鑑賞の問いかけと「POINT」を示している。経験年数の少ない先生には使用しやすいのではないか。
- ・若年の先生方だけではないと思う。キャラクターが、問いかけやヒントをくれるので、生徒自身で見方・考え方を見つけやすい。これらの意見を集約してよいか。
- ・『共通事項』を意識させる鑑賞の問いかけと「POINT」を示し、【共通事項】の内容を理解しながら学習を進められるようになっている。」
- ・「主題を考えるための道筋が吹き出しであり、若年層の先生方には使用しやすい。」この文でよいか。
- ・全員 合意
- ・風神雷神像のカメラアングルが、生徒の興味を引くのではないか。鑑賞の視点を変えることで、臨場感のある掲載になっている。
- ・最後の晚餐の鑑賞では、体感ミュージアムとしてデジタルコンテンツを使用することができる。この伝統文化の鑑賞については、複数の意見があるのでまとめてよいか。
- ・「風神雷神像を扱った題材では、鑑賞の視点を変えることで、現行の教科書よりも更に臨場感のある掲載になっている。」
- ・「最後の晚餐の鑑賞では、体感ミュージアムとして音声ナビや書き込みツール等、生徒が多様な視点から鑑賞することができ、実感を伴い理解することができるようになっている。」この文でよいか。
- ・全員合意
- ・協働的な学びは、今の自分のない知識だったり、技能だったり、考え方とか感じ方を友達と共同することによって新たな自分の価値意識が芽生えてくるし、そういう新しい発見とか気づきが大切と思う。
- ・対話的な学びをしている写真が多く掲載されている。これらの意見を集約してよいか。
- ・「生徒同士が話し合う活動の写真が多く掲載されているため、協働的な学びが自然と促される構成になっている。」この文でよいか。
- ・全員合意
- ・先ほど和紙の風合いの紙がある話をしたが、「日本の絵画を楽しむ五つのキーワード」からジャポニズムへの流れがとても素晴らしいのに気付いた。ただ、美術の歴史を年表で教えても意味

がない。この教科書のような流れが随所にあると美術への関心が広がるだろう。これらの意見を集約してよいか。

- ・「日本の絵画を楽しむ五つのキーワード」では、日本がもつ自然観や美意識を紐解き、ジャポニズムへと内容をつなげる等、系統を立てた構成になっている。」この文でよいか。
- ・全員合意
- ・内容の範囲及び程度について発言をお願いします。
- ・「学びの目標」は3観点でまとめているが、さらに5項目に細分化されている。
- ・目標の5項目は、評価につながるようになっている。
- ・育成すべき資質・能力の「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう人間性等」の3つの柱に基づいた目標が生徒に分かりやすい言葉で記載されている。
- ・3年間の成長に寄り添った題材を掲載している。生徒の発達段階に応じて学べるようになっている。委員に意見は、重複している。これらの意見を集約してよいか。
- ・「全題材において、学習指導要領で示された目標に基づき「学びの目標」を設定し、資質・能力の三つの柱の育成が実現されるように工夫されている。」
- ・「生徒の発達段階に応じて学びが獲得でき深められるように、系統性に配慮した内容配列になっている。」この文でよいか。
- ・全員合意
- ・内容に関する配慮事項への発言をお願いします。
- ・「鑑賞の入り口」では、題材で作品鑑賞する主発問になっている。造形的な見方・考え方に関する問いかけになっている。
- ・題材導入が、丁寧である。この内容は、そのまま文にしてよいか。
- ・「題材冒頭の「鑑賞の入り口」は鑑賞をする際の、造形的な見方・考え方に気付かせる主発問となっている。」この文でよいか。
- ・全員合意
- ・自然災害や戦争、現代の諸問題、人類の問題、美術の力での解決を考える平和や人権に関する題材がある。
- ・美術の視点から考えることは大切なことである。このことは、そのまま文にした方がよい。
- ・「自然災害や戦争等、現代的な諸課題を美術の視点で捉えられる題材が掲載されている。」この文でよいか。
- ・全員合意
- ・将来に関して、幅広く考えてほしいので、キャリア教育の視点は大切ある。
- ・芸能人やデザイナーの掲載がある。ただ、掲載されている芸能人の年齢が高めに感じる。これらの意見を集約してよいか。
- ・「題材ページに、デザイナー等のコラムを設置し、社会や職業について考えることができる等、キャリア教育へ対応している。」この文でよいか。
- ・全員合意
- ・分量についてお願いします。
- ・3冊構成なので、題材量にゆとりがある。題材に偏りはない。
- ・3冊構成は、先生の評価は割れる。年表を使いたいときに美術2、美術3両方を使うので、指導しづらい。
- ・3年間の成長を考えた構成は良い。これらの意見を集約してよいか。
- ・「題材及び学習内容に偏りはなく、全体的に調和がとれている。」



・「3冊構成なので、2・3年生の学びのつながりが指導しにくい。2・3年上に年表があり、合わせて使う場合は両方の準備が必要である」この文でよいか。

・全員合意

・紙面構成にゆとりをもたせているが、その分、掲載資料が少なくなっている。学びに苦手意識のある生徒にとって、資料は貴重な気付きや学びになるので掲載数は多い方がよい。

・掲載が少ない分は、指導者が補充する必要がある。資料は、生徒にとっても教員にとっても多い方がよい。

・資料のジャンルの幅が広いと、題材の目標とずれた授業展開になる可能性もある。これらの意見を集約してよいか。

・「作品の鑑賞活動においては、作品資料の掲載が少なく指導者の準備や補充が必要である。」

・「題材の中に掲載されている資料が幅広い内容のものとなっているため、題材の目標とずれた授業展開になる可能性もある。」この文でよいか。

・使用上の便宜への発言をお願いします。

・全員合意

・QRコンテンツのことは、全委員の同意見。題材導入用の動画は、生徒の興味を引きだす効果はあるだろう。

・経験年数の浅い先生方にも使いやすい内容になっている。これらの意見を集約してよいか。

・「全題材の主文に設定したQRコンテンツ「学びのはじめに」は、題材導入用の動画がある。」この文でよいか。

・全員合意

・「学びを支える資料」が巻末にまとめて掲載されている。巻末にあることで、1冊に必要なことがまとまっているのは使いやすい。制作過程での疑問なども確認できる。振り返りの際も役に立つのではないかと。これらの意見を集約してよいか。

・「『学びを支える資料』が巻末にまとめて掲載されているため、学んだ後も生徒が自分で振り返りやすく、主体的に学ぶことができる。」この文でよいか。

・全員合意

・印刷・製本等への発言をお願いします。

・丈夫で水濡れしても耐久性のある用紙を使用している。制作の際、水がこぼれたり、垂れたりするので、教科書に耐久性があるのはよい。

・特色インクと高精細印刷技術で浮世絵の色味や細部の彫りを再現している。彫りの美しさを実感できるようになっている。

・高精細印刷技術は、確かに美しい。はっきり見える。

・教科書を開くと同じページがすぐに開いてしまう。見開きページは幅が、2cmぐらい狭いのでしおりのような役目になっている。開きたいところが開きにくい。

・開きやすさは、大切である。見たいところをすぐに開きたいだろう。特に制作しているときは素早く開きたいだろう。これらの意見を集約してよいか。

・「表紙には、光沢と耐久性のあるコーティングが施され、丈夫で水濡れしても耐久性がある。」「高精細印刷の浮世絵では、特色インクと高精細印刷技術で色味や細部の彫りの再現により、技の凄さを実感できる。」「見開きページの幅が狭いため、全体的にめくりにくい。」この3つの文でよいか。

・全員合意

- ・教科ごとの選定の観点について発言をお願いします。
- ・屏風が実際に折り立てられるページある。教科書で見るだけよりも実感を伴うだろう。委員の同意見、複数あり。これらの意見を集約してよいか。
- ・「『屏風、美のしかけ』では、実際に折り立てて鑑賞できる屏風作品が掲載されており、実感的理解を生み出す工夫がされている。」この文でよいか。
- ・全員合意
- ・どの教科にも共通だろうが、探求には差が生じる。深く学びたい生徒にとっては、学びに物足りなさを感じることもあるだろう。そんな生徒も学べる配慮がある。
- ・美術が苦手な生徒にとっては、「発想・構想」にたどり着くまで時間がかかる。主題を生み出す手がかりや手順が矢印を使って示されていることで、安心して学習に取り組むことができる。これらの意見を集約してよいか。
- ・「『学びを支える資料』ページの下部エリアに「もっと知りたい」があり、調べ学習や検索のキーワードを掲載しており生徒の探求につながる配慮がある。」
- ・「『学びを支える資料』において、「発想・構想でだて」の手順が段階的に矢印を使って示されているため、主題を生み出す手がかりにすることができ、見通しをもって学習活動に取り組むことができる。」この2文でよいか。
- ・全員合意
- ・巻末の方で北九州市立美術館が掲載されている。生徒に紹介したい美術館である。この意見を文にする。
- ・「郷土の美術文化資料として、北九州市立美術館が掲載されている。」この文でよいか。
- ・建築家の名前を入れてほしい。それでは、「郷土の美術文化資料として、建築家磯崎新が設計した北九州市立美術館が掲載されている。」この文でよいか。
- ・全員合意
- ・制作過程の少なさが気になる。対話的な学びや試行錯誤している姿やコメントがある方が、生徒は身近に感じるのではないか。制作過程の掲載は、先生方の指導でも役立つため多く掲載された方がよい。
- ・歴史的な作品の掲載は多いが、生徒が興味を引くような鑑賞作品は少ない。これらの意見を集約してよいか。
- ・「制作過程の取り上げが少ないため若年層の先生方には使用しづらい印象を受ける。」
- ・「他社に比べると、最新の鑑賞作品の掲載は少ない。歴史的な芸術作品の掲載は多い。」この文でよいか。
- ・全員合意
- ・各社について誤字脱字の訂正などの校正作業をします。訂正があれば、お伝えください。
  - 16:00～ 報告書の印刷(1回目)
  - 16:10～ 誤字脱字の訂正などの校正作業
- ・最終読み合わせをします。訂正があれば、お伝えください。
  - 16:40～ 全員での最終読み合わせ
  - 16:55～ 報告書の印刷(2回目)
  - 全員による最終確認
- ・全員による最終確認

(開隆堂出版について)

・これでよいか

・合意

(光村図書出版について)

・これでよいか

・合意

(日本文教出版について)

・これでよいか

・合意

・お疲れ様でした。長い時間ありがとうございました。

・押印

17:00 解散

令和七年度使用中学校教科用図書選定会議

専門調査研究会（技術）

# 議 事 録

【5月29日(水) 教育センター 304室】

- 14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 14:50～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【7月1日(月) 教育センター 210室】

- 13:00～ 部長あいさつ
- 13:05～ 選定基準の読み合わせ
- 13:10～ 調査研究

内容の範囲及び程度について

【東京書籍】

- ・目標達成に結び付く内容となっています。
- ・学習指導要領に沿った配列になっており、また、生徒の発達段階に合わせて問題解決に取り組めるよう、身の回りの問題解決から社会の問題解決まで幅広く収載されています。
- ・各編の章構成が統一されており、何を学習するのか、明確になっています。
- ・学習が系統的に進められるよう、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで記述されており、内容に不足はありません。
- ・技術の見方・考え方を「技術のめがね」、「最適化の窓」として示されています。
- ・一同合意
- ・学習指導要領に沿った内容項目となっており、生徒の発達段階に合わせて学習を進めることができます。
- ・一同合意

【教育図書】

- ・現行の学習指導要領に則り目標を達成できるよう、学習内容を章立ており、内容に不足はないと思います。
- ・技術分野の見方・考え方を働かせて問題解決の能力が身につく構成になっています。
- ・目標達成に結び付く内容となっています。
- ・学習指導要領に沿った章構成となっています。
- ・各内容項目の2章が問題解決に向けた内容となっていて、2章の冒頭に「実習の安全な進め方」が掲載されており、安全に対する指導が充実しています。例えば、34 ページや 84 ページが該当します。
- ・一同 合意
- ・他教科や、小学校とのつながりについて、教科名しか記載されていません。内容項目Cの学習の際に、理科の学習と関連付けることができるか気になります。
- ・一同 合意

【開隆堂出版】

- ・現行の学習指導要領に則り目標を達成できるよう、学習内容を章立ており、内容に不足はない

です。

- ・一同合意
- ・各内容項目とも「基礎・基本」「問題解決」「技術と私たちの未来」という構成となっており、技術見方・考え方をはたらかせながら問題を解決する流れの例が示されていて、生徒が学習しやすいと思われま
- す。
- ・一同合意
- ・目標達成に結び付く内容となっています。
- ・学習指導要領に沿った章構成となっています。
- ・A～D のすべての内容が同じように構成されており、どの内容から始めても同じリズムで学習ができます。
- ・一同合意

内容に関する配慮事項について

#### 【東京書籍】

- ・内容項目ごとに「生活や社会を支える技術」「技術による問題の解決」「社会の発展と技術」の3つの要素に沿った章で構成されており、学習が系統的に進められるようになっています。
- ・一同合意
- ・巻頭に安全に作業を行うページを設けていたり、実習や実験に関する内容のページでは「安全」マークや「衛生」マークにより注意喚起していたりしています。
- ・29ページのように「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」から主体的に取り組む活動が取り上げられている。また、「話し合ってみよう」では共同学習のための初門を設けるなど深い学びの実現の工夫がなされています。
- ・QRコードから製作動画や基礎技能動画を閲覧でき、生徒が技能習得に必要な内容を個別に確認することができるよう配慮されています。
- ・QRコードのコンテンツについては、使用上の便宜にまとめてはどうでしょうか。
- ・一同合意
- ・「目標」「始めの活動」「学習課題」「まとめの活動」などが、全見開きの同じ位置に配置されており、学習の流れに沿ったレイアウトで授業が進めやすくなっています。
- ・一同合意
- ・「技術の見方・考え方」や「技術の最適化」について漫画で表現し、親しみやすく、理解しやすい工夫がされています。
- ・「すごいで！技術」として、各学習内容に関連する技術者の想いや、最新技術について紹介されており、生徒の興味・関心を高めたり、主体的な学びが促されたりする工夫がされています。
- ・一同 合意

#### 【教育図書】

- ・「見つける・学ぶ・ふり返る」を基本配列とし、学習意欲を喚起したうえで、生徒が個別に自主的に学習し、学習理解の確認を行うことができます。
- ・技能資料を別冊「スキルアシスト」に一本化しており、実習で生徒が作業の詳細を自ら習得できるような構成となっています。
- ・技術による問題解決の流れを思考する際の詳細な流れが説明されています。
- ・各内容項目の2章が問題解決に向けた内容となっており、2章の冒頭に「実習の安全な進め方」が掲載されています。

- ・一同合意
- ・他教科や小学校とのつながりについて、教科しか記載されていないため、内容項目Cの学習の際に理科との関連を意識させづらい面があります。
- ・一同 合意
- ・別冊の「スキルアシスト」では、技能チェックがあり、写真と見比べることで、生徒自身が技能を評価できる工夫がされています。
- ・日本の伝統的な加工法や、伝統技術をいかし、活躍する技術者の技術や想いが紹介されています。

#### 【開隆堂出版】

- ・ガイダンスにおいて授業場面を例に安全について基本事項を掲載されています。
- ・各学習場面において注意が必要な事項を、マークを伴って説明している。(p36、112等)
- ・言語活動を促すような内容の記述が乏しい面があります。
- ・「学習課題」「学習内容」「CHECK」と学習の順序が統一されており、授業や学習の流れがつかみやすくなっています。
- ・一同 合意
- ・ガイダンスで学習した「技術の見方・考え方」の視点が A～D の各内容で同じように扱われており、学習していく中で自然と見方・考え方ははたらかせる思考パターンが身につくように配慮されています。
- ・一同合意
- ・防災に関する実習を掲載したり、巻末に防災に関する話題を掲載したりすることで、防災への意識を高められる工夫がされています。
- ・ページ右上に内容に関係した工具や部品などの名前が紹介されており、生徒の興味関心が高まる工夫がされています。
- ・学習の節目で、問題解決のふり返しシートが掲載されており、技術の見方・考え方ははたらかせられる。また、自分の身の回りや製作について考えられる内容となっており、個別最適な学習にも使えます。
- ・一同合意
- ・各内容の最後に特設ページとして、技術に関する仕事を行っている人物を紹介しており、生徒が将来をイメージしやすくなっていると思います。

#### 分量について

##### 【東京書籍】

- ・内容項目のA、C、Dに関しては62～68ページほどの分量であるが、BについてはDよりも20ページ少ない48ページとなっています。
- ・各内容の分量は、時数、時期、学年配分などに配慮されており、偏りなく扱えるようになっています。
- ・学習指導要領に記載されている内容項目をすべて網羅し、分量も適切です。
- ・一同合意
- ・各内容は、学年、時期、時数にも配慮し、無理なく学習できるようになっています。
- ・一同合意

### 【教育図書】

- ・全体の分量は、授業時数から見て適切です。
- ・一同合意
- ・「スキルアシスト」を込みで内容項目のA、B、Cに関しては50～70ページ弱ほどの分量です。Dについては80ページを超えているが、昨今の情報技術を取り巻く社会背景と照らし合わせると過分であるとは言い難く、全体的に調和がとれています。
- ・各内容は、学年、時期、時数にも配慮し、無理なく学習できるようになっています。
- ・一同 合意
- ・ガイダンスの量が少なく、技術分野の学習の進め方や、「技術の見方・考え方」に関しては、説明が不十分であると思われます。
- ・一同合意

### 【開隆堂出版】

- ・全体の分量は、授業時数から見て適切です。
- ・一同合意
- ・内容項目A、Dは70～80ページが費やされているが、B、Cについては50数ページと少しページ数に隔たりがあります。
- ・各内容は、学年、時期、時数にも配慮し、無理なく学習できるようになっています。
- ・一同 合意
- ・ガイダンスや総合的な問題解決の内容は、適切です。
- ・学習指導要領に記載されている内容項目をすべて網羅し、分量も適切です。
- ・一同 合意

### 使用上の便宜について

#### 【東京書籍】

- ・写真やイラストに登場する男女の比率や役割に隔たりがないように配慮したり、スラックス姿の女子生徒や外国籍の生徒など多様な生徒の姿に配慮したりしています。
- ・QRコードのコンテンツが充実しており、技能や実験動画のリンク以外にも、思考ツールやワークシートを活用できたり、電気回路やリンク機構などをコンテンツ上で操作できたりするよう配慮されています。
- ・一同合意
- ・内容項目Aの工具等についての扱い方について、写真の枚数は多いが、1ページに様々な工具を紹介しているため、写真1枚辺りのサイズが小さく煩雑になっている。QRコードのコンテンツありきのつくりとなっているため、Wi-Fi が整備されていない、または電波が不安定な環境では扱いにくい面があると思われます。
- ・文字や図、写真が多く、余白が少ないことが少し気になります。
- ・一同合意
- ・さまざまなテーマの問題解決例が掲載されており、生徒の発達段階や学校・地域の実態に即して選択することができます。
- ・内容項目Aの工具の扱い方について、写真の枚数は多いが、1ページに様々な工具を紹介しているため、写真1枚辺りのサイズが小さくなってしまっていることが気になります。
- ・一同合意



## 【教育図書】

- ・工具等の使用法を説明する際、学習者の目線を意識した写真が多用されています。
- ・写真やイラストに登場する男女の比率や役割などに隔たりがないと感じます。
- ・巻末に設計・計画シートや計画・育成シートがあり、授業で活用できます。
- ・問題解決の4ステップを4コマ漫画で紹介されており、生徒が親しみをもって問題解決の流れが学べるように配慮されています。
- ・一同合意
- ・作業に合わせた安全指導(事故やけがを防ぎ、安全に楽しく実習を行うためのきまりごとなど)が十分に掲載されており、安全面に非常に配慮されています。
- ・「スキルアシスト」という基礎技能に関する内容を別冊にまとめており、作業時に容易に閲覧できるが、3年間管理することを考えると、紛失等のリスクが懸念されます。
- ・一同合意

## 【開隆堂出版】

- ・実習で特に重点的に説明したい内容が、資料や写真、図などによって視覚的に大いに参考となるように丁寧に配置されており、学習の深まりに有効に働くようになっていと感じます。
- ・一同合意
- ・写真やイラストに登場する男女の比率や役割などに隔たりがない。また、外国籍の生徒など多様な生徒の姿に配慮したりされています。
- ・特別支援教育の観点から、単語が途中で改行されないようになっており、認識しやすくなっています。
- ・目にとまりやすいアイコンを使って、安全に関する注意喚起がされています。
- ・けがをしたときに対処法が示されており、安全への意識を高める工夫がされています。
- ・巻頭の資料で情報機器を扱う際の注意点などが取り上げられており、情報社会を生きる生徒が適切に情報にかかわることができるよう配慮されています。
- ・QRコードにより、教科書と連動した活動コンテンツ、動画コンテンツ、資料コンテンツを必要に応じて閲覧することができるようになっていっています。
- ・一同合意

## 印刷・製本等について

### 【東京書籍】

- ・書体はすべてユニバーサルデザインフォントを採用しており、多くの人にとって読みやすい紙面となっています。
- ・識別しにくい色は模様をつけるなど、幅広い色覚特性に適應できるような配色とデザインになっています。
- ・色覚特性に関するボランティア団体や特別支援教育の専門家の協力を得て、読みやすく正確な書体を選定されています。
- ・カラーバリアフリーの観点から色覚の専門家の校閲を受けています。
- ・環境に配慮した再生紙、植物油インキを使用しています。
- ・製本には針金を使用しないことでリサイクルに優れています。
- ・多様な生徒の学びを保障するため、教育漢字以外の漢字には全てふり仮名を付しています。
- ・一同合意

### 【教育図書】

- ・学習内容の重要語句は、視認性を上げるために青太文字になっています。
- ・UD書体を使用しており、本文の文字サイズも読みやすいです。
- ・カラーバリアフリーの観点から色覚の専門家の校閲を受けています。
- ・机上スペースの確保のため、AB判縦長変形となっています。
- ・一同合意
- ・再生紙、植物油インキを使用しています。
- ・表紙に防水加工が施されています。
- ・教科書を通した色使い(太字の青色等)と分野の色の組み合わせの関係が読みにくいように感じます。
- ・一同合意

### 【開隆堂出版】

- ・UD フォントを全面的に使用しており、また、改行の工夫など誰でも読みやすいようになっています。
- ・一同合意
- ・カラーバリアフリーの観点から色覚の専門家の校閲を受けています。
- ・重要語句は視認性をあげるために、ゴシック体太文字となっています。
- ・一同合意
- ・環境・資源に配慮した軽量化された用紙が使用され、印刷インキは植物油インキが採用されています。
- ・製本は強固に接着されており、堅牢で長期の使用に耐えるものになっています。

### 選定の観点について

#### 【東京書籍】

- ・巻頭に安全な環境、安全な行動、安全な作業における注意事項を記載しており、安全への意識を高めながら実習に取り組むことができます。
- ・一同合意
- ・学習内容が社会のどのような場面で活躍するのか、振り返りを含めた学習項目が設定されています。
- ・一同合意
- ・技術のとびらで、「動物・水産生物を育てる技術」について写真や表を使って、詳しく取り上げられている。また、それぞれ実習するにあたって安全面のポイントについて書かれています。
- ・「TECHLab」では、ミニトマトの摘果のポイントや、糖度の検査方法、誘因方法など専門的な部分まで詳しく取り上げられており、生徒も教師も実習に取り組みやすくなっています。
- ・作物の栽培の題材例が少なく、動物の飼育や、水産生物の栽培について取り扱われていません。
- ・一同合意
- ・スマート農業について取り上げられており、情報の技術と関連して、持続可能な社会について考えることができます。
- ・一同合意
- ・アニマルウェルフェアや、農福連携など、持続可能な社会に向けて、どのような取り組みが行われているのか、詳しく取り上げられており、技術の進歩について考えることができます。
- ・一同合意

・ガイドンスでは、「技術の見方・考え方」や「技術の最適化」について漫画で表現し、親しみやすく、理解しやすい工夫がされています。

・一同合意

・内容項目Aでの金属の特性において、鋼については詳細に明記されているが、他の金属材料については、アルミニウム合金と黄銅を少し取り扱っている程度であり、内容が乏しいです。(p34、35)

・一同合意

・内容項目Aでの問題の発見と課題の設定において、問題発見の例や課題の設定までの手立ての例が豊富で、様々な状況に応じた思考を展開させることができます。(p58、59)

・一同合意

・内容項目Aでの製作品の設計において、構想を具体化する観点が豊富に紹介されており、多角的に技術の見方・考え方について発想を促すことができます。(60、61)

・一同合意

・内容項目Aでの実習例が3点のみであり、経験が未熟な教員や、臨時免許で授業を行う教員の参考になりづらいと思われます。

・ページによっては字が小さく、情報量が多いページがある。詳細まで説明していることは評価できるが、生徒によっては内容の理解が難しいこともあるため、授業での使用に配慮が必要であると思います。

・一同合意

・内容項目Cでの発電の仕組みと特徴において、電磁誘導について詳しく説明したり、発電機とモータの関係が分かりやすい図が使われていたりなど、丁寧に説明されています。

・一同合意

・内容項目Cでの発電の仕組みと特徴において、各発電方法について非常にわかりやすくまとめられており、また、エネルギーミックスについても取り上げられ、主体的・対話的な授業を展開できる情報量となっています。(p142、143)

・内容項目Cでの電気機器を安全に使用するための技術において、4ページを使い、詳しく様々な内容を説明しています。(p150～153)

・一同合意

・内容項目Dの問題解決例として、アクティビティ図とプログラム例が見開きで見やすく記載されています。(p222、225、232～237、240、250～255)

・一同合意

## 【教育図書】

・各章のはじめに安全で楽しく実習を行うための決まりごとを記載し、安全への意識を高めながら実習に取り組むことができます。

・一同合意

・ガイドンスの量が少なく、技術分野の学習の進め方や「技術の見方・考え方」に関しては、説明が不十分に感じられます。

・一同合意

・動物の飼育と水産生物の飼育の内容が少ないと思われます。

・一同合意

・作物の栽培実習、家畜の飼育実習、水産生物の育成実習のすべてで安全な作業の進め方について、イラストや写真を用いて丁寧に説明されている。また、実習前・実習中・実習後と、視覚的

にも見やすく、わかりやすいものとなっています。

・一同合意

・教科書の後半部分に「統合的な問題解決」の章が盛り込まれている。目次では「E 夢をかなえる技術」と記載されており、内容項目A～Dの表現と混同する恐れがあります。

・一同合意

・題材例が豊富で、「冬に野菜を育てる」「入学式に花を飾る」など、ただ作物を育てるだけではなく、生徒が興味・関心をもつ内容になっています。

・材料と加工の技術の利用例が豊富で、写真も豊富で身の回りにどのような技術があるかをわかりやすく認識することができます。(p17)

・内容項目Aでの金属材料について金属の性質や材料の種類、加工法などの記述が非常に充実しています。(p24、25)

・一同合意

・内容項目Aでのプラスチック材料について基本的な説明に加え、プラスチックの種類が多く、加工法についても3Dプリンタが取り上げられているなど内容が充実しています。(p26、27)

・各内容項目の問題を解決する流れにおいて、流れを漫画で説明しており、視覚的に理解しやすい構造となっています。(p36、37、138、139 など)

・内容項目Aでの設計において、構想図や組み立て図、部品図などの説明が丁寧にされているが、同じページで製図についても説明している。図によってどの図法を選択すればよいかはわかりやすいが、実際の授業で構想図や組み立て図の説明と製図の説明を同時に行う事が考えられ、説明がどっちつかずになり煩雑になりやすいと思われる。(p46～53)

・内容項目Cでの導入において、説明文は少量に抑えられ、その分のスペースをエネルギー変換の技術の利用例に使い、どのような技術があるかを詳しく考えることができます。(p114、115)

・一同合意

・内容項目Cにおいて、電流、電圧、抵抗といった理科で学ぶ内容について記述がなく、カリキュラム編成によっては、このことを技術分野で先に説明する際に参考にできないと思います。

・一同合意

・人工知能についてページが割かれており、これからの技術において AI は重要なものになっていることを感じ取りやすいと思います。

・一同合意

#### 【開隆堂出版】

・「見方・考え方」マークを用いて、身近な製品やサービスを例に、技術の見方・考え方について考える場面をもたせています。

・一同合意

・教科書の最終部に「技術分野の出口」として、「統合的な問題解決」に関する総合実習例を掲載しており、3年間の学びを振り返ることができます。

・一同合意

・内容項目Aでの課題の設定において、問題を発見する際の身近な例が多く示されており、図もわかりやすい。また、課題を設定する流れが技術の味方・考え方を念頭に置いた記述となっています。(p52、53)

・一同合意

・作物、動物、水産、森林のすべてにおいて、ICT を利用した生物育成の技術について取り上げており、現代の農業の実態を情報の技術に関連して説明しています。

- ・一同合意
- ・「イネの容器栽培」が取り上げられており、ペットボトルで簡単に栽培しやすく、学校現場でも扱いやすい内容となっています。
- ・「これからの生物育成の技術」では、「アクアポニックス」や、「海水によるみかん栽培」などについて取り上げられており、生物育成の技術の中でも、作物の栽培と水産生物の栽培が関連付けられている。それにより、持続可能な農業について考えることができる内容構成となっています。
- ・一同合意
- ・各内容項目の導入において、技術の味方・考え方が丁寧に説明されており、どのような観点で技術を評価すれば良いかわかりやすくまとめられています。(p28、29、160、161 など)
- ・内容項目Aでの製図において、6ページを費やし、実際の製作でどの図法をどのような場面で使用するかが紹介されており、設計につながるような構成となっています。(p42～47)
- ・内容項目Aでの設計において、多角的な視点で問題を解決する際の考え方が示されており、例も多く非常に参考になります。(p54～57)
- ・一同合意
- ・内容項目Aでの実習例が7点と多く、経験が未熟な教員や、臨時免許で授業を行う教員にとっても心強いと思います。
- ・内容項目Cでの発電において、エネルギー資源や環境、再生可能エネルギーについての技術が丁寧に記述されている。また、発電方法の種類と特徴について分かりやすくまとめられており、エネルギーミックスや1日あたりの発電量の変動についても取り扱っており、主体的・対話的な授業を展開できる情報量となっています。(p162～165)
- ・一同合意
- ・内容項目Cでの電気機器の安全な利用において、分電盤について詳しく取り扱っており、身の回りに使われている技術について理解が深まります。(p169)
- ・一同合意
- ・内容項目Cでの回路図において、非常に詳しく説明されているが、内容が難しく感じられます。(p174、175)
- ・一同合意
- ・内容項目Dの問題解決例としてプログラム例が多く記載されており、課題解決の方法を想起しやすいと感じます。
- ・一同合意
- ・内容項目Dでは、情報機器を扱う際の注意点やデジタル・シティズンシップに関連する内容を取り上げるなど、情報セキュリティ、情報モラル、知的財産など生活に関わる項目に多くのページが割かれています。
- ・一同合意

16:20～ 全員での最終読み合わせ

16:40～ 報告書の印刷(2回目)  
全員による最終確認

- ・東京書籍についてこれでよいか。
- ・一同合意
- ・教育図書についてこれでよいか。
- ・一同合意

- ・開隆堂出版についてこれでよいか。
- ・一同合意

押印

17:00 解散

令和七年度使用中学校教科用図書選定会議

専門調査研究会(家庭)

# 議 事 録

【5月29日(水) 教育センター 304室】

- 14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 14:50～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【7月 1日(月) 教育センター 211室】

- 13:00～ 全体会(部長あいさつ、時程確認等)
- 13:10～ 選定基準の確認
- 13:15～ 協議(観点別)、調査報告案作成
- 16:00～ 発行者ごとの内容確認

#### 【観点別協議】

・選定の観点に沿って、東京書籍、教育図書、開隆堂の順でそれぞれご意見をいただきます。

#### 1 各教科共通の観点

##### (1)内容の範囲及び程度

- ・まず、内容の範囲及び程度について、ご意見ををお願いします。
- ・東京書籍からです。ご発言をお願いします。
- ・教科の目標達成に結び付く内容が網羅されている。
- ・学習指導要領に示す内容を取り上げている。
- ・これはこのままでよいのではないのでしょうか。
- ・一同合意
- ・次のガイダンスガイダンスの内容は、三年間の学習内容や見方・考え方の視点を踏まえた課題解決に向けた学習の進め方があり、自立から共生に向けて自身の生活を見つめながら主体的に考えられるようになっている。これはどうですか。
- ・残していいと思います。
- ・一同合意
- ・東京書籍はについてその他ご意見ございますか。
- ・では教育図書に移ります。全部で3点です。
- ・(1文ずつ読みあげる。)
- ・内容はこのまま残してよいと思います。みなさんどうですか。
- ・一同合意
- ・最後に開隆堂出版です。
- ・(全文読み上げる。)
- ・ご意見はございませんか。
- ・内容はこのままでよいと思いますが、記載の順番を変えませんか。
- ・そうですね。学習指導要領に示す内容取り上げているが先で、煮る・焼く・蒸すなど、指導要領に忠実になっているが後ですね。
- ・一同合意



## (2)内容に関する配慮事項

- ・東京書籍からです。全部で6点です。
- ・(全文読み上げる。)
- ・系統的発展的な指導っていうのが何度も出てきていますがこれはまとめられますか。
- ・同じような内容であれば削除してもいいのかなと思います。
- ・リンクマークというのはデジタルコンテンツ上の部分で、もう一つの文とは意味が違います。
- ・ではこのまま残しておこうと思います。
- ・一同合意
- ・では次の教育図書に移ります。
- ・(全文読み上げる。)
- ・ご意見ございますか。
- ・QR コンテンツがあり動画やマークを視聴したり活用したり学びを深めることができるというのほどこでもできると思います。これを書かれた方は他の会社と違う何か素敵なコンテンツがあるのか教えていただきたいです。
- ・ワークシートが入っていました。普通デジタルコンテンツと言えは動画が多いと思うのですが、ワークシートも入っていたのでいいと思ったのです。
- ・QR コンテンツに何か特別感があるのであればいいと思います。
- ・でもワークシートは東京書籍にありますね。
- ・ではこの部分は削除しましょうか。よろしいですか。
- ・一同合意
- ・関連マークについて二つ意見があります。片方は詳細が記載されていないという意見でしたが、詳細が記載されていました。例えば理科のガスバーナーの中に関連するという部分ですね。他のところも同じような感じです。
- ・では、一番下の課題の部分については消します。
- ・はいお願いします。
- ・題材の週末に学びを生かした学習したものを元に自分の課題に取り組んでみましようが同じ形式で設定されており問題解決学習が充実していると、記録レポートの形式が同じでどの分野も書きやすいと書かれていますは同じことを書かれていますよね。
- ・ここも合体させたらいいですよ。
- ・一同合意
- ・終末に振り返る私の学びがありわかりやすいと書かれている分についてですが、これは量としては少ないですよ。自分振り返るという点が評価されていると思うのですけど。
- ・生徒本人が見た時に、この教科書さえ見れば全ての振り返りを網羅しているという点ではいいと思います。
- ・たぶん小学校の東京書籍もそんな感じだったと思います。自分で自分の学びを振り返っていくっていうことを大事にしているみたいです。学びに向かう態度の部分ですね。
- ・ただ、この教科書に書いた振り返りを集めて評価するのは大変ですね。
- ・削除しませんか。
- ・一同合意
- ・加熱調理のうち結調理については蒸し器との併用に合わせてフライパンを使った簡易な蒸し料理も掲載し、学校の実態に合わせて取り組めるように配慮されている。これは、東京書籍のポイ

ントだと思います。残してよいと思います。

- ・一同合意
- ・幼児のやつに市販の一才からのおやつが掲載されていて、時代を反映している。
- ・この部分は私も考えましたがはあえて記入しませんでした。
- ・この部分は特段触れなくてもいいかもしれませんが。授業をされる先生方に任せましょう。
- ・これは削除しますね。
- ・次の、食の分野で調理実習方法の流れが肉魚野菜になっていると、それぞれが煮る焼く蒸すの流れで掲載されており見やすいと感じる。この二つは合体できませんか。
- ・そうですね。この2つを特に蒸す料理についてはって入れてつなげたらどうですか。
- ・食の分野で調理実習の方法の流れが、肉魚野菜それぞれにおいて煮る焼く蒸すの流れで記載されており、特に蒸す調理については、蒸し器の使用と合わせてフライパンを使った簡易な蒸し料理も掲載し、学校の実態に合わせて取り組めるように配慮されている。
- ・いいですね。
- ・開隆堂に移ります。
- ・(全文読み上げる。)
- ・2つ目の QR コンテンツでは資料や動画を視聴することができ学びを広げることができる、これはいいですね。

- ・一同合意
- ・実験を通して科学的な根拠が視覚的に分かるようになっていて、これは開隆堂のポイントですよ。これは載せましょう。
- ・洗剤をどうするのかの意思決定する場面など意思決定の判断基準要素ポイントが明確ではない。具体的要素が物を買う時に限られていて明確ではない。とあるけど、これは衣生活の部分であって消費生活ではないからそこまで細かい記載はなくてもいいと思います。

- ・一同合意
- ・ではこの部分は削除します。
- ・多様な家族の参考例の取り扱いがリアルで生徒の家庭状況に配慮が欠ける。取扱いにくい。これは教科書を取り扱う側としては、内容が深すぎて。本当のことだけど、実際にもうこういう子はいっぱいいますね。それを家庭科の中で触れた時にそこまで深くする必要があるのかなと。
- ・家族はつらいですよ。
- ・多分タブレット端末入れなど時代に沿った作品見本となっている。これはそこまで重要なものではないので外してよいと思います。

- ・一同合意
- ・考えてみようやってみよう話し合ってみようというコーナーがあり生活とつなげる課題を取り上げ課題解決学習が充実している。これはどこにも記載されているので削除してよくないですか。
- ・一同合意
- ・他はよろしいですか。では次に移ります。

### (3)分量

- ・東京書籍です。
- ・(全文読み上げる。)
- ・これはこのままでよいと思いますが。
- ・一同合意

- ・教育図書です。一つだけです。これはこのままでよろしいですか。
- ・一同合意
- ・開隆堂です。三点あります。
- ・「重い」の部分は必要ないと思います。
- ・削除してよろしいですか。
- ・一同合意
- （4）使用上の便宜
- ・東京書籍になります。
- ・（全文読み上げる。）
- ・2つ目の見方・考え方の文は他の部分でも同じことが言われています。
- ・これはいらぬと思います。削除してもよいと思うのですが。
- ・一同合意
- ・家庭科分野の問題解決学習である生活に始まって生活に返す学習の流れをガイダンスの中で食の領域の具体例を用いてわかりやすく示されている、この部分は、これでこの教科書に決めるという決定的な要素を含んでいるものではないですよ。消しませんか。
- ・そうですね。それよりは次の実物大の写真があるっていうほうが大事かなと思います。
- ・では、二点目の家庭分野の…の文を消して、次の実物大の写真の…の方を残すような形にしましょうか。
- ・一同合意
- ・ワークシートと教科書のレッツスタートや吹き出しの語句・文言が一致するので生徒が混乱せずに授業で活用しやすい、の文はどの教科書も同じような記載がされていると思います。削除してもよいと思うのですが。
- ・一同合意
- ・次の文「ワークシートの自分の書くところが少ない試験前などの学習には適用になっている」の文ですが、私はいつもワークシートを使っているのここには書かせないんです。
- ・これ、前の教科書にもありましたよね。
- ・ワークシートを使わない先生にはこれがあつた方がよいですかね。そうすると使いやすいのかもしれません。
- ・では、これは残しておきましょう。
- ・教育図書に移ります。使用上の便宜です。
- ・（全文読みあげる）
- ・1番上の「食生活において巻末付録のワーク用シールがついており活用しやすい。」これ、私が書いたのですが、私だったら活用しないと思うんです。
- ・でもワーク用と書いていますよ。ワークと一緒に活用ということではないですか。
- ・QR で読み取ってワークが出てくるということでは。それに使うシールがついている。
- ・でも印刷したら QR の意味がない。
- ・必要ないと思います。逆にこれはしないとイケないのかって思いますよ。削除しませんか。
- ・一同合意
- ・安全・衛生・伝統などのマークを取り入れ重要な内容を理解できるようにしている。これもどの教科書にもマークあるので削除しませんか。
- ・ありますね。東京書籍にも開隆堂にも。

- ・一同合意
- ・次の「章末のまとめに学習の振り返りができるワークシートがあり、活用しやすい」もどの教科書にもあるので教育図書の特徴にならないと思います。
- ・では削除ということではよろしいですか。
- ・一同合意
- ・調理で使用する材料に6つの基礎食品群のマークをつけており、栄養や献立の学習とつながるようになっている。
- ・これよく見つけましたよね。
- ・私が書いたんですけど、小さすぎてこれ何だろうと思って。教科書ではよくわからなくて編集趣意書か解説資料だったか覚えてないのですが、そちらを見たのです。
- ・これ、ただのサイコロかと思いました。
- ・小さすぎて見つけられないし、最初に理解するのが難しいかも。
- ・でもいいところではありますよね
- ・これを事前に生徒に言っておけばいいですね。見慣れたら分かりやすいかもしれません。
- ・これが全部についています。
- ・献立作成の時に使えますね。
- ・何が足りないのかすぐにわかるっていうことか。
- ・では、これは残しておきましょう。
- ・一同合意
- ・巻末に各領域の生活と課題と実をまとめて掲載領域をつなげた実践の計画が立てられるように工夫されており、家庭分野の学習を広い視点で捉えることができる、これは全部の教科書に記載がありましたよね。
- ・ありますね。
- ・これわたしも書いた覚えがあります。
- ・そう。だからその下に書かれているものも結局同じことですよ。レポートの記入の仕方が統一されているためっていうのは同じことですよ。
- ・レポートの記入の方を削除しませんか。
- ・一同合意
- ・この辺はみなさんが書かれていますね。
- ・みなさんが書かれているということはそれだけ重要ということかもしれませんね。やりやすいって思う。
- ・確かに。
- ・では次に移ります。
- ・家族・家庭生活では、家族・高齢者・保育の順番で記載されており、自分自身、家族の成長とつなげて考えることができる。
- ・残しますか。
- ・これは開隆堂も同じですよ。ここの教科書会社に限ったことではないです。
- ・でも順番が違いますね。
- ・保育の方は残しますか。
- ・では残しましょうか。
- ・一同合意

- ・これで教育図書は終了です。最後の開隆堂に移ります。
- ・(全文読み上げる。)
- ・各題材のはじめに導入の発問があるので生徒がこれから学習を進めるにあたって興味関心を持ちやすくしている、は他の会社にも載っていますよね。
- ・では削除してよろしいですか。
- ・一同合意
- ・次の他教科、小学校、参考、実験などのマークで示してあり、どのようなことが取り上げられているか視覚的に理解できるようになっている。これも載っていますよね。削除しませんか。
- ・一同合意
- ・では削除します。
- ・実習や献立に行かせるまた食品の概量をイメージしやすいように食品を実物大で示している、これもありましたよね。
- ・東京書籍にあります。
- ・でも教育図書は違いますね。残しておきませんか。同じ部分の違う部分で3者が分かれると思います。
- ・一同合意
- ・食品と分量の写真が実物大なので生徒が実感しやすい、は次の文と同じですよ。撮りらただけでよいと思います。
- ・次の実習や献立に生かせるよう、また…の方を残しませんか。
- ・一同合意
- ・食生活の栄養素の部分で理科の要素を踏まえた資料の記載があり生徒が…は残しませんか。
- ・教科横断的な学習ということですね。残しましょう。
- ・終末に学習のまとめができるワークシートがあり活用しやすい、これもありましたよね。消しましょう。
- ・一同合意
- ・メインと補足の部分補足説明の部分があり読んだときにどちらが主なのか分かりにくい、はありましたね。これも消しませんか。
- ・一同合意
- (5) 印刷・製本等
- ・東京書籍です。
- ・(全文読み上げる。)
- ・今ほとんどの会社が UD 書体を使っていますよね。載せなくてもよいと思うのですが。
- ・会社によっては、部分部分で UD ではない書体もあります。メインは UD だけどそうでないところは違う書体でといったように分けているみたいです。
- ・ではこれは残しておきましょう。
- ・他の文はよろしいですか。では次の教育図書に移ります。
- ・(全文読み上げる。)
- ・ここは全文このままでよいのではないのでしょうか。
- ・一同合意
- ・最後の開隆堂です。
- ・(全文読み上げる。)

・料理の写真が現実で現実に忠実でおいしそうに見えないのもったいない、はもったいないを外して見えないにしませんか。

・一同合意

・他はよろしいですか。では、印刷・製本の項目は終了です。

## 2 教科ごとの選定の観点

・東京書籍からです。

・(全文読み上げる。)

・1つ目と3つ目の項目は同じ内容ですよ。

・安全実習の部分ですね。3つ目の方を消して、1つ目の方を残すかどうか。

・一同合意

・日本の伝統的な生活である和服の取り扱いで地元のメーカーを取り上げており、生徒が生活文化を継承する大切さに気付きやすい、という文と、小倉織のブックカバーが掲載されており地域性が高く生徒の郷土愛の育成にもよい、この2つはどうしますか。

・ページで言うと、地元の小倉織とメーカーの紹介、なおかつ生かした作品ということでブックカバーについてのことが書かれていますよね。

・この2つを合体させてはどうですか。1つ目の気付きやすい、に続けるのはどうですか。

・郷土愛の育成にもつながる、とつなげられますね。

・一同合意

・多岐にわたる決済方法の紹介や消費者トラブル発生から解決までの課題解決ができるように記載されている、とありますが決済方法は他の教科書にも載っていませんでしたか。

・東京書籍だけではなかったです。

・他にも載っているなら特色にならないので削除しましょう。

・一同合意

・意思決定のプロセスについて支払いの方法や決定思考が深まりやすくなっている。これ、204 ページのことですよ。また学習全体が終わった後の意思決定という流れになっている。これは207 ページ。意思決定のプロセスですが同じ内容ですね。

・では204 ページについて記載されている方を消しましょう。

・一同合意

・家族、家庭生活では246 から249 幼児とのふれあい体験が三パターン紹介されており中学校に応じた選択ができるようになっている。これは4パターンの教科書もあったと思います。

・では削除しましょう。

・一同合意

・エシカル消費やコード決済などの資料を載せたり身近に起こりえる事例を挙げたりして近年の課題である社会の急激な変化に対応できるように内容が工夫されている。コード決済は、教育図書の方がよかったです。

・確かに。写真がほしいですよ。

・エシカルはどうですか。

・エシカルは残しておきましょうか。記載があるので。

・次は教育図書です。

・(全文読み上げる。)

・家庭分野に関わる身近な職業にインタビューを掲載し将来の職業の選択や生き方との関わりに

ついて参考になるようにしている、は先ほど削除した内容と同じですよ。他の会社にも載っているのを削除しましょう。

・一同合意

・では、幼児とのふれ合いで三パターン紹介されており、学校の状況に応じて選択できるようになっているのが良い、もさっきのパターンと同じですよ。削除しますか。

・一同合意

・家族、家庭生活上で助けが必要な人と関わるときの注意点が取り扱われており、生徒が実生活で実践しやすい。

・これは私もよいと思いました。

・これは、残しておきます。

・調理の際、食物アレルギーへの配慮としてアレルギー物質 28 品目を含む調理例の食材に赤線を入れ目立つようにしている。これは開隆堂が黄色で示していた分ですよ。同じなので削除しませんか。

・一同合意

・災害食についての記載がある。

・東京書籍はないけど開隆堂にはあります。

・去年、ポリ袋調理したのですが、大変でした。まず、炊くのが大変で、固いかべちゃべちゃ。しかも臭い。だから、今回見て開隆堂のうどんを試みようと思ったんです。

・でもこのポリ袋調理はおいしかった、おいしくなかったどちらにしても子どもにとってはよい勉強になりますね。災害食は防災の視点では重要です。残しておきませんか。

・一同合意

・消費生活環境の多様化するキャッシュレス決済の例や写真が示してあり、生徒が理解しやすいや、消費者トラブルの解決への流れは、生徒が興味を持ち、実生活に生かすための手立てとなりそう。この部分は全て残したいと思うのですが皆さんはどうですか。

・ここは今日的な課題なので私も残した方がよいと思います。

・印刷、製本の部分に調理の写真がおいしそうに見えないみたいなものがありましたよね。それはここに入れないといけないのでは。

・写真が暗いです。

・明度が低くて食材によっては新鮮に見えないですよ。

・写真映えだから印刷・製本の項目にも当てはまるし、食材を購入する際の基準にもなるから教科特有の観点にもなると思います。

・開隆堂に移ります。

・(全文読み上げる。)

・家族と家庭生活では幼児のふれあいについて5パターンある。63～65 ページですが、ここですね。他の会社はパターンが少なかったり記載が具体的でなかったりしていた分だと思います。

・各学校の状況に応じた選択ができるようになっている。高齢者との関わり方が示してあり生徒が実践しやすい。これも残しておいた方がよいと思います。

・一同合意

・衣食住の生活の食生活では、魚・肉・野菜のすべて料理において煮る焼く蒸すの調理例が大きく取り上げられているので実施しやすい。これは残した方がよいと思います。

・開隆堂が一番調理実習しやすいと思います。

- ・では残しておきます。
- ・一同合意
- ・157 ページの加工食品と食事食料備蓄ではローリングストックやパックスッキングビニール袋を使用したカレーうどんの作り方が取り上げられており防災対策や被災した際の実践例が載っているので参考にしやすい、は残した方がよいと思います。
- ・ローリングストックはけっこう大事ですよ。だいたいみんな備蓄したままで賞味期限を切らしていることが多いです。そうではないということを伝え、食べて回していくことが大切です。残しましょう。
- ・次の、ガイドランスとして巻頭に実習を受ける際の安全の留意点がまとめてある、は他の会社の教科書にもあるので削除しましょう。
- ・一同合意
- ・以上で発行者ごとの観点別協議を終了します。

#### 【発行者ごとの内容確認】

- ・それでは、協議内容を発行者ごとに確認していきたいと思います。訂正があれば発言してください。
- ・東京書籍について確認します。
- ・それぞれの観点についていかがでしょうか。
- ・こちらでよろしいですか。
- ・一同合意
- ・では、東京書籍についてこれで確定します。
- ・一同合意
- ・続いて、教育図書について確認します。
- ・それぞれの観点についていかがでしょうか。
- ・こちらでよろしいですか。
- ・一同合意
- ・では、教育図書についてこれで確定します。
- ・一同合意
- ・最後に、開隆堂出版について確認します。
- ・それぞれの観点についていかがでしょうか。
- ・こちらでよろしいですか。
- ・一同合意
- ・では、開隆堂出版についてこれで確定します。
- ・一同合意
- ・以上で発行者ごとの記載内容の確認を終わります。

16:30～16:45 印刷・最終確認

16:45～17:00 鑑文に押印

各自の調査研究用紙、メモ、採択基準及び選定資料回収  
教科用図書見本本回収・片付け・終了



令和七年度使用中学校教科用図書選定会議

専門調査研究会（保健体育）

# 議事録

## 専門調査研究部会(中学校保健体育)議事録

記録者(瀧口)

【5月29日(水) 教育センター 210室】

- 14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 14:50～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【7月3日(水) 教育センター 307室】

- 9:00～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 9:10～ 各自調査研究
- 11:00～ 協議会
- 16:45～ 諸連絡、片付け

- ・それでは今から保健体育科専門調査研究部会はじめていきます。よろしくをお願いします。
- ・まず東京書籍です。
- ・内容の範囲、程度についてです。皆さんいかがですか。
- ・適切だと思います。
- ・私もそう思います。
- ・皆さんいかがですか。
- ・一同合意
- ・次に内容に関する配慮事項についてですがいかがですか。
- ・健康な生活と疾病の予防については、全学年で教えるので、できたら横並びに揃えてあってほしいと思いました。
- ・他者はどうなっていますか。
- ・他者は、揃っています。
- ・横並びの方が教えやすいですね。
- ・あと、共に生きるの内容が災害ではなく、二次災害などに触れているのは分かりやすいですね。
- ・一同合意
- 2年3章の4、人的要因と環境要因などのリード文か図示があるとわかりやすくないですか。
- ・言われると、そっちの方が分かりやすい気がします。
- ・皆さんはいかがですか。
- ・一同合意
- ・他何かありますか？
- ・応急手当の方法で図説とか写真があっただけいいんですが、隣接するページにあるともっといいですよ。
- ・確かに、心肺蘇生法の単元に続けてあったらいいですね。
- ・一同合意
- ・目次になるんですが、単元の色が整理が見にくいように思います。
- ・皆さんいかがですか。
- ・統一感があつたほうが見やすいですね。
- ・一同合意
- ・他にありますか。

- ・学校現場にエピペンが必要な生徒がいるので使用方法について触れてほしいですね。
- ・一同合意
- ・資料が多いように思うんですが。
- ・少しだけ単元によって分量は少くないですかね。
- ・ページによってはそうですね。
- ・分量はどうですか。
- ・先ほどあがったように少ないと思いますが、全体的に見たら適切だと思います。
- ・一同合意
- ・使用上の便宜はいかがですか。
- ・タイトルが大きいように感じるのと、資料の位置を統一してほしいですね。
- ・一同合意
- ・二次元コードはどうですか。
- ・動画とか思考ツール、ワークシートが多くていいと思います。
- ・シュミレーションも疑似体験ができたりできるから、授業で教えたあとにすると理解が深まるかと思えますよ。
- ・一同合意
- ・他にありますか。
- ・がん治療の方法が記載されているのは実際に使える知識だからいいですよ。
- ・一同合意
- ・印刷・製本等で何かありますか。
- ・全体的に暗いと思うんですが、どうですか。
- ・皆さんどうですか。
- ・一同合意
- ・ユニバーサルデザインを意識して本文を左側にして、資料を右側に配置しているけど内容のまとまりがとらえにくいように思います。
- ・一同合意
- ・UDフォントを使用していたり、本文は明朝体UDフォントになっていたりして区別しやすいです。
- ・一同合意
- ・教科ごとの選定観点に入ります。何かありますか。
- ・グラフの資料のデータが比較的新しいと思いますが、どうですか。
- ・たしかにそうですね。
- ・一同合意
- ・他教科との関連はいかがですか。
- ・そうですね、横断的な学習が進めやすいと思います。
- ・一同合意
- ・体育分野と保健分野の関連マークがあって理解しやすいですね。
- ・話し合いの活動の視点からはどうですか。
- ・協働的な学びを行うことができる工夫もされています。
- ・一同合意
- ・章末問題に二次元コードが用意されているのは、個別最適な学びを進める中で大切だと思いますがいかがですか。
- ・一同合意
- ・SOGIEの視点からも性の多様性が掲載されているからいいと思います。

- ・一同合意
- ・全体を通して何かありますか。あれば教えてください。
- ・ありませんか。
- ・それでは、以上で東京書籍を終わります。
  
- ・次に大日本図書です。
- ・内容の範囲及び程度について見ていきます。
- ・よろしいですか。
- ・どうぞ。
- ・発育急進期における運動の有用性について触れてほしい。
- ・運動の有用性とは。
- ・発育急進期において運動の大切さにも触れてほしい。
- ・皆さんいかがですか。
- ・一同合意
- ・学校現場でエピペンが必要な生徒がいるので、エピペンについて触れてほしいです。
- ・確かに、難しいかもしれないけど触れてほしい。
- ・皆さんいかがですか。
- ・一同合意
- ・課題を発見し、主体的に取り組むなかで対話を通して、思考を広げ、深めていくことで深い学びの実現に配慮されているように思います。
- ・全ての章に見られますね。
- ・主体的に取り組むことで、深い学びが実現できますね。
- ・他に意見はありませんか。
- ・皆さんいかがですか。
- ・一同合意
- ・内容に関する配慮事項にいきます。
- ・つかもう、やってみよう、話し合ってみよう、調べてみよう、活用して深めよう、が分かりやすい。
- ・何がわかりやすいですか。
- ・問題解決的な学びをするなかでとても分かりやすい。
- ・生徒が意識しやすいですね。
- ・皆さんいかがですか。
- ・一同合意
- ・がん教育ってどうなっていますか。
- ・がん教育は、早期発見、早期治療が大切ですよね。
- ・できたら資料がもう少しほしいですね。
- ・あと、部位別の罹患者数や生存率などがあるとイメージしやすいですね。
- ・それがあつたら教えやすい。
- ・皆さんいかがですか。
- ・一同合意
- ・応急処置は多くとり上げていますね。
- ・熱中症の処置も取り上げています。

- ・応急処置は本当に多くとり上げています。
- ・皆さんいかがですか。
- ・一同合意
- ・グラフのデータが少し古いのと、新型コロナウイルスは記事だけなのでできたら、分かりやすいように説明文も載せてほしいですね。
- ・皆さんいかがですか。
- ・一同合意
- ・あと、評価をする際に、章のまとめになる問題がないので問題があった方がいいですよ。
- ・一同合意
- ・教科書の色が気になるのですが。
- ・グラフの赤とか緑の色使いが、見にくい。
- ・確かに、色覚特性のある生徒は見にくいのではないですか。
- ・皆さんいかがですか。
- ・一同合意
- ・分量はどんなですか。
- ・災害のところはどんなですか。
- ・もう少し取り扱う範囲を広めたりした方がいいのでは。
- ・あと、全国の被災状況から、避難に対する知識習得が必要では。
- ・一同合意
- ・語句や文章表現が難しいように思うのと、資料は充実しているけど本文が少し少ない。
- ・皆さんいかがですか。
- ・一同合意
- ・使用上の便宜で何かありますか。
- ・心肺蘇生法の折り込みが見やすくないですか。
- ・とても大きくてこれ見やすいですね。
- ・皆さんいかがですか。
- ・一同合意
- ・これまで学校で発生した重大事故を想起させるものが、イラストだけでは教員が事故をイメージするのは難しいですかね。
- ・皆さんいかがですか。
- ・一同合意
- ・では、次にいきます。
- ・印刷、製本等はいかがですか。
- ・左のページに本文があって、右側に資料があってレイアウトが分かりやすいですね。
- ・写真の色使い、コントラストがきつい感じがする。
- ・皆さんいかがですか。
- ・一同合意
- ・続いて教科ごとの選定の観点について何かありますか。
- ・自然災害はとても分かりやすく、丁寧だと思います。
- ・たしかに丁寧ですね。
- ・皆さんいかがですか。

- ・一同合意
- ・まとめの問題にデジタルコンテンツがあるのはいいですね。
- ・対応するページにマークを示してあるのもいいですね。
- ・教師も生徒も分かりやすいですね。
- ・皆さんいかがですか。
- ・一同合意
- ・先ほどもあった、がん教育は生活習慣とのかかわりについてもう少し掘り下げてもいいかもしれませんね。
- ・一同合意
- ・具体的なSNS上のトラブルや危険度について明示したほうがいいですよ。
- ・それは、性情報ですか。
- ・そうです、性情報などへの対処ですね。
- ・みなさんいかがですか。
- ・一同合意
- ・大日本図書以上になりますが、全体を通して何か気になること等ありますが。
- ・大丈夫ですか。
- ・一同合意
  
- ・次に大修館書店です。
- ・まず内容の範囲及び程度についてです。
- ・けがの防止と応急処置についていいですか。
- ・どうぞ。
- ・実習資料はあるが、生徒自身がけがをした時のことについてあまり触れられていないように思うんですが。
- ・皆さんどうですか。
- ・たしかに少ないように感じますね。
- ・身近な処置のけがの処置の記載が少ないですね。
- ・一同合意
- ・大修館はエピペンの使用方法について取り上げていますね。
- ・これは、教師も教えやすいですね。
- ・一同合意
- ・評価に反映されやすい工夫とかありますか。
- ・章のまとめ問題で、観点別で構成されているので評価しやすいとお思いますよ。
- ・これは、わかりやすい。評価しやすいですね。
- ・皆さんいかがですか。
- ・一同合意
- ・単元によっては資料が多くて、本分が少ないように感じますがどうですか。
- ・一同合意
- ・あとは何かありませんか。
- ・自律神経の働きや、LGBTQ など資料の記載があってもいいと思います。
- ・一同合意

- ・新型コロナウイルス感染症が一覧表に入れてほしいですね。
- ・一同合意
- ・次に分量にいけます。何かありますか。
- ・自然災害の所や、生徒にとって身近なけがについて記載が少ないように思いますが。
- ・たしかに少し少ないですね。
- ・皆さんはいかがですか。
- ・一同合意
- ・使用上の便宜についてです。
- ・配色は目に優しく見やすいと思うんですが、どうですか。
- ・丁度いい配色だと思います。
- ・見やすいですね。
- ・皆さんはいかがですか。
- ・一同合意
- ・自主的、自発的な学習の工夫がされている箇所がありますが。
- ・どこですか。
- ・コラムが充実しているので、自主的な学習の工夫がされていますね。
- ・あと、学習のまとめが単元によって異なり充実していますね。
- ・皆さんはいかがですか。
- ・一同合意
- ・デジタル教材が充実しているのも魅力ですよ。
- ・充実って具体的に。
- ・例えば、デジタル教材が167点もあるのは授業を進めていく中でいいですよ。
- ・特に WEB ワークシートで意見共有できるから、協働的な学びができたりできる工夫がされていますね。
- ・一同合意
- ・あと、用語説明がまとまっていたり、がん治療の治療方法が記載されているのはいいですね。
- ・みなさんどうですか。
- ・一同合意
- ・ちょっときになるのが、内容によっては、フォントが小さいところや、文書と資料の配置が混みあっているように感じますが。
- ・皆さんどうですか。確認してください。
- ・たしかに小さく感じたり、混みあっているように思います。
- ・一同合意
- ・印刷。製本等に移ります。
- ・見出しに UD フォントが使用されているのはわかりやすいですね。あと、カラーユニバーサルデザインもいいですね。
- ・一同合意
- ・教科ごとの選定の観点はいかがですか
- ・今日的な課題のがんとその予防についての記述が充実しています。
- ・みなさんいかがですか。
- ・たしかに充実していますね。

- ・一同合意
  - ・性の多様性や心の健康、スマートフォンと健康、安全、性犯罪、性暴力などの現代的な課題に対応しているように思いますが、いかがですか。
  - ・各自もう一度確認をお願いします。
  - ・確かにそう思います。
  - ・充実していますね。
  - ・皆さんいかがですか。
  - ・一同合意
  - ・学習時間の最後に保体クイズがあるので、生徒の学習のサポートになっていますよね。
  - ・一同合意
  - ・章全体の学習の前に、対話を促す設定があって、生徒が興味関心もって学習を進められますね。
  - ・一同合意
  - ・思春期の子ども達が直面しそうな問題を取り上げていたり、相談場所の紹介を掲載していたりして実生活に生かせる内容になっていますね。あと、スマートフォン関連を多く取り上げていて、心身のバランスがとれた生活を送ることに繋がる内容になっています。
  - ・皆さんいかがですか。
  - ・一同合意
  - ・それでは、全体を通して何か気付いたことや、修正等、必要な個所があれば教えてください。
  - ・特にありません。
  - ・みなさんよろしいですか。
  - ・一同合意
  - ・それでは、以上で大修館書店を終わります。
- 
- ・最後に、Gakken の教科書について進めていきます。
  - ・まず、内容の範囲及び程度についてお願いします。
  - ・いいですか。
  - ・はい、どうぞ。
  - ・ウェルビーイングとか、多様性、キャリア教育、ユニバーサルデザインなど現代的な課題が様々工夫されて施されているように思いますが、皆さんはどう思いますか。
  - ・ちょっと待ってください。確認します。
  - ・確かに現代的な課題が様々施されているところはいいと思います。
  - ・皆さんいかがですか。
  - ・一同合意
  - ・生徒のストレスへの対処法などは載っていますか。
  - ・載っていますね。多様化するストレスに対して、幅広く対処できるよう記載してあります。
  - ・二次元コードからも動画で学習できて分かりやすいですね。
  - ・一同合意
  - ・あと、基本の構成が使いやすく、見やすいと思います。
  - ・一同合意
  - ・次に内容に関する配慮事項についてお願いします。
  - ・いいですか。



- ・どうぞ。
- ・ウォームアップ、学習課題、本文と資料、エクササイズ、学びを生かすの流れが、生徒が主体的な学びにとってもいいと思うし、授業で使いやすいと思いますが皆さんはどうですか。
- ・ウォームアップ、学習課題、本文と資料、エクササイズ、学びを生かすの間などが生徒にとって身近な問いなのが主体性を引き出しますね。
- ・皆さんいかがですか。
- ・一同合意
- ・練習問題とかは、評価の観点別になっていますか。
- ・なっている方が評価しやすいですよ。
- ・章のまとめは、観点別で自己評価と問題、課題などで構成されているので使いやすいし評価しやすくないですか。
- ・一同合意
- ・がん教育の中で、がんの早期発見、早期治療を教えていく中で主な治療法が記載されているのは実際に使える知識としていいですよ。
- ・発見後の治療法までわかると教えやすいですね。
- ・皆さんはいかがですか。
- ・一同合意
- ・次は分量ですが、皆さんいかがですか。
- ・適切だと思います。
- ・そうですね。
- ・一同合意
- ・そうしたら次の、使用上の便宜はどうですか。
- ・章のとびらで、学びたいこととか、学んだことを自分流に表現できるスペースがあるので個々の頑張りなどを評価に反映しやすいように思いますが、いかがですか。
- ・一同合意
- ・それに付け加えて、学習課題がわかる、考えるの二本立てだから知識をつけて深める学習の流れになっていて使いやすいと思います。
- ・みなさんどうですか。
- ・一同合意
- ・学びを生かすで、知識をまとめたり、深めたり、活用できるようにしていると思うのですが皆さんどう思いますか。
- ・ちょっと教科書確認するので待ってください。
- ・なるほどね。たしかに、学びを生かすところよね。
- ・そうです。
- ・私はいいと思います。
- ・皆さんはいかがですか。
- ・一同合意
- ・イラストと写真だけでなく、二次元コードの動画コンテンツも充実していますね。
- ・二次元コードは、すごいね。豊富。
- ・多面的、具体的に生徒が学べる気がする。
- ・皆さんいかがですか。

- ・一同合意
- ・ウォームアップの発問が分かりやすいですね。
- ・具体的に何が。
- ・生徒の身近な課題を取り上げています。
- ・たしかに、関心を引き出す例題がいいですね。
- ・学習内容が身に付きやすい工夫がされていますね。
- ・一同合意
- ・印刷、製本はどうですか。
- ・配色とか書体、紙色、などどうですか。
- ・何かありますか。
- ・3つにくわえ、表現なども精査していて、色覚特性へ生徒にもちゃんと配慮があるように思います。
- ・書体は何ですかね。
- ・ユニバーサルデザインフォントですね。
- ・強調される部分の太字とか指示番号が分かりやすいですね。
- ・見やすいですね。
- ・全体的に落ち着いた色合いだし、大切な内容のところがしっかり目に留まる色遣いになっているように思います。
- ・一同合意
- ・他何かありますか。
- ・なければ、最後の教科ごとの選定の観点です。
- ・これからの社会につながるキーワードが多く記載されているし、ウェルビーイングにつながる今日的な話題や健康課題についても触れていますね。
- ・現代的な課題に対応する力が身に付くよう工夫されているように思います。
- ・皆さんいかがですか。
- ・一同合意
- ・いいですか。
- ・どうぞ。
- ・心の発達の中で、コミュニケーションの実習が充実しているように思いますが、どうですか。
- ・先ほども言ったように、やっぱり動画コンテンツも充実していますよね。
- ・心と体のSOSなど、いじめなどへの対応も学習できるように思います。
- ・一同合意
- ・喫煙、飲酒、薬物乱用の所なんですけど、中学生の身近な課題として、デジタルコンテンツのシミュレーション教材で実習できて効果的にだと思います。
- ・あと、行動嗜癖も生徒にとって探究的に取り上げているように思います。
- ・実習できるのは本当に効果的ですね。
- ・みなさんどうですか。
- ・一同合意
- ・文科省の生命の安全教育は、性の多様性と包括的性教育の視点も踏まえて学習できるようになっているのはいいと思いますが、どうですか。
- ・あと、性の多様性はイメージを固定しないように正しく理解できるようにだと思おうのですが、イラストなどあえて使っていないように思うのですが。

- ・たしかに文章で構成していますね。
- ・みなさんどうですか。
- ・イラストが無いとだめなわけじゃないですけど。文章だけでも、そのまま伝わるのでいいと思います。
- ・一同合意
- ・他にありますか。
- ・いいですか。
- ・どうぞ。
- ・先ほども少し触れたのですが、探求しようよが学習内容を踏まえた問いになっていて、深化、発展できる内容になっていると思いますが、いかがですか。
- ・そうですね、学習内容を踏まえた問いは効果的だと思います。
- ・一同合意
- ・他になにかありますか。
- ・特にありません。
- ・皆さんは大丈夫ですか。
- ・最後に、全体を通して何か気になることありますか。
- ・Gakken のことについてですか。
- ・それでも構いませんし全者のことでも構いません。
- ・少しでも気になることがあれば、教えてください。
- ・よろしいですかね。
- ・それでは、以上で教科書採択業務専門調査部会を終わります。

16:45～ 鑑文に押印・片付け

17:00 終了

令和七年度使用中学校教科用図書選定会議

専門調査研究会（英語）

# 議 事 録

## 専門調査研究部会(中学校 英語)議事録

記録者(新郷)

【5月29日(水) 教育センター 209室】

- 14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 14:50～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【7月 3日(水) 教育センター 301室】

- 9:00～ 全体会(部長あいさつ、時程確認等)
- 9:10～ 個別に各社の教科書等について調査研究
- 10:00～ 休憩
- 10:15～ 調査研究に関する討議
- 12:00～ 昼食
- 13:00～ 協議

### <東京書籍>

- ・それでは、東京書籍について「選定の観点ごと」に発言をお願いします。
- まず、各教科共通の選定の観点から【(1)内容の範囲及び程度】について
- ・学習指導要領が示す内容及び内容の取り扱いに示す事項を不足なく取り上げており適切である、ということでしょうか。
- ・教科用図書に則った言語活動を行う際に目的・場面・状況の設定が不明確な箇所があると感じたが、いかがか。
- ・例えば、Activity の部分、楽しく取り扱える言語活動であるが、場面設定があまり詳しくなされていない。本文を読むことがメインになってしまうのでは。
- ・合意
- ・ただ、この内容は内容に関する配慮事項に関わる場所ではないか。
- ・合意
- ・それでは、内容に関する配慮事項に関するところに入れることとする。
- 次に、【(2)内容に関する配慮事項】について
- ・小学校との接続を考えた時、ページとしては少ないが、語句については小学校で学んだことが明確に示しており、語彙、語句の接続が意識されている。表現の復習としては少ないのかもしれないが。
- ・各学年のはじめに「学習の見通しを立てよう」と題材・目標・文法事項の一覧がある。Unit と Unit が2～3まとまった Stage に分かれていて、Stage ごとに巻末の CAN-DO リストでどの程度目標に到達できたかがわかる。生徒はこれが分かりやすい。
- ・発達段階に応じて様々な題材が取り扱われおり、生徒の知識、情報の質の向上につながる。
- ・Part やページをまたぐとストーリーが続いていない。文法事項を利用する場面は設定されているが、つながりが気になる。
- ・文法事項の学習には適しているが、物語として考えるとつながりに欠ける。
- ・二次元コードについては、どの者も工夫しているので、大きな差異はないようだ。
- ・フォニックスの指導(音と文字のつながりに関する指導)については、東京書籍が充実している。
- 次に【(3)分量】について

- ・全体の分量というより、見開き1ページの情報量が多い。
- ・1年生の Unit1～Unit4 までは帯活動が設定されているおり、小中連携が意識されている。
- ・このことについては、内容に関する配慮事項に記載すべきではないか。

・合意

○次に【(4)使用上の便宜】について

- ・1年生の巻末の語順カードは教科書内の表記と色などが連動しており、わかりやすい。
- ・また、わかりやすく、スローラーナーにも配慮しているということではないか。
- ・4線については、2, 3線目のところが太くなっており、書きやすい。
- ・他の者については、等間隔のところもある。今の子供たちは小中連携からもやはり太くなっているものがよいと思う。

○次に【(5)印刷・製本等】について

- ・写真やイラストや鮮やかで見やすいが、その分英文の文字に集中しにくい感じがする。

○次に教科毎の選定の観点について

- ・いくつかの Unit をまとめた Stage Activity が面白い。
- ・既習事項を復習する Stage Activity がよい。
- ・多様性に配慮して登場人物や国の選定を行っている。

・

<開隆堂出版>

- ・それでは、開隆堂出版について「選定の観点ごと」に発言をお願いします。

○まず、各教科共通の選定の観点から【(1)内容の範囲及び程度】について

- ・学習指導要領が示す内容及び内容の取り扱いに示す事項を不足なく取り上げており適切である。

○次に、【(2)内容に関する配慮事項】について

- ・2コマのイラストで文法事項の導入があるが、わかりやすい。
- ・Program の扉ページと次の Scenes で、先に文法事項が紹介される。Program ごとに単元の最後は Action として、学んだことを活用するページがあり、その Program のイメージを表すように作られている。
- ・これは単元学習の見通しや復習がしやすい。
- ・単元ごとに言語活動が設定されているのは、どの者も同様である。
- ・つまり、このはじめのイラストによって文法を示す部分がこの教科書の特色と言える。

・合意

- ・各ページに Goal の達成度や Program における達成度を生徒に実感させる工夫がある。
- ・これについては使用上の便宜にかかわるものでないか。

・合意

- ・Program 内のストーリーには一貫性があるが、Program をまたぐとつながりが薄い。
- ・この教科書は文法事項から単元がスタートすることになる。内容から入らないので、やはりこれは気になる。

- ・せっかく単元は4コマのようなイメージで入っていくので、それはよいのに、文法で入っていくことになる。振り返りであればよいかと思うが・・・

- ・ストーリー性がうすいということか。

- ・そうではなく、文法事項が先に出てしまうので、単元内の言語活動で、どんな文法を使って表現するのか、生徒が考える余地が少なくなってしまうということ。

・動物の写真がリアルすぎて、嫌悪感をもつ子どもがいるのではないか。例えば3年生の48、50ページなど。

・刺激が強すぎるため、苦手とする生徒もいる可能性がある。

・巻末の QuickQandA は生徒が楽しみながら学べる便利なページであると思う。

・それについては使用上の便宜か。

・合意

・Program 内のストーリーに一貫性があるが、Program 感同士のつながりが薄い。

○次に【(3)分量】について

・単元数は多いが、単元内の英文の量は適切である。

○次に【(4)使用上の便宜】について

・1年生の巻末のアクションカードは、授業での使用場面が限られるのでは。

・教科書紙面で使い方が紹介されている。使用はできそうである。

・ただ、中学生の活動としてはどうか。

・生徒の興味・関心を引く材料にはなる。

・Tuning in で生徒の単元に関するイメージを喚起するところがよい。

・これまでは教員が準備していた内容になる。

・デジタルコンテンツについては、どこの者も同様か。

・この者については、二次元コードを開いた後のバリエーションが少ない。

・巻末資料が見やすいが、これもどこの者も工夫しているように思うがどうか。

・合意

・1年生と2,3年生で書体を変えていてよいと思う。ただしこれもどこの者も同じ。

・Review&Retell の活動は面白い。生徒がスモールステップでリテリングまで到達できる。生徒にとって書きやすい作りになっている。

・1時間の授業の中で何度も生徒がページをめくらないといけない仕組みになっている。

○次に【(5)印刷・製本等】について

・Scenes for Basic Dialogs はアイデアとしてはよいが、英語の文字が小さく読みづらい。

○次に教科毎の選定の観点について

・多様性に配慮しているが、取り扱う日本文化についてはバリエーションが少ない。

・小中連携は充実しているが、すぐろくのページについては使いづらい。ページ内に日本語しかないので、ヒントが足りない感じがある。

・多くの国々に関する内容や、日本と世界とのつながりに関する内容、科学技術に関する内容など、生徒の興味を引く内容が幅広く取り扱われていてよい。

<三省堂>

・それでは、三省堂について「選定の観点ごと」に発言をお願いします。

○まず、各教科共通の選定の観点から【(1)内容の範囲及び程度】について

・適切である。

・合意

○次に、【(2)内容に関する配慮事項】について

・単元の進み方については、扉、概要、本文、言語活動と進む。構成としてはよい。

・2年生で現在完了形の3つの用法を全て扱い、3年生で現在完了進行形が初出であるので、段階的に扱えることがよい。

・小学校の復習ページが一つにまとまっていて使いやすい。また、内容が充実している。

・小学校で学んだ語彙を調べやすい仕組みになっている。

- ・小中接続の視点から内容がまとまっている。
- ・レッスン内のストーリーは面白く、続きが気になる展開ではあるが、レッスン間のつながりが薄い。

#### ○次に【(3)分量】について

- ・単元数は多いが、単元内の英文の量は適切である。段階的に分量が増やしてあってよい。
- ・1年生の内容が多すぎる。文字が詰まっている感じがする。2・3年生は適切である。
- ・単元数が多いのは1年生ではないか。
- ・確かにそうである。

#### ○次に【(4)使用上の便宜】について

- ・オーディオスクリプトは本文ページには掲載されていない Part の英文が全文読めるようになっている。しかし、これは他者にもある。
- ・復習はしやすいのでは。
- ・リスニングスクリプトが全て載っているのはよい。
- ・1年生の Unit4 で不規則動詞が出てくるのは早いと感じた。規則動詞に慣れてからのほうがよいのではないか。
- ・具体的にはどのような語彙が扱われているのか。
- ・went, saw, enjoyed, it was などである。
- ・そういった語彙であれば小学校で学んでいるので、復習的な意味で問題ないのではないか。
- ・合意
- ・本文と巻末の Word List の書体が異なり、わかりにくい。
- ・最近の歌手など生徒の興味を引く内容が含まれている。
- ・1ページずつはあっさり終わっているが、Language Focus の部分でまとめているのだと思う。
- ・授業で説明できなかった部分を生徒が読んで理解できるかどうか問題となる。
- ・Lesson の概要を把握する部分は、生徒が取り組みやすい工夫がしてある。
- ・各パートのスマールトークの設定が簡易すぎて、生徒に取り組みにくい。
- ・教科書に出てくるキャラクターが同じ人物なのに、タッチが違う描かれ方をしているために、混乱が生じるのではないか。
- ・確かに、別の人物に見える。

#### ○次に【(5)印刷・製本等】について

- ・文法指導のページのみキャラクターの描写が変わり、生徒の混乱を招く可能性がある。

#### ○次に教科毎の選定の観点について

- ・Role-play Sheet は即興的なやり取りを発展させられる。教科書だけで、教員の準備がなくてもできる。
- ・1年生の Starter1～6で、言語活動に一つ一つ取り組みながらアルファベットや英文の書き方を教えていく流れはとてもよくできている。

#### <教育出版>

- ・それでは、教育出版について「選定の観点ごと」に発言をお願いします。

#### ○まず、各教科共通の選定の観点から【(1)内容の範囲及び程度】について

- ・適切である。

#### ○次に、【(2)内容に関する配慮事項】について

- ・Lesson の構成は扉に単元の目標があり、Part ごとに本文と文法、listening、writing と進み、Lesson の最後に単元に応じた Task が設定されている。学習の流れがよい。
- ・小中接続のページ Spring Board は内容に工夫が見られない。しかし、Lesson に入ってから



は小中の接続に配慮されており、円滑な接続ができる。

・他者にも小中接続のページはあるが、あまり工夫がないものもある。この者だけのことではない。

○次に【(3)分量】について

・3年生は Lesson 7 までであるが、Lesson のあとに Project が1つ、Reading が1編、Further Reading が4編あり、やや多い。

・1年生で取り扱う単元が多く(Lesson9まで)、生徒の理解に応じた指導を行う上で計画に柔軟性を持たせることが難しい。

○次に【(4)使用上の便宜】について

・4線が等間隔であり、初心者には書きづらい。

・本文は century だが、生徒が書き込む活動をする欄については、手書きに近いフォントになっており、配慮がある。

・「中学卒業までの英語学習の目標」を自分で書き込む欄があり、巻末の CAN-DO リストには、自分が立てた目標の達成度について確認する欄がある。

・CAN-DO リストでは、単元ごとには振り返ることになっていないが、単元ごとにはどうか。

・単元末に振り返りを行う部分がある。

・CAN-DO リストでは、単元ごとに振り返るというよりも、全般的に英語力が身についたかどうかを見ていくほうがよいので、この形でよいのではないか。

・合意

・メインキャラクターたちの表情が乏しく、生徒が対話等の内容を把握しづらい。

・服装も変化がなく、場面の転換が分かりにくい。

・Project のページは、モデル文や例示が少ないため、指導がしづらい。

・各単元では、様々なテーマについて、登場人物が考えるというパターンが多い。様々なテーマがあるところはよいが、ストーリー性に欠ける面がある。

・社会的な話題については充実している印象である。

・ディベートなどの発展的な活動が含まれており中高接続を考えた時にはよい。

○次に【(5)印刷・製本等】について

・サイズは取り扱いやすくてよい。

○次に教科毎の選定の観点について

・成長に合わせて、進路に関する内容や働くことについての文章などが取り扱われており、中学生の成長に合わせた内容になっている。

<光村図書出版>

・それでは、光村図書出版について「選定の観点ごと」に発言をお願いします。

○まず、各教科共通の選定の観点から【(1)内容の範囲及び程度】について

・適切である。

○次に、【(2)内容に関する配慮事項】について

・小中接続の観点からも、1学期の Unit においては、漫画風のイラストにせりふが入っており、円滑なスタートが切れる。

・本文が3年間を通じたストーリー仕立てになっており、生徒は興味をもって読むことができる。

○次に【(3)分量】について

・ページ数が他者と比べてもやや多い。

・ページ当たりや、単元ごとの分量は適切である。

○次に【(4)使用上の便宜】について

- ・スピーキングテストに対応する問題の提示があり、スピーキング力を高める効果的な練習ができる。
- ・CAN-DO リストがきちんと内容のまとめごとになっている上、またどの単元のことであるのかわかりやすくなった。
- ・とじ込み式になり、見やすく生徒は書きやすい。
- ・Thinking Tools として、アイデアマップが紹介されており、言語活動を豊かにするためのヒントとなる。

○次に【(5)印刷・製本等】について

- ・A4 版より小さめだが、余白は十分にあり、生徒が書き込みながら学習できる工夫がある。
- ・文字、写真、イラストの配分、配色がよく、見やすい。

○次に教科毎の選定の観点について

- ・主人公たちの日常を描いた場面が多く、親しみやすい反面、社会的な題材を豊富に扱っているとは言えない。
- ・異文化理解に関する題材も少ない。日常生活の場面が多いためである。

<啓林館>

- ・それでは、啓林館について「選定の観点ごと」に発言をお願いします。

○まず、各教科共通の選定の観点から【(1)内容の範囲及び程度】について

- ・適切である。

○次に、【(2)内容に関する配慮事項】について

- ・巻末資料の内容が少ない。
- ・次の学年の初めに、前学年の復習がないため、難しく感じる。
- ・進級時には、前年度とのつながりを意識した学習を行いたい。

○次に【(3)分量】について

- ・Unit 数は適切であるが、学年を追うごとに英文量が増え、負担があるのではないか。
- ・合意

○次に【(4)使用上の便宜】について

- ・生徒が書き込む欄が小さく、また、4線が等間隔であり、1年生にとっては書きづらい。
- ・ページを開くごとに、Enjoy Chatting のテーマが示されているのが使いやすく学びやすい。
- ・文法説明の Focus on Form は文字数が多く、例文を出しすぎているために、どこが重要なのかかかえってわかりにくくなっている。
- ・中学生には、文字数が多く、読みにくいだろう。
- ・二次元コードで本文の解説をしている動画は興味深い。学習者の自立をうまくサポートすると思われる。

○次に【(5)印刷・製本等】について

- ・全体的に、文字が小さく多い。
- ・イラストや文字の配置などのデザインが整っており、見やすく配色もよい。

○次に教科毎の選定の観点について

- ・Speak では例文は絵、語彙が分かりやすく豊富に提示されており、ペアでの会話練習がうまく出来るように配慮されている。
- ・取り扱われる国は多岐にわたっており、生徒の興味・関心を引く。

15:40～ 報告書の印刷(1回目)

16:00～ 誤字脱字の訂正などの校正作業

○各社について誤字脱字の訂正などの校正作業をします。

<東京書籍>

・Read and Think だけだと伝わらない。読むことを中心としたページ、でどうか。

・合意

<開隆堂>

・Tuning in のところが分かりづらい。単元の題材と自分の考えをつなげる、という言葉を追加してはどうか。

・合意

・Scenes for Basic Dialogs は良いアイデアだが、のところで「イラストのインパクトが強く」という言葉を追加してはどうか。

・合意

・興味を高める、ではなく興味・関心を高めるとしたほうがよい。

<三省堂>

・Lesson(単元)とあるが、単元だけでよい。

・文法説明が先にある、導入が難しいとあるが、意味が伝わりにくい。「従前の」文法説明の方法ということが伝わるようにしたほうがよい。

・「従前の」という言葉と、「生徒への言語活動の導入」という言葉を入れてはどうか。

・復習ページは横が短いとあるが、意味が伝わりにくい。サイズが小さいということか。

・そういうことである。サイズを小さくして、見つけやすくし、いつでも見返すことができるということである。

・では、サイズが小さい、繰り返し使いやすいという表現をいれるのはどうか。

・合意

<教育出版>

・社会的な題材を豊富に、のところは内容に関する配慮事項に入れるものではないか。

・合意

<光村図書>

・性別にも配慮がある、は性別に配慮があるでよい。

・ページあたり、は1ページあたりのほうが分かりやすい。

・文字、写真、イラストの配分・配色がよく、のところは「よく」を「工夫され」としたほうがよい。

<啓林館>

・小中連携、ではなく小中接続、としたほうがよい。

・Focus on Form という言葉は、伝わりにくい。文法説明のページでよい。

・Read and Think、Listen and Think では伝わりにくい。読むこと、聞くことのページでどうか。

・このページは生徒の自己表現につなげることができる構成に優れていることが伝わるようにしたので、「アウトプットに繋げやすい質問構成になっている」で、でどうか。

・合意

16:20～ 全員での最終読み合わせ

16:40～ 報告書の印刷(2回目)

全員による最終確認

○東京書籍について

これでよいか

・合意

○開隆堂について

これでよいか

・合意

○三省堂について

これでよいか

・合意

○教育出版について

これでよいか

・合意

○光村図書について

これでよいか

・合意

○啓林館について

これでよいか

・合意

16:55 押印

17:00 終了

令和七年度使用中学校教科用図書選定会議

専門調査研究会（道德）

# 議事録

【5月29日(水) 教育センター 304室】

- 14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 14:50～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【7月1日(月) 教育センター 307室】

- 13:00～ 全体会(部長あいさつ、時程確認等)
- 13:10～ 各教科書調査研究報告(共同編集機能で議論しながら報告書案作成)
- 16:20～ 報告書案見直し
- 16:40～ 報告書案訂正
- 16:45～ 諸連絡、片付け

- ・東京書籍からです。内容の範囲から何かありませんか。
- ・学習指導要領に示されたすべての内容項目が取り上げられています。
- ・全て取り上げているということでしょうか。
- ・学年の発達段階に適した内容です。
- ・全体的に生徒の身近な出来事を教材として取り上げており、生徒の発達段階を考慮しています。
- ・主たる教材が35教材、「付録」で4教材(小中連携、SDGsの視点)が収録されています。
- ・内容の配慮事項についてです。いじめ問題のユニット、生命尊重のユニット、情報モラル、自己肯定感を育む教材は、指導に最適な時期を考慮し、各学年同じ時期に配列しています。
- ・「いじめ」や「命」に関する内容のユニットが全学年で3時間ずつ組まれており、多面的・多角的に考え深めることができる構成になっています。
- ・3時間ではなくて、3教材だと思います。
- ・巻頭に「道徳科とは」「道徳科の授業はこんな時間に」が設定されていますが、3学年同じ内容であり、段階を踏んだ教材が設定されておらず活用しづらいですね。
- ・3学年同じはどうかと思います。最初のページに記述されているものです。
- ・他者にも道徳開きのものはありますが、学年で違います。
- ・各学年に小学校の教材が入っており、小中連携を意識したり、小学校の時の自分と比べたりしながら考えることができるようになっていきます。
- ・3年間を通じて同じキャラクターが登場したり、各学年の発達なんかを考慮した配置等を取ったりするなどして、系統的に学習できる内容になっています。
- ・そうですね、同じキャラクターが使われた教材が使われているということですね。登場人物を共通させている教科書があり、その成長を追っていくのを見たことがあります。現実の生徒とともにこう成長していくような。
- ・中学生という等身大のある程度の存在だったものがキャラクター化して出て、そのあたりがどう捉えられたのかというところは疑問ですね。
- ・現在活躍している人物が多く登場しており、生徒の興味関心を満たしやすいですね。
- ・でも、生徒の興味関心を持たせやすい反面、現代の人物がマイナスな面での出来事が起こることも考えなければならない心配がありますね。
- ・指導に配慮を要しますね。

- ・現代に活躍している人物が多く登場しており、生徒の興味関心を持たせやすい反面、評価が定まっていないため、指導において取り扱いに配慮を要するということです。
- ・次ですね、分量です。
- ・文章の代わりに漫画や写真、イラスト、グラフ等で説明したりするなどの配慮がされています。
- ・漫画や写真、イラスト、グラフ等が多く、生徒が考えを広げたり深めたりする手立てになっています。
- ・使用上の便宜はどうですか。
- ・QRコードが活用できるようにされています。
- ・心情円もありますね。話すことが苦手な生徒の気持ちを可視化させる上で便利です。デジタル版も用意されています。これは東京書籍の特徴ですね。
- ・教材の最初に学習のテーマが設定されており、考えさせたい内容というか、主題を生徒に分かりやすく提示しているのは評価が分かれるところですね。
- ・つぶやき欄をどのように活用してよいかわかりづらいです。
- ・見開きの真ん中スタートは読みにくいですね。
- ・学期ごとに自分の学びを振り返ろうが設定されており、生徒の自己評価や授業の評価に活用できますね。
- ・生徒の自己評価というよりは振り返りだと思います。
- ・道徳のねらいは生き方とか自分の生き方を見つめるとか考えていくと、授業の振り返りとしては良いかもしれないが、道徳科のねらいを踏まえると、自分の生き方を考えるものとはなっていないと思います。北九州市で大事にしてきたことはそっちじゃなかったかなっていうふうに思うので使いにくいですね。
- ・振り返りがキャリアパスポート的で、道徳の振り返りなのかという疑問は残ります。
- ・教科には活用できるが、自分の生き方を考えるものになっていないということですね。
- ・巻末には、テーマから振り返ろうが設定され、テーマに沿った視点で授業の内容をつなげて考えさせることもできます。
- ・他の教科書もテーマの違いはありますが多いですね。
- ・教材に関連したコラムが全学年とも充実しており、発展的に単元を理解することができるし、コラムを活用した話し合い活動などで活用しやすいですね。
- ・コラムは充実していますね。
- ・印刷製本はどうですか。
- ・印刷が鮮明であり、字体・製本等が適切である、でどうでしょうか。
- ・自然がテーマのときは見開きで構成というのが特徴ですね。
- ・インパクトあって内容を把握しやすいですね
- ・教科ごとの選定の観点はどうですか。
- ・マークの提示は教科横断的で分かりやすいですね。マークで教材が示されると、デジタルコンテンツを使って他教科の関連部門の資料を見ることができ、教科横断的な学習がしやすいですね。
- ・全部は入ってないですよ。あるものもないものがありますね。ピンポイントですよ。各教科を生かしやすい教材には入っています。
- ・巻末の教材一覧表に他教科との関連は示されていますね。他教科との関連について明確でわかりやすいです。
- ・防災教育、情報教育について考える教材が全ての学年に設定され、教材との関連も示されており、系統的に考えることができます。
- ・社会的な課題の解決を考えられるようにするという観点があって防災と情報が入っています。

- ・系統性も見られますね。身近な社会的課題について、生徒が自分で考えられる内容を準備しています。
- ・東京書籍の今回の売りは防災。子供が自分との繋がりで考えやすいですよっていう文脈で準備されています。
- ・東京書籍については、この報告でよろしいですか。
- ・一同合意
- ・次は教育出版。
- ・主たる教材が30教材、補助教材で5教材収録されていますが、年間35時間で考えるともう少し教材数を増やし、選択できる幅を広げてほしいですね。
- ・それぞれ何かぴったりだったような気がするんですよ。
- ・35ですね。
- ・そうですね。ちょっと幅が少ないかなって。
- ・授業によっては2時間扱いもあるので、その数ではないでしょうか。例えば、体験的な活動のところだったら教材自体は1教材だけでも、体験まで含めると2時間扱いにするなどです。
- ・独自教材を使うバランスですかね。足りなければ各自治体の資料を使う配慮をしているのかな。
- ・本市の道徳郷土資料や新版いのちですね。
- ・そう。だから内容的にも、ページの分量が少なめです。
- ・年間35時間と考えたときに、主たる教材と補助教材の扱いがわかりづらいですね。
- ・指導計画を作るときに、工夫が必要ですね。ある先生は増やした方がよいという点もありますし、教材の使い方もありますが、配慮がいるという考えですね。
- ・導入時に発問が設定されており、教材の内容を自分事として考えやすくなっています。
- ・写真などが効果的に使用されていて、生徒の理解につなげやすいです。
- ・学習に役立つ情報としてQRコードがあるのですが、分かりづらいかなと。何にアクセスできるかわからないので、活用しづらいと思います。
- ・「学びの道しるべ」で授業を構成するための発問を示されているので授業を作りやすいです。
- ・教師目線ですよ？
- ・そうですね。
- ・3つもありますね。授業時間がパンパンになりそう。分かりやすいけど、いざやってみると授業が心配です。
- ・授業の際には発問を精選するなどの工夫が必要だと感じました。
- ・ワークシートにある振り返りが、満足度調査みたいで、道徳科のねらいに即したものではないと感じました。
- ・「やってみよう」が各学年に設定されており、役割演技などの体験的な学習ができますね。
- ・数は多くはなかったですね。
- ・テーマで組まれたユニットが、目次に明記されているのが分かりやすいですよ。
- ・ユニットになっていると、いろんな価値から、多面的・多角的に考えを深めることができますね。
- ・巻頭にはこの教科書で学べるテーマが示されており、テーマに沿った視点で各授業の内容をつなげて考えさせることもできます。
- ・小学校から中学校、中学校から高校への連携を意識した教材を系統的に学ばせることができますね。
- ・連携というより接続っていう意味になるかな。
- ・教育出版については、よろしいですか。
- ・一同合意



- ・光村はどうか。
- ・内容項目がすべて取り上げられています。
- ・編集委員会資料が多く掲載されていますね。
- ・他の教科書会社にも独自資料はありますよ。
- ・質的に特に際立っているわけではないですね。
- ・ユニットごとのつながりは特色だと思います。
- ・自分から社会へと同心円状にいくつかの教材をつながりて構成しているのは独自ですね。
- ・思考ツールの掲載が豊富でしたね。
- ・付録「まなびの道具箱」のイメージマップやPMIシート、スクールマップ、ピラミッドチャート、ベン図等の内容が充実しており、多面的・多角的な見方、考え方を広げるためには効果的であると思いました。
- ・巻末には「まなびの記録」もありました。授業で考えたことを書き、1年間の自分の成長を見つめる記録として活用できます。
- ・「学びの手立て」についてはどうか。
- ・「学びの手立て」があるのは、分かりにくいからここまで書かれているよってという感じでよいと思います。横書きになっているのが見にくいけれども、若い人の立場では、この通り授業をやったらある程度はうまくいくという質の担保をしてやった方がいいってという立場なのでよいと思います。
- ・一定程度の質を担保した学習が展開できそうです。
- ・体験的なロールプレイやリフレーミングという技法があった気がします。アンガーマネージメントも。全般的にいろんな活動が用意されているかなという感じですかね。
- ・これなんか、いわゆるソーシャルスキルですね。
- ・特別活動との関連が大きく図られていますね。
- ・他の教科や日常生活と関連性をもたせながら考えなんかを深めさせられます。
- ・学びの記録が1時間ごとにかけるようになっています。
- ・学びの記録を書く際には「22のキーワード」という形で、内容項目を意識するよう書かれています。
- ・教科として系統的な指導というのを意識した感じですね。
- ・系統性を意識しすぎると、道徳的価値の理解だけを教え込むという感じになるので、あまり強調しない方がいいとは思いますが。
- ・光村図書については、よろしいですか。
- ・一同合意
- ・次は日本文教出版にあってよろしいでしょうか。
- ・内容項目すべてが取り上げられています。
- ・いじめについて特設教材があって、複数の教材がユニットになっています。
- ・「いじめ」、「よりよい社会を考える」のユニットで複数の教材が設定されています。
- ・日文はここに力を入れている印象ですね。
- ・学年の最初にミニ教材が設定されており、授業開きに活用しやすいです。
- ・そうですね。ミニ教材っていうのはいいかなと思う。1年間の授業の進め方や学び方を説明した後、残りの時間で練習できるので、定着すると思います。
- ・主たる教材が35教材と多くのコラムが収録されています。
- ・多くのコラムがある分、これらをすべて扱うには授業の進行を工夫しないとイケませんね。
- ・コラムは関連したものという扱いで、適宜扱う方がよさそうですね。
- ・使用上の便宜はありますか。
- ・「考えてみよう」「自分にプラスワン」で発問が焦点化されています。

- ・他者のものにはどうしても登場人物の心情理解に留まるような学習がありました。が、日本文教は自分ごとにして考えられる発問がしっかり2つ準備されているなどと思いました。
- ・発問はだいたいどの会社も2つじゃないですか。
- ・3つある会社もありますね。
- ・別冊ノートはもうぎっくりになりました。良くも悪くもあるのですが、教科書には自由度が必要ですね。これまで上級者というかベテランの先生などは自分で発問を変えてノートに書いていました。
- ・前は発問がすでに印刷されていて、発問を変えた際に生徒が書いたことと合わなくなっていましたね。発問を変えずに、若い先生が授業する分にはよかったです。
- ・別冊ノートは生徒自身も自分が最初と最後ではこういうふうに変えてきているという違いを見られるので、分かりやすいです。毎時間書けるのもいいですね。
- ・成長がわかりやすい反面、記述させる内容については、教師の発問や進め方が重要ですね。
- ・この辺は難しいところですね。
- ・裏表紙には、各教科名が整理されて、他教科との関連について明確でわかりやすく示されています。
- ・日本文教出版については、よろしいですか。
- ・一同合意
- ・次は Gakken です。何かありますでしょうか。
- ・まあどれもそうなんですけど、身近な出来事が結構バランスよくあるなというのを思いました。
- ・特設ページのクローズアップが充実しているところがよいと思いました。
- ・そこは特徴を持っているようです。
- ・3年間を通してテーマで教材が用意されていて、学びの継続が意識されています。同じテーマを次の学年でも引き続き配置していて、生徒の学びの継続性を図っています。
- ・「SDGs」「多様性」「キャリア」が配置されています。
- ・なるほど。
- ・ページの分量は多いですね。使用上の便宜はどうですか。
- ・「考えよう」の発問の例示で話し合いが活性化できるけれども、自己を見つめるにはあっていないというふうに考えています。
- ・コミック教材が何回分かありました。ちょっと親しみやすい感じでポップな感じですね。
- ・ミニ教材もありました。さっきの日本文教のみたいなものですね。
- ・このレベルだったら全者載っている気はします。
- ・ほかの会社のものに比べ、特にこれは分かりやすいかなと私は思ったんですね。皆さんどうですか。
- ・道徳科の授業開きがわかりやすいです。
- ・つぶやきを書いてくださいというつぶやきメモの使い方がよく分かりません。
- ・確かに何を書いてもいいんだらうけど、それが逆に使いにくいですね。
- ・製本はどうですか。
- ・はい、ここだけ大きくないですか、教科書が。
- ・学研と日本教科書が AB 版ですね。
- ・大きいのがどうなのかなと思いました。机の上で広げると狭いです。特に GIGA 端末を置きながらになると大変です。
- ・資料読むときに自分の目線を大きく動かすので、私は苦手です。生徒によってはそれで読みとばす子もいると思います。
- ・結構大きくしているのは内容が充実しているからだと思いました。
- ・大ききの割には、他者よりも充実しているとは言えない気もしますが。

- ・ちょっと使いにくいですね。
- ・確かに場所取るんで。
- ・選定の観点はどうですか。
- ・いのちの教育に力を入れている印象でした。2年生で7教材配置しています。
- ・いじめ防止にも力を入れていて、1年生で8教材あります。
- ・最初はSNSの題材で、これいじめかな、どうかなと考えさせる教材ですね。もっとこう子供が直接的な教室のいじめの場面とかの想像しやすいような教材が望ましいのではと思います。他者がそうだったので。
- ・他教科との関連が他者に比べるとわかりにくいと思いました。
- ・Gakkenについては、よろしいですか。
- ・一同合意
- ・次はあかつきです。
- ・内容の範囲や程度はどうですか。
- ・定番教材が多くありますね。
- ・定番とはどんなものですか。
- ・先行実践がたくさんある教材ですね。
- ・二通の手紙、銀色のシャープペンシル、町内会デビューとか定番ですね。
- ・それらは文部科学省の読み物資料から掲載されていますね。
- ・この会社は読み物資料を多く掲載している印象を受けました。
- ・マイプラスは3つぐらいしか掲載されていません。年間で3つしかないんですよ。他の教科書は結構、ロールプレイングさせたり、対話的に議論させたりとかいうページが結構あるのですが。
- ・体験がないわけではないけれども、読み物中心が多かったかな。読み物をもとに、先生の授業の工夫で体験的にしてくださいというメッセージですかね。
- ・巻頭にある授業開きが活用しにくいと思いました。考え方の例はあるが、学び方や考えを深める過程などの説明が少ないと感じました。
- ・毎学年「道徳はじまりの時間」が設定されているので、併せて使うことを想定しているようですね。
- ・そのために、文字だけで示しているようですね。
- ・資料の中では、各学年で、地域と関わる中学校の取り組みを取り上げています。
- ・教材ページや目次に内容項目の記載がなく、道徳的価値の関連や広がりなどを生徒に考えさせることができるように工夫されています。
- ・あのキーワード等の目次があるかどうかですかね。
- ・全体的に自由度が高い気がする教科書です。
- ・そうすると、読み物資料が中心であり、授業者の経験によっては体験的な活動などの質的な確保ができない場合もありそうです。
- ・他は何かありますか。
- ・自分を見つめて考えるなんですけど、発問が本当に自分を見つめてになっていないのではという発問が多かったです。資料についての感想がほとんどだったので、自分を見つめてではないなと思います。
- ・「考えを深める」では、道徳的な価値に照らし合わせてさらなる思考や対話を促すことができるように設定されています。
- ・道徳では、自分との対話というところをちゃんとしないといけないと思います。自分との対話が大切なのに、小さいため授業で扱わない恐れがあります。
- ・あかつきについては、よろしいですか。

- ・一同合意
- ・最後に日本教科書です。
- ・読み物資料の分量が多いです。
- ・学ぶ、みつめる、想像すると系統的な指導を意図しているとありますが、その違いが明確ではありません。
- ・問いの設定が自分事でないものが多く、これまでの価値観を学ばせようとする姿勢や、行動規範が多く、道徳科としては疑問が残ります。
- ・ウェルビーイングカードは期待できると思いますが、どうですか。
- ・使い方は教科書で示されています。
- ・でも使いにくいかなと思います。面白いんですけどね。
- ・巻末の郷土資料。これ教材は何ページとかそんな記載がないですね。説明も何もないですね。
- ・ビールを飲んでいると思うイラストがあります。教科書にはどうかなと思います。
- ・内容項目順に教材が配列されているので、年間計画を作成する時に、配慮が必要ですね。また、テーマと内容項目の関連も指導で意識する必要があります。
- ・記名欄に学級、出席番号欄がなく、管理しにくい。
- ・製本が大きい割に余白が大きく、使用者の目線が大きく動いて読みにくい感じがします。
- ・写真資料とか印刷の荒さが出ています。
- ・確かに、鮮明でないものもありますね。
- ・選定の観点はどうですか。
- ・道徳科の目標を意識した、資料や問いを準備していますが、単純な登場人物の気持ちの理解や行動の予測に終始する問いもみられます。
- ・子どもの振り返りを記入する箇所がないですね。
- ・読み物資料が見にくく、中心となる問いについて考えを深める授業にはなりにくいですね。
- ・授業にあたっては、発問等を再構成する必要があるものが多いですね。
- ・日本教科書については、よろしいですか。
- ・一同合意

16:45～ 鑑文に押印・片付け

17:00 終了

令和七年度使用中学校教科用図書選定会議

総括部会

議

事

録

## 第2回総括部会議事録

記録者(松川)

【令和6年7月16日(火) 北九州市立教育センター304室】

出席者…飯田教授、藤井 PTA 協議会理事、金子校長、木蜜教頭、田中校長、増本教頭、和田校長、平田教頭、田内校長、松村教頭、有松校長、阿部教頭、戸次校長、松本教頭、若松校長、堀教頭、川津校長、山村主幹教諭、花田校長、尾上教頭、林校長、鋪田教頭、永田校長、富田教頭、横山校長、臼井教頭、高宮校長、植村教頭、寺田校長、島田教頭、甲斐校長、長光教頭、小島校長、藤井学校教育部長、武藤学校教育課長、高城指導主事、篠崎指導主事、新開指導主事、伊藤指導主事、岩田指導主事、村上指導主事、坪井指導主事、平山指導主事、大畠指導主事、能勢指導主事、西指導主事、渡辺指導主事、瀧口指導主事、新郷指導主事、代指導主事、松川指導主事、宮基指導主事

### 【進行 高城】

- 11:00～ 教育委員会あいさつ(藤井学校教育部長)
- 11:05～ 総括部会の進め方の説明(篠崎)
- 11:10～ 種目ごとに報告書案・発行者別概要説明書案の確認  
市民の意見と各学校からの調査報告書(事前配布済)の確認  
市民の意見等を加えた報告書案作成
- 12:30～ 休憩・印刷・配布

### 【進行 飯田・高城】

- 13:30～ 報告書案・発行者別概要説明書案の回覧方法等の確認(高城)
- 13:35～ 種目ごとにまとめた報告書・発行者別概要説明書案の回覧
- 14:20～ 協議(飯田)
  - ・これより協議に入ります。ただ今ご覧いただいた報告書案について、まず、全体に関わることへのご意見、ご質問等ございましたらお願いします。各項目についてのご意見、ご質問は、この後、具体的にお伺いします。いかがでしょうか。
  - ・前回、どの教科ということではないのですが、協議に関わることで、いくつか教科ごとの選定の観点のと ページの指定がしてあると。例えば p57 とか p86 から 91 とか。今、学術分野の人文、社会、自然、スポーツ、芸術、各分野の世界的な潮流としては、1 ページだけ指摘する場合は、p を小文字で書いて、その後に、例えば86から91という風にする。複数に渡る時は、小文字の p を 2 つ、pp と並べて、その後にピリオドをつけて、86 から91という風にするというのが、スタンダード。それに合わせてまとめていただければと思います。
  - ・それでは、教科書担当の方から整理させていただきます。各指導主事の皆さんは、今ご指摘いただいた通りの記載がある部分については、修正をお願いいたします。

- ・あとは、数字が2桁以上を半角にされている教科と全角のものの記録があるんですが、これもページが1つの場合は全角で、2つ以上になると半角で、というのがスタンダードになります。これもそろえましょう。
- ・ご指摘ありがとうございます。では、以上の2点ですね。pを1つ、もしくは2ページ以上またがる場合は2つ重ねるという点と、数字については、単独の数字は全角で、2桁以上の数字の場合は半角で表記するよう、修正をお願いします。
- ・はい。その他いかがでしょうか。
- ・はい。じゃあ、全体のことについては、この後の各分野ごとのところでまたあればご指摘いただければと思います。
- ・では、続きまして、各種目についてのご意見、ご質問等をお願いいたします。第1グループから順に、各グループ、およそ10分程度、合計50分程度で進めていきたいと思っています。
- ・まず、第1グループ国語、地図、技術について、いかがでしょうか。
- ・表記のミス等については、もうご記入くださっていることでよろしいですか。
- ・はい。
- ・他、よろしいでしょうか。
- ・では、続いて第2グループになります。書写、数学、家庭です。いかがでしょうか。
- ・ご意見ございませんか。では、第3グループに参ります。地理、理科、保健体育です。いかがでしょうか。
- ・もし全体的なことに関わるご意見またあれば、今、出していただいても結構です。
- ・では、ないようですので、続いて、第4グループ、歴史、音楽、英語です。いかがでしょうか。
- ・全体の部で出すべきだったのかなと思うんですけど、「他者と比べる」という表現が全体的に見受けられます。教科によって使う、使わないが分かれているので、統一した方がいいかと思います。
- ・今のご意見について、いかがでしょうか。
- ・ご指摘の通り、この調査報告書はあくまでもその教科書についてということなので、もし載っている教科がありましたら、そこは省いていただいたほうがいかと。
- ・よろしいでしょうか。その他はいかがでしょうか。
- ・では続いて、公民、美術、道徳いかがでしょうか。

- ・すみません、すでに決まっていることであれば、申し訳ないんですが、各教科の意見のところで、調査研究部会の方の先生の意見と、市民の意見の書き方について、順番というのはそろえてよいかという点の一つ。もう一つは、非常にデリケートな問題をはらむ教科もあります。特に配慮を要する教科もあると思うんですが、どのような形で学校や市民の意見を報告書の中に組み込むかということをもう一度確認をさせていただきたいと思います。決まりがあれば、示していただきたいです。かなりデリケートな表現を使う場合もありますので、その辺りは1度確認をさせていただけたらという風に思います。
- ・まず、順番については、特に決まりはありません。次に、内容についてですが学校の意見と市民の意見においては、それぞれ特に顕著なもの、意見が集中しているものを中心に表記していただくということになっております。その上で、調査研究部会としての報告書なので、場合によっては、表現の仕方を変えるということもあろうかと思えます。
- ・はい。今の話の通りなんですけれども、ご指摘くださったように、各教科について、様々な意見がよせられております。このことについては、一部、個人の思いが色濃く出ているものもあります。そういった意味で、県が示している「選定の観点」に照らして、該当するものを取り上げる、ということになろうかと思えます。
- ・わかりました。その他、いかがでしょうか。
- ・すみません、先ほど、「その教科書自体のことを記入」とおっしゃったんですけども、「現行の教科書と比較して」という表現はいかがですか。
- ・「他者の教科書」と同様に、何かを基準に比較して書くというところではないので、該当箇所があれば、修正していただきたいと思います。
- ・はい、ありがとうございます。
- ・その他、いかがでしょうか。よろしいですか。それでは、修正が確認できた部会から印刷し、署名、捺印をお願いします。

15:00 報告書案の回覧、確認、決定、署名、押印

15:15 会長まとめ、報告

- ・署名、捺印が終わりましたので、副会長の飯田教授から、藤井学校教育部長に渡していただきます。
- ・ただいま、報告書を教育委員会事務局にご提出いただきました。今後、この報告書を7月18日に行われる教育委員会会議に議案として提出し、教育委員会による審議を経て採択することとなります。皆様のこれまでのご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。